

# 野地潤家先生著書・論文等目録

## I 著述目録

### IV 研究発表目録

### V 研究授業目録

## I 著述目録

- 1 「話しことばの教育」 昭和27年12月5日 広島プリント社
- 2 「教育話法の研究」 昭和28年11月15日 柳原書店
- 3 「国語教育個体史研究Ⅰ」 昭和29年3月20日 白鳥社
- 4 「国語教育個体史研究Ⅱ」 昭和29年6月20日 白鳥社
- 5 「国語教育個体史研究Ⅲ」 昭和29年9月20日 白鳥社
- 6 「国語教育―個体史研究Ⅰ」 昭和31年3月1日 光風出版
- 7 「国語教育学研究」 昭和36年3月30日 白鳥社
- 8 「文集源平桃」 昭和46年6月30日 文化評論出版
- 9 「作文教育の探究」 昭和47年7月20日 文化評論出版
- 10 「綴方教室」の意義と価値」 昭和47年11月20日 文化評論出版
- 11 「国語教育原論」 昭和48年2月10日 共文社
- 12 「幼児期の言語生活の実態Ⅱ」 昭和48年4月1日 文化評論出版

- 13 「読解指導論」 昭和48年10月20日 共文社
- 14 「国語教育学史」 昭和49年9月1日 共文社
- 15 「国語教育通史」 昭和49年9月1日 共文社
- 16 「幼児期の言語生活の実態Ⅲ」 昭和49年10月1日 文化評論出版

- 17 「話しことば学習論」 昭和49年12月15日 共文社
- 18 「作文指導論」 昭和50年5月1日 共文社
- 19 「歌集柿照葉」 昭和50年7月15日 溪水社
- 20 「幼児期の言語生活の実態Ⅳ」 昭和51年1月10日 文化評論出版

- 21 「国語科授業論」 昭和51年6月1日 共文社
- 22 「幼児期の言語生活の実態Ⅰ」 昭和52年12月1日 文化評論出版

- 23 「個性読みの探究」 昭和53年11月10日 共文社
- 24 「わが心のうちなる歌碑」 昭和55年1月10日 桜楓社
- 25 「話しことば教育史研究」 昭和55年9月10日 共文社

## II 編著目録

- 1 「近代国語教育年表Ⅱ―大正編―」 昭和39年11月1日 広島大学教育学部国語教育研究室
- 2 「大村はま先生に学びて」(清水文雄博士と共編) 昭和41年

12月20日 広島大学教育学部国語教育研究室

3 「言語教育学叢書」(全六卷) (垣田直巳・松元寛両氏と共編)

昭和42年7月5日～昭和42年11月20日 文化評論出版

4 「個人差に応じた授業の実践 国語科」(倉沢栄吉氏と共編)

昭和45年4月1日 学芸出版

5 「作文・綴方教育史資料」(上・下) 昭和46年5月1日(上)、

昭和46年7月1日(下) 桜楓社

6 「小学校国語科指導事典」(倉沢栄吉・藤原宏両氏と共編)

昭和46年5月15日 第一法規

7 「綴方十二ヶ月」の意義と価値」(古田拙氏と共編)

年8月20日 文化評論出版

8 「古典の教え方」(全三卷) (宮崎健三・石井茂両氏と共編)

昭和47年5月10日～昭和47年6月10日 右文書院

9 「野口英世」伝の研究」 昭和47年9月 明治図書

10 「中学校国語科教育法」(熊沢竜・中西昇両氏と共編) 昭和

48年1月15日 桜楓社

11 「文集野崎アサエ先生に学びて」(松田芳昭氏と共編) 昭和48

年7月25日 野崎アサエ先生ご退官記念文集刊行会

12 「世界の作文教育」 昭和49年2月20日 文化評論出版

13 「高宮広雄先生に学びて」 昭和49年5月20日 文化評論出版

14 「現代教科教育学大系2 言語と人間」(倉沢栄吉氏と共編)

昭和49年5月31日 第一法規

15 「西尾実国語教育全集」(全二卷) (岩淵悦太郎・倉沢栄吉・

西尾光一・古田拙氏らと共編) 昭和49年10月20日～昭和53年

9月1日 教育出版

16 「小学校国語科教育法」(熊沢竜・中西昇両氏と共編) 昭和

50年1月15日 桜楓社

17 「近代国語教育論大系」(全一五卷) (井上敏夫・倉沢栄吉・

飛田多喜雄・望月久貴氏らと共編) 昭和50年3月1日～昭和

51年7月1日 光村図書

18 「国語の教材研究1 報道報告記録調査」(倉沢栄吉氏と共編)

昭和51年6月25日 国土社

19 「垣内松三著作集」(全九卷) (久松潜一・石森延男・石井庄司

・波多野完治・輿水実・木藤才蔵氏らと共編) 昭和51年12月

20日～昭和52年11月10日 光村図書

20 「戦後小説の教え方」(磯貝英夫氏と共編) 昭和52年1月20

日 右文書院

21 「国語科教育法の研究」 昭和52年2月 協同出版

22 「読書指導実践事例集」(藤原宏・室伏武両氏と共編) 昭和

53年6月15日 第一法規

23 「石森延男国語教育選集」(全五卷) (沖山光・栗原一登・飛田

多喜雄・八木橋雄次郎・湯地朝雄氏らと共編) 昭和53年9月

10日 光村図書

24 「読書指導相談事典」 昭和53年10月1日 共文社

25 「作文指導実践入門」 昭和53年10月1日 共文社

26 「小学校国語科教育法」(中西昇・湊吉正両氏と共編) 昭和

54年4月7日 桜楓社

27 「中學校 国語科教育法」(中西昇・湊吉止両氏と共編) 昭和

54年4月20日 桜楓社

28 「文芸教育論の探究」 昭和54年10月20日 広島大学国語教育

研究室

### Ⅲ 執筆 目録

昭和二〇年(一九四五)

1 遺書(学徒出陣にあたって)

昭和20・1・4稿

2 お姉さまの詩(習作)

昭和20・11・23稿

3 お箋り(習作)

昭和20・11・23稿

4 字隠し(習作)

昭和20・11・23稿

5 色草履(習作)―慶子記―

昭和20・11・23稿

6 美に関する随想

昭和20・12・3稿

7 国語教育の明朗化 その一  
「話しことばの教育」所収

昭和20・12・20稿

8 てるよさんのこと(習作)

昭和20・12・22稿

9 国語教育の明朗化 その二  
「話しことばの教育」所収

昭和20・12・25稿

10 風呂敷(習作)

昭和20・12・25稿

11 うまうま(習作)

昭和20・12・25稿

12 大伯皇女論

昭和20・12・31稿

昭和二一年(一九四六)

1 否定について

昭和21・1・某稿

2 宇和島言葉攷

昭和21・2・12稿

3 感動詞の生徳

昭和21・7・某稿、昭和21・2・31再稿

4 「話しことばの教育」所収

昭和21・2・14稿

5 農村語の生徳

昭和21・2・14稿

6 紅椿随想

昭和21・2・16稿

7 ことばしつけにおける役割

昭和21・2・23稿

8 「話しことばの教育」所収

昭和21・2・23稿

9 成就の教育 昭和18・11・某稿、昭和21・2・23再稿

昭和21・2・23再稿

10 「話しことばの教育」所収

昭和21・2・24稿

11 児童語の生徳

昭和21・2・24稿

12 「話しことばの教育」所収

昭和21・2・25稿

13 国語教育の道程

昭和21・2・25稿

14 寡黙―蔵王のもとにて―

昭和21・2・28稿

15 「話しことばの教育」所収

昭和21・2・28稿

16 国語教育の出発点―名について― 昭和17・10・某稿、昭和

21・2・28再稿 「話しことばの教育」所収

17 はらとことば 昭和18・7・某稿、昭和21・2・某再稿

昭和21・2・某再稿

18 「話しことばの教育」所収

昭和21・2・某再稿

19 ことばを磨くには 昭和21・2・某稿、昭和21・2・4、口

頭発表 「話しことばの教育」所収

20 寂寥の問題

昭和21・2・某

21 「教育話法の研究」所収

昭和21・2・某

22 「教育話法の研究」所収

昭和21・2・某

23 「教育話法の研究」所収

昭和21・2・某

24 「教育話法の研究」所収

昭和21・2・某

- 15 勘助の死(習作) 昭和21・3・2稿
- 16 口癖の一考察 昭和12・3・3稿、  
「話しことばの教育」所収 昭和21・3・3某稿
- 17 会話における美の問題  
「話しことばの教育」所収 昭和21・3・3稿
- 18 言語衛生の問題  
「話しことばの教育」所収 昭和21・3・7稿
- 19 著我の花(習作)  
山(未定) (習作) 昭和21・4・13稿
- 20 生活語教育のありかた  
「話しことばの教育」所収 昭和21・4・13稿
- 21 新緑のように―幸福の問題―  
「話しことばの教育」所収 昭和21・5・6稿
- 22 会話の貧困性―口不調法の問題―  
「話しことばの教育」所収 昭和21・5・12稿
- 23 山中さん(習作)  
雑誌「天邪鬼」(第2号) 掲載 昭和21・5・15稿
- 24 夢物語(1) (習作) 昭和21・5・19稿
- 25 夢物語(2) (習作) 昭和21・5・20稿
- 26 国語教育者の生活の問題  
「話しことばの教育」所収 昭和21・5・24稿
- 27 麦の穂の風(習作) 昭和21・5・27稿
- 28 棗(習作) 昭和21・5・27稿
- 29 素顔(習作) 昭和21・5・31稿
- 30 感情生活と言語表現 その一 昭和21・6・4稿
- 31 「話しことばの教育」所収 昭和21・6・7稿
- 32 二つの経歴(習作) 昭和21・6・8稿
- 33 嚴肅なる課題 昭和21・6・8稿
- 34 蕙風(習作) 昭和21・6・13稿
- 35 放心状態の問題 昭和21・6・14稿
- 36 「話しことばの教育」所収 昭和21・6・15稿
- 37 教室の精神―学級経営の根本問題― 昭和21・6・15稿
- 38 「話しことばの教育」所収 昭和21・6・15稿
- 39 話風の建設 昭和21・6・15稿
- 40 「話しことばの教育」所収 昭和21・6・19稿
- 41 音声への情熱 昭和21・6・19稿
- 42 「話しことばの教育」所収 昭和21・6・22稿
- 43 この子ほも(習作) 昭和21・6・22稿
- 44 雑誌「天邪鬼」(創刊号) 掲載 昭和21・6・23稿
- 45 話法破綻の問題 昭和21・6・23稿
- 46 「話しことばの教育」所収 昭和21・6・28稿
- 47 女教師のことばの問題 昭和21・6・28稿
- 48 「話しことばの教育」所収 昭和21・7・7稿
- 49 追求者(習作) 昭和21・7・7稿
- 50 雑誌「振鈴」(2号) 掲載 昭和21・7・7稿
- 51 銀母金母玉母奈爾世武爾 昭和21・8・22稿
- 52 母の息吹の教育― 昭和21・8・22稿
- 53 響りんりん音りんりん 昭和21・8・30稿

—藤村詩の一考察—

45 音声教育の問題 昭和21・11・14稿

「話しことばの教育」所収

46 おとめのことば感覚 昭和21・11・20稿

「話しことばの教育」所収

47 「稗の穂」(古泉千樞)を中心に 昭和21・11・某稿

芭蕉に於ける詠物の一考察

48 落葉松—常盤樹と落葉松— 昭和21・12・11稿

昭和21・12・20稿

昭和二三年(一九四七)

1 何処へ行く 昭和22・1・某稿 「想華集」(4) (山下高女)

専攻科文集、昭和22・1・31刊) 掲載

2 山のあなた—思うことも— 昭和22・2・14稿

無題 昭和22・3・某稿 「想華集」(5) (山下高女専攻科文集、昭和22・3・30刊) 掲載

3 感情生活と言語表現 その二 昭和22・6・3稿

「話しことばの教育」所収

4 世相の生感—片輪のユーモア— 昭和22・6・某稿

「話しことばの教育」所収

5 女生徒のことばあそび 昭和22・7・9稿

「話しことばの教育」所収

6 ある夏期大学から 昭和22・7・31稿

「話しことばの教育」所収

8 話しことばの問題 その一—その四 昭和22・8・2稿

9 感情生活と言語表現 その三 昭和22・8・3稿

「話しことばの教育」所収

10 路上の挨拶 昭和22・8・5稿

「話しことばの教育」所収

11 話風育成の問題 その一 昭和22・8・7稿

「話しことばの教育」所収

12 不幸な葡萄酒(習作) 昭和22・8・18稿

切符を買う人々

13 「話しことばの教育」所収 昭和22・9・29稿

「話しことばの教育」所収

14 女学生の声を聴く—街頭録音の反省— 昭和22・11・7稿

「話しことばの教育」所収

15 夢の中の国語教育 昭和22・12・24稿

「話しことばの教育」所収

昭和二三年(一九四八)

1 話風育成の問題 その二 昭和23・2・17稿

「話しことばの教育」所収

2 話風育成の問題 その三 昭和23・2・24稿

「話しことばの教育」所収

3 生活語教育論(1) 昭和23・4・20稿

生活語教育論(2)

4 生活語教育論(3) 昭和23・4・22稿

生活語教育論(4)

5 生活語教育論(5) 昭和23・5・3稿

生活語教育論(5)

- 昭和二四年(一九四九)
- 8 生活語教育論(6) 昭和23・5・13稿
- 9 歌誌月評―「鶏音」と「潮音」― 昭和23・5・30稿  
歌誌「言霊」(第96冊)(昭和24年1月号) 掲載
- 10 幼児の教育―若い父― 昭和23・12・23稿
- 1 ことばの世相―三等船客となつて― 昭和24・1・2稿
- 2 話しことばの諸相 昭和24・1・某稿
- 3 大谷先生追悼記 昭和24・1・27稿
- ―ひと二人ありとし思はば―
- 4 「城北高女新聞」(4月16日号) 掲載  
商店語のありかた 昭和24・2・5稿
- 5 追求者(習作) 昭和24・7・7稿
- 6 国語教育論(1) 昭和24・4・19稿
- 7 国語教育論(2) 昭和24・4・25稿
- 8 国語教育論(3) 昭和24・5・1稿
- 9 国語教育論(4) 昭和24・5・9稿
- 10 国語教育論(5) 昭和24・5・17稿
- 11 国語教育論(6) 昭和24・5・23稿
- 12 国語教育論(7) 昭和24・5・30稿
- 13 国語教育論(8) 昭和24・6・13稿
- 14 国語教育論(9) 昭和24・6・20稿
- 15 国語教育論(10) 昭和24・6・27稿
- 16 国語教育論(11) 昭和24・7・4稿
- 17 芭蕉における表現深化 昭和24・6・5稿
- 18 弱虫のことばしつけ 昭和24・6・30稿
- 19 雑誌「ピノチオ」(第1輯) 掲載  
短歌文芸と言語文化 昭和24・8・6稿
- 20 話しことばの指導のありかた 昭和24・8・27稿
- 21 ことばのアルバム 昭和24・9・某稿
- 22 雑誌「新教育タイムス」(20号)(昭和24年10月号) 掲載  
ことばの世相―国語教育の課題― 昭和24・9・13稿
- 23 日本恋愛詠の展開 昭和24・10・9稿
- 24 コスモスの街(習作) 昭和24・10・16稿
- 25 擬音表現の成長過程 昭和24・11・5稿
- 昭和二五年(一九五〇)
- 1 「現代文解釈のねらい」 昭和24・12・12稿
- 2 昭和25・2・15、学芸出版社刊  
ことばのアルバム 昭和25・1・27稿
- 3 昭和25・1・28、口頭発表  
廿世紀における文芸―その位置づけと役割― 昭和25・2・28稿 「高師学生新聞」(13号) 掲載

- 4 この子はおも  
雑誌「天邪鬼」(創刊号) 掲載  
昭和21・6・22稿
- 5 「現代文類別基本問題選」  
学芸出版社刊  
昭和25・10・15稿
- 6 「白鳥の悲歌―日本文芸の抒情的展開―」 昭和25・3・31稿  
昭和25・11・10、学芸出版社刊
- 7 話しかた指導の基本問題  
昭和25・11・14、口頭発表表
- 8 芭蕉の修辞意識  
昭和25・11・18、口頭発表表
- 9 速さの感覚  
昭和25・11・某稿  
「女子商新聞」(創立25周年記念号) (昭和25・12・1) 掲載
- 昭和二六年(一九五二)
- 1 山中さん(習作)  
雑誌「天邪鬼」(2号) 掲載  
昭和25・12・3 清稿
- 2 母親への旅愁 ―ことばの旅から― 昭和26・2・20稿  
昭和26・2・22、NHK(FK)放送
- 3 国語教育への旅愁 昭和26・3・30稿 「国語情報」  
(長崎県国語教育研究会会報) (昭和26・5・15) 掲載  
黒大のご恩返し(放送脚本)  
昭和26・4・25稿
- 4 昭和26・5・5、NHK放送
- 5 文芸語い形成史  
昭和26・9・某稿?
- 6 教育話法の問題  
昭和26・9・22稿
- 7 昭和26・9・22、口頭発表表  
コスモスの花 ―笑顔のこと―  
昭和26・10・6稿
- 8 松山大会に臨んで  
―第二回全国大学国語教育学会に出席して―  
広島国語国文学会研究紀要(昭和27・1・1) 掲載
- 9 話題の問題 ―ルース台風をめぐって― 昭和26・10・15稿
- 10 幼児のことば  
昭和26・10・22稿
- 11 幼児のことば ―母親への期待― 昭和26・10・30稿  
「朝日新聞」(昭和26・11・5) 掲載
- 12 幼児のことばしつけ 昭和26・10・22稿 「朝日新聞」  
(昭和26・10・26) (朝刊・夕刊) 掲載
- 13 国語教育の時間的構造  
昭和26・11・10稿
- 14 十年―私の国語教育史― 昭和26・11・10稿  
「大教育学部国語科報」(1号) 掲載
- 15 対話圏の構想  
昭和26・11・29稿
- 16 片言の扱いかた 昭和26・12・23稿 「朝日新聞」  
(西部―昭和27・1・16、大阪―昭和27・2・8) 掲載
- 昭和二七年(一九五三)
- 1 対話的教育 ―よろこびの言語教育― 昭和27・3・4稿  
雑誌「保育」(5月号) 掲載
- 2 「漫画」の話しことばの研究 昭和27・3・8稿

- 3 式辞の問題 昭和27・3・10稿
- 4 訓辞の問題 昭和27・3・10稿
- 5 教育話法の問題点 昭和27・3・27稿
- 習得期の不安をめぐって—
- 6 「国語科教育」(第1集)掲載 昭和27・5・10稿
- 7 「国語研究」(11号)掲載 昭和27・5・14稿
- 8 人形浄瑠璃と国語教育 昭和27・5・26稿
- 9 小説とは 昭和27・7・3再稿
- 10 「話しことばの教育」所収 昭和27・7・6稿
- 11 「話しことばの教育」 昭和27・12・5、広島プリント社刊
- 12 国語教育個体史の問題 昭和27・9・18稿
- 13 昭和27・9・20、口頭発表
- 14 教育話法の問題 昭和26・9・22稿
- 15 「国文学攷」(復刊2号)(昭和27・8・15)掲載
- 16 言いがかり(未完) 昭和27・9・30稿
- 17 言語教育と文学教育 昭和27・11・8稿
- 18 「国語科教育」(第9回IFEL)(昭和27・11・14)所収
- 19 国語教育事実の把握 昭和27・12・5稿
- 20 実践記録のありかた—
- 21 「広大通信教育」(11号)(昭和28・1・1)掲載
- 昭和二八年(一九五三)
- 1 国語科教育の実践構造 昭和28・2・16稿
- 芦田先生と私—
- 2 昭和28・2・16、口頭発表
- 3 アンケート(国語教育協議会から) 昭和28・2・18稿
- 4 ピカドンをめぐる—ことば風土記— 昭和28・2・28稿
- 5 雑誌「言語生活」(4月号)掲載
- 6 面会謝絶 昭和28・3・某稿
- 7 国語科教育実践の基本問題 昭和28・4・13稿
- 8 —実践主体をめぐる問題点—
- 9 雑誌「学校教育」(6月号)掲載 昭和28・5・14稿
- 10 「教育話法の研究」 昭和28・11・15、柳原書店刊
- 11 国語科教師への成長過程 昭和28・5・29稿
- 新制大学四年課程学生Aのばあい—
- 12 レポート(ことば)所感 昭和28・6・6稿
- 13 「朝日新聞」(昭和28・6・19)掲載
- 14 国語科教育の時間的構造 昭和28・8・31訂稿
- 15 「国語研究」(14号)掲載
- 16 言語美と人間美 昭和28・9・24稿
- 17 昭和28・9・24、口頭発表
- 18 国語教育個体史の問題 昭和27・9・18稿



12 雑誌「同志同行」(復刊9号)(昭和28・11・30)掲載  
喜びの国語教育  
—浜松への抒情—  
昭和28・11・3稿

13 雑誌「学校教育」(昭和29年1月号)掲載  
話線の変化

14 ことば自覚の問題史的展開  
—規範性の確立を目ざして—  
昭和28・11・3稿  
昭和28・11・19稿

15 実践史把握の方法  
—形象的認識の問題—  
昭和28・12・15稿

16 アンケート(石井庄司教授から)  
—古典教育—  
昭和28・12・16稿

昭和二九年(一九五四)

1 「国語教育の基礎能力と能力別指導」をいただいて  
昭和29・2・3稿 会報「尚志」(11号)掲載

2 通説一年  
昭和29・3・3稿

3 「朝日児童文化」(2の5)掲載

4 「国語教育個体史研究」II 1 昭和29・3・20著 白鳥社刊

5 再辞  
昭和29・4・9稿

6 国語教育実践史の把握方法  
昭和29・4・19再稿

「国語研究」(16号)掲載

6 話すことの文法学習  
昭和29・5・21稿

全国大学国語教育学会編「文法の学習指導」  
(法政大学出版局)所収

7 国語教育研究における時間の問題  
昭和29・6・10稿

三一会会報「春潮」掲載

8 「国語教育個体史研究」II 2 昭和29・6・20著 白鳥社刊

9 対話生活の問題 —文芸語法の一考察— 昭和29・6・22稿

初等教育学会誌「初等教育研究」(昭和29・9・1)掲載

10 「国語教育個体史研究」II 3 昭和29・9・20著 白鳥社刊

11 教育語法の問題点  
—話し方について—  
昭和29・10・6稿

12 国語学習史の問題  
昭和29・10・7、口頭発表

—これからの国語教育の基本作業について—  
昭和29・11・23稿

雑誌「実践国語」(昭和30年1月号)掲載

昭和三〇年(一九五五)

1 幼児のはなしことば  
昭和30・1・30稿

雑誌「言語生活」(3月号)掲載

2 国語教育者成長史の問題  
昭和30・3・21稿

「国語研究」(19号)掲載

3 共通語教育の基本問題  
昭和30・4・14稿

—ある言語主体の規範性確立の過程—

雑誌「教育技術 中学国語」(6月号)掲載

- 4 幼児語いの生熊  
昭和30・6・12稿  
雑誌「学校教育」(8月号) 掲載
- 5 「国語教育―个体史研究―」  
昭和30・9・1稿  
昭和31・3・1、光風出版社  
発問法
- 6 「国語教育辞典」(昭和32・1・5、朝倉書店刊) 所収  
昭和30・11・29稿
- 7 助言法  
昭和30・11・29稿  
「国語教育辞典」(昭和32・1・5、朝倉書店刊) 所収
- 昭和三二年(一九五六)
- 1 文芸教育の基本問題  
昭和31・3・26稿  
―鑑賞観の混乱を中心に―  
「国語研究」(22号) 掲載
- 2 幼年期の言語教育  
昭和31・4・25稿  
―満二歳児の対話文を中心に―  
「国文学放」(16号) 掲載
- 3 私は話しことば指導でこのような点に苦勞をした  
昭和31・5・7稿  
―話しことば指導の問題点―  
雑誌「実践国語」(6月号) 掲載
- 4 こどもの話題  
昭和31・5・7稿  
雑誌「学校教育」(7月号) 掲載
- 5 国語教育学の史的展開  
昭和31・5・17稿  
昭和31・5・17、口頭発表
- 6 「標準国語問題精選 現代文編」(うち、文芸編を分担)
- 7 文法教育問題史  
昭和31・6・10編 東洋図書刊  
昭和31・7・8稿  
―旧制中学校を中心として―  
昭和31・7・8、口頭発表
- 8 国語教育の実践心理の問題  
昭和31・7・31稿  
―みずからの国語教育を育てるために―  
雑誌「学校教育」(10月号) 掲載
- 9 井伏鱒二の作品の中国弁  
昭和31・8・17稿  
雑誌「言語生活」(10月号) 掲載
- 10 「文法教育」共同研究の基本問題  
昭和31・12・21稿  
「国語科教育」(第4集) 掲載
- 昭和三二年(一九五七)
- 1 「地方国語教育史」研究と「比較国語教育学」研究  
昭和32・1・14稿 雑誌「げんかい」(創刊号) 掲載
- 2 「作文」研究の基本的な方法  
昭和32・2・21稿  
―個体史的立場を中心に―
- 3 四国地区国語教育研究協議会「研究紀要」(第2集) 掲載  
ちいさきものもほこりにか  
昭和32・3・13稿  
―文集「桔梗」によせて―
- 4 三重県名張市名張小学校卒業文集「桔梗」掲載  
昭和32・4・8稿  
「作文教育」研究の基本問題  
―国語学習個体史の立場を中心に―  
「国語研究」(25号) 掲載

- 5 「現場研究」体制の問題 昭和32・4・15稿  
 「主な問題をどのようにテーマ化するか」  
 「巖谷小波」「小山内薫」「宗祇」「鈴木胤」について 昭和32・4・22稿
- 6 近代国語教育史における内省派の伝統 昭和32・5・17稿  
 「研究通信」(2号)掲載
- 7 国語教育経験課程の一事例 昭和32・5・20稿  
 芦田先生に学んだもの  
 一期一会までの、私の成長史における先生  
 単行本「回想の芦田恵之助」(昭和32・7・20、実践社刊)所収
- 8 馬場辰猪の「雄弁法」について 昭和32・6・1稿  
 「明治期言語技術の成立過程」  
 昭和32・6・1、口頭発表
- 9 国語科教育法「経験課程」の構成と方法 昭和32・6・5稿  
 昭和32・6・7、口頭発表、のち「国語教育の体系」(長野大会記録)所収
- 10 現場研修法 ―研修を深めるために― 昭和32・7・5稿  
 雑誌「げんかい」(7月号)掲載
- 11 話し方カリキュラム 昭和32・7・28稿  
 興水実編「話し方・聞き方指導法」(昭和32・11、明治図書刊)所収
- 12 国語教育研究最高最大の拠点を 昭和32・8・3稿  
 「全国的な専門学会の育成強化」
- 13 「日本国語教育学会誌」(7号)掲載  
 語い学習史の基本問題 昭和32・8・17稿  
 一付、学習語い関係文献目録
- 14 四国地区国語教育研究協議会「研究紀要」(第3集)掲載  
 現代文学と中国弁 昭和32・8・22稿、昭和32・11・11稿  
 「NHK国語講座」(3の5) (昭和32・9・25)掲載、  
 昭和32・11・12、NHK放送
- 15 国語教育研究における研究段階の問題 昭和32・8・29稿  
 小学校のTさんに  
 国語教育研究の基本問題 昭和32・9・29稿  
 「これからの国語教育」
- 16 雑誌「学窓」(12月号)掲載  
 共同思考と共同研究 昭和32・10・1稿  
 昭和32・10・1、口頭発表
- 17 高校作文教育の問題 昭和32・11・2稿  
 大阪府教委指導課編「高等学校作文指導の手引」(昭和34・3・31刊)所収
- 18 話しことば学習論 昭和32・12・4稿  
 全国大学国語教育学会編「国語学習論」(昭和35・5・5、明治図書刊)所収
- 19 漱石「会話」の基本問題 昭和32・12・17稿  
 「対話の苦悶と独話の自信の問題」  
 広大教育学部国語科三年学級誌「海石」(昭和33・1・15)掲載
- 20 21 22

昭和三年（一九五八）

- 1 「国語教育実践」解釈の問題 昭和33・1・5稿  
雑誌「げんかい」（1月号）掲載
- 2 国語教育学の理論的性格 昭和33・1・6稿  
全国大学国語教育学会紀要「国語科教育」（第5集）掲載
- 3 国語教育学の史的展開 —戦前における国語教育学の展開—  
付、国語教育学年表— 昭和33・2・8稿  
「学校教育研究所年報」（2）所収
- 4 幼児言語の様相 昭和33・2・17稿  
—次男「照樹」のばあい—
- 5 幼児言語の一面 昭和33・2・17稿  
—次男「照樹」のばあい—
- 6 「安田学報」（67号）（4月25日号）掲載  
小・中国語教育課程「改定方針について」 昭和33・2・24稿  
教育出版「国語通信」（1の3）掲載
- 7 国語教育学の史的展開 昭和33・4・10稿  
—戦後における国語教育学の展開その一—  
「国語研究」（28号）掲載
- 8 広教組第八次教研研究方向指針 昭和33・4・14稿  
—国語科—  
雑誌「広島教育」（4・5月合併号）掲載
- 9 「作文教育論」史上の二つの論説 昭和33・5・26稿  
—作文教育に望むもの—
- 10 雑誌「作文教育」（11月号）掲載  
「国語の力」（垣内松三著）について —国語教育學說史研究—  
昭和33・6・6初稿、昭和33・8・10再稿 昭和33  
・6・7、口頭発表、「日本国語教育学会誌」（9号）掲載
- 11 国語教育科学随想 昭和33・7・1稿  
雑誌「実践国語」（8月号）掲載
- 12 国語教育実践の深化過程 昭和33・7・28稿  
—芦田恵之助先生のばあい—  
昭和33・7・28、口頭発表
- 13 国語教育の系統化の問題 昭和33・9・4稿  
—歴史的性格と問題点— 付、戦後系統学習関係文献目録  
昭和33・9・4稿 雑誌「学図」（10・11月号）掲載
- 14 学校教育実践史の問題 昭和33・9・7稿  
「この子をどう導くか」（文集に学ぶ第IV集）（昭和33・10・15）所収
- 15 中学校作文教育の問題点 昭和33・9・11稿  
—組織化の問題点を中心に—  
「この子をどう導くか」（文集に学ぶ第IV集）（昭和33・10・15）所収
- 16 国語教育における実践様式の問題 昭和33・10・20稿  
—芦田「教式」のばあいを中心に—  
昭和33・10・20、口頭発表、のち「教育学研究紀要」（中国  
四国教育学会）掲載
- 17 凝視—自己凝視と自己深化— 昭和33・12・5稿

- 安田女子短大文芸部誌「公文」(1号) 掲載  
アンケート(安田女子短大文芸部から) 昭和33・12・5稿  
安田女子短大文芸部誌「公文」(1号) 掲載
- 昭和三四年(一九五九)
- 1 新学習指導要領の問題点 聞くこと・話すこと 昭和34・1・4稿 雑誌「教育科学／国語教育」(1) (明治図書) 掲載
  - 2 徒然草解説  
徒然草(乙) 教授資料  
昭和34・1・15稿
  - 3 年頭の自戒  
―国民言語生活史研究のことなど―  
雑誌「げんかい」(1月号) 掲載  
昭和34・1・19稿
  - 4 家庭における敬語  
―ことばづかいとしつけ―  
広島「PTA新聞」(4号) 掲載  
昭和34・1・20稿
  - 5 こどものことばづかい  
―こどものことばを育てる―  
雑誌「家庭教育」(3月号) 掲載  
昭和34・1・21稿
  - 6 教育相談室解答  
雑誌「家庭教育」(5月号) 掲載  
昭和34・2・26稿
  - 7 系統学習の歴史的性格  
―芦田恵之助先生の「綴り方教授」のばあい―  
付、戦前綴方系統関係文献目録  
雑誌「教育科学／国語教育」(3) (明治図書) 掲載  
昭和34・3・3稿
- 8 書くことをたいせつに  
―文集「汽笛」に寄せて―  
広島市矢賀小学校卒業文集「汽笛」掲載  
昭和34・3・13稿
  - 9 新指導要領と話すこと、教育  
―二十年度試案に対する個体史的反省を中心に―  
雑誌「実践国語教育」(5月号) 掲載  
昭和34・3・14稿
  - 10 読解指導の基本問題  
―指導者の問題を中心に―  
読解指導過程の基本問題  
昭和34・3・15稿
  - 11 読解指導過程の基本問題  
―広島県小学校国語教育研究会報― 掲載  
昭和34・3・16稿
  - 12 国語教育学の史的展開  
―戦後における国語教育学の展開その二―  
「国語研究」(31号) 掲載  
昭和34・4・5稿
  - 13 馬場辰猪の「雄弁法」について  
―話しことば教育史研究―  
雑誌「実践国語教育」(6・7月号) 掲載  
昭和34・4・17稿
  - 14 ことばづかいと社会性  
広島市「PTA新聞」(7号) 掲載  
昭和34・4・19稿
  - 15 しごとの継続と集積  
雑誌「学図」(6月号) 掲載  
昭和34・5・6稿
  - 16 国語愛の問題  
―西尾実先生の初期の論説を中心に―  
昭和34・5・16、口頭発表  
綴方教授における芦田「教式」の問題 昭和34・5・28稿

- 昭和34・5・29、口頭発表  
司会のこと  
雑誌「学校教育」(8月号) 掲載  
採点しての感想と希望  
広教組教研究指針 ― 国語科―  
雑誌「広島教育」(7月号) 掲載
- 19 昭和34・6・21稿  
昭和34・6・28稿
- 20 綴方教授における芦田「教式」の問題 昭和34・7・2稿  
(要約) 浜松大会「研究集録」(昭和35年5月) 所収  
「国語教育研究」発刊によせて 昭和34・7・17稿  
「広大教育学部国語科光葉会会報」(1号) 掲載  
しごとの継続と集積 昭和34・5・5稿
- 22 好学社「ハイスクールニュース」(9号) 再掲載  
「幼児期の言語生活の実態」 昭和34・8・4稿  
編集後記 昭和34・8・27稿
- 23 「国文学放」(21号) 所収  
「実践の技術学」について 昭和34・9・18稿  
― 垣内松三先生著「国語教育講話」を中心に―  
昭和34・9・18、口頭発表
- 24 「国文学放」編集部から 昭和34・10・8稿  
広大國語国文学会「会報」(3) 所収  
芦田「教式」における話法の問題 昭和34・10・9稿  
昭和34・10・10、口頭発表 のち「研究紀要」(昭和35・8)  
(日本教育学会中四国学会) 所収  
昭和34・10・15稿  
編集後記
- 29 「国文学放」(22号) 所収  
時評 国語教育研究の問題 昭和34・10・16稿  
雑誌「学校教育」(12月号) 掲載  
「国語の力」(垣内松三著) について 昭和34・10・25補稿  
― 国語教育学説史研究―  
「国語教育研究」(創刊号) 掲載  
堀秀成の説教論について 昭和34・11・5稿  
― 話しことば教育史研究―  
「国文学放」(23号) 掲載  
国語教育の深化のために 昭和34・11・12稿  
― 国語教育の史的研究を中心に―  
昭和34・11・13、口頭発表、のち雑誌「学校教育」(昭和35  
年2月号) 掲載  
国語教育を深めるために 昭和34・11・26稿  
昭和34・11・26、口頭発表  
国語教科書の歩み(上) 昭和34・11・29稿  
― 「イエスシ」読本から「みんないいこ」読本まで―  
広島市「PTA新聞」(13号) 掲載  
田上新吉先生のこと 昭和34・12・8稿  
「少女」つづり方作文全集」月報(9号) 掲載  
国語教科書の歩み(下) 昭和34・12・21稿  
広島市「PTA新聞」(14号) 掲載
- 30 昭和34・10・16稿  
昭和34・10・25補稿
- 31 昭和34・11・5稿  
昭和34・11・12稿
- 32 昭和34・11・26稿
- 33 昭和34・12・8稿
- 34 昭和34・12・21稿
- 35 昭和34・12・21稿
- 36 昭和34・12・21稿
- 37 昭和34・12・21稿

昭和三五年（一九六〇）

- 1 研究問題のとらえ方研究授業の仕方 昭和35・1・12稿  
 一 小学校4年生のばあい  
 日本国語教育学会編「学年別・小学校国語指導4」（明治図書刊）所収
- 2 国語教育実践者の基本問題 昭和35・2・8稿  
 昭和35・2・8、口頭発表
- 3 こどもの話し聞くことをどう育てるか 昭和35・2・9稿  
 昭和35・2・9、口頭発表
- 4 文法教育共同研究のために 昭和35・2・15稿  
 広大教育学部文法教育研究会「文法教育」（創刊号）掲載
- 5 個体史的立場からみた指導案の価値 昭和35・2・17稿  
 雑誌「げんかい」（2月号）掲載
- 6 小学校国語教育関係参考文献目録 昭和35・3・1稿  
 一 昭和25～昭和35  
 「小学校国語指導書」所収
- 7 ことばへの自覚と関心を高めるためにどんな指導をすればよいか 一話すことばのばあいを中心に 昭和35・3・2稿  
 「教育科学／国語教育」（2の5）（明治図書）掲載
- 8 国語教育学の史的展開 昭和35・4・6稿  
 一 戦後における国語教育学の展開その三  
 「国語研究」（34号）掲載
- 9 文章の種類に応じた読解の指導 昭和35・4・11稿  
 「国語研究」（34号）掲載
- 10 雑誌「学図」（5月号）掲載  
 新しい国語の教育計画をたてるために 昭和35・4・21稿  
 昭和35・4・21、口頭発表
- 11 綴方教授の理論的基礎（二） 昭和35・5・1稿  
 一 垣内松三先生のばあい  
 昭和35・5・2、口頭発表 雑誌「実践国語教育」（6月号）掲載
- 12 話しかた・板書のしかた 昭和35・5・9稿  
 昭和35・5・9、口頭発表
- 13 マスコミとこどものことば 昭和35・5・13稿  
 昭和35・5・15、NHK（FK）放送
- 14 旧制中学校の話しことばの教育 昭和35・5・14稿  
 一 弁論活動を中心に  
 昭和35・5・15、口頭発表
- 15 綴方教授の理論的基礎（二） 昭和35・6・13稿  
 雑誌「実践国語教育」（7月号）掲載
- 16 綴方教授の理論的基礎（三） 昭和35・7・19稿  
 雑誌「実践国語教育」（9月号）掲載
- 17 まえがき「高等学校国語教育研究論文目録」 昭和35・7・20稿  
 昭和35・7・20稿
- 18 研究授業で留意したいこと 昭和35・7・30稿  
 一 中学3年のばあい  
 「教育科学／国語教育」（2の11）（明治図書）掲載

- 19 「高等学校国語教育研究論文目録」 昭和35・8・5編  
 20 广大教育学部国語教育研究室刊  
 徒然草教育問題史 昭和35・8・13稿  
 21 戦前の旧制中学校・女学校を中心に―  
 土井忠生博士編「徒然草学習指導の研究」(三省堂刊) 所収  
 世界の、人類の、ことばの教育 昭和35・9・1稿  
 22 「広島県中学校国語教育研究会報」掲載  
 言語単元の問題 昭和35・9・7稿  
 23 「ことばと文化」(六下)を中心に―  
 雑誌「学風」(10月号)掲載  
 24 綴方教授の理論的基礎(四)  
 1 垣内松三先生のばあい―  
 雑誌「実践国語教育」(11月号) 掲載  
 国語教育実践の深化過程 昭和35・10・1稿  
 25 「広島大学教育学部紀要」掲載  
 「国語の力」の成立過程Ⅰ 昭和35・10・2稿  
 1 国語教育学説史研究―  
 「国語教育研究」(2号) 掲載  
 26 綴方教授の理論的基礎(五)  
 1 垣内松三先生のばあい―  
 昭和35・10・8稿  
 27 雑誌「実践国語教育」(12月号) 掲載  
 露伴の書簡 昭和35・10・18稿  
 28 雑誌「不死鳥」(2号) 掲載  
 聞くこと・話すことの実際 昭和35・10・22稿
- 29 雑誌「国文学」(12月号) 掲載  
 「国語教育学研究―国語教育を求めて―」 昭和35・10・  
 28 著 昭和36・3・30、白鳥社刊  
 30 芦田「教式」における静坐の問題 昭和35・11・24稿  
 昭和35・11・25、口頭発表  
 31 えしゃくのことなど 昭和35・12・3稿  
 32 文集による作文教育 昭和35・12・3稿  
 1 一つの学習史―  
 「国語ひろしま」(第3号) 掲載  
 33 サクラ読本研究 昭和35・12・4稿  
 1 垣内松三先生のばあい―  
 34 綴方教授の理論的基礎(六)  
 雑誌「実践国語教育」(昭和36年1月号) 掲載  
 35 父と子との間 昭和35・12・13稿  
 36 「国語の力」の成立過程Ⅱ 昭和35・12・22稿  
 1 国語教育学説史研究―  
 「国語教育研究」(3号) 掲載
- 昭和三十六年(一九六一)  
 1 綴方教授の理論的基礎(七) 昭和35・10・8稿  
 雑誌「実践国語教育」掲載 昭和36・1・6 補稿  
 2 高校国語学習のために 昭和36・1・28稿  
 1 「国語の整理」はしがき―  
 3 綴方教授の理論的基礎(八) 昭和36・1・6稿(二部)



- 昭和36・2・某稿 雑誌「実践国語教育」掲載  
 「聞くこと・話すこと」の領域の構成と特色  
 昭和36・2・13稿 「中学研究通信」掲載
- 5 綴方教授の理論的基礎(九) 昭和36・3・8稿  
 雑誌「実践国語教育」掲載
- 6 夾竹桃のこと 昭和36・3・19稿  
 学級文集「ひさご」掲載
- 7 綴方教授の理論的基礎(一〇) 昭和36・4・3稿  
 雑誌「実践国語教育」掲載
- 8 綴方教授の理論的基礎(一一) 昭和36・4・5稿  
 雑誌「実践国語教育」掲載
- 9 国語教育学の史的展開 昭和36・4・9稿  
 戦後における国語教育学の展開
- 10 国語教育学の史的展開 昭和36・4・11稿  
 戦後における国語教育学の展開
- 11 「国語研究」(37号)掲載  
 芭蕉の修辭意識 昭和24・11・26初稿  
 「おくのほそ道」を中心に 昭和36・5・7補稿
- 12 昭和25・11・18、口頭発表 「国文学放」(25号)掲載  
 高校国語教育実践上の諸問題 昭和36・5・20述  
 明治三〇年代の話しことばの教育 昭和36・6・13稿  
 与良熊太郎氏のばあい
- 13 昭和36・6・15、口頭発表  
 わが家の家庭教育 昭和36・6・25稿
- 14 雑誌「学校教育」(8月号)掲載  
 綴方教授の理論的基礎(一二) 昭和36・7・4稿  
 雑誌「実践国語教育」掲載
- 15 受賞記 一垣内松三賞をいただきて 昭和36・7・20稿  
 幼児ことばの育成 昭和36・8・15稿  
 「採集」・「模倣」・「質問」
- 16 雑誌「家庭と教育」(9月号)掲載  
 二十年 一私の国語教育史 昭和36・8・16稿  
 文法教育共同研究のために 昭和36・8・24稿  
 一々作文 記述過程の観察・分析によせて
- 17 広大教育学部「文法教育」(3号)掲載  
 現場の国語教育研究の動向 昭和36・8・28稿  
 雑誌「学窓」(10月号)掲載
- 18 明治一〇年代の話しことばの教育 昭和36・9・6稿  
 演説形態を中心に 昭和36・9・8、口頭発表
- 19 綴方教授の理論的基礎(一三) 昭和36・9・9稿  
 雑誌「実践国語教育」掲載
- 20 大正期の話しことばの教育 昭和36・9・19稿  
 「国語教育」(二の四)話方号を中心に
- 21 昭和36・9・21、口頭発表  
 明治三〇年代の話しことばの教育 昭和36・10・2稿  
 与良熊太郎氏のばあい
- 22 「広島大学教育学部紀要」掲載

- 25 教材研究の立場と方法  
 昭和36・10・5稿  
 —「教材研究」批評(一)—  
 「教育科学／国語教育」(36) (明治図書) 掲載  
 国民教育としての書くことと教育 昭和36・10・8稿  
 —作文教育の発展のために—  
 広教組「文集指導の手引」所収
- 26 国語教育の領域と方法  
 昭和36・10・12述  
 「読解指導」研究の問題  
 昭和36・10・23稿  
 —「マリーのきてん」のばあい—  
 「国語ひろしま」掲載
- 27 教材研究—「マス・コミュニケーション」(高一)  
 昭和36・10・26稿 「現代国語」(好学社) 所収  
 物語教材のとりあげかた・教材研究の深めかたの問題  
 昭和36・11・5稿  
 —「教材研究」批評(二)—  
 「教育科学／国語教育」(37) (明治図書) 掲載  
 縦方教授の理論的基礎(一四)  
 昭和36・11・12稿  
 雑誌「実践国語教育」掲載
- 28 黎錦熙の「国語教学法」について  
 昭和36・11・17稿  
 —日中比較国語教育研究—  
 「教育学研究紀要」(中国四国教育学会) 掲載  
 昭和36・11・19稿  
 教材への懷疑と確信と  
 —「教材研究」批評(三)—  
 「教育科学／国語教育」(38) (明治図書) 掲載  
 昭和36・12・8稿  
 スピーチのこと
- 29 安田女子短大「会文」掲載  
 昭和36・12・18再稿  
 「実践の技術学」について  
 昭和36・12・26稿  
 「国文学叢」掲載  
 文学教材の発見と扱い  
 —「教材研究」批評(四)—  
 「教育科学／国語教育」(39) (明治図書) 掲載
- 30 昭和三十七年(一九六二)  
 1 高校「古典乙I」(古文)指導の基本問題 昭和37・1・15稿  
 「古典乙I」(古文)指導書(好学社) 所収  
 2 「現代国語」指導の基本問題 昭和37・1・22稿  
 「現代国語」(一)指導書(好学社) 所収  
 3 高校「談話・討議・発表」(高一)単元研究  
 昭和37・2・4稿 「現代国語」(一)指導書(好学社) 所収  
 4 推薦状(フランス政府留学生志望中西一弘君)  
 昭和37・2・15稿
- 31 高校国語教育の問題点  
 昭和37・2・15稿  
 —真実・典型・具象化ノート—  
 「広島県高校国語教育研究会会報」掲載  
 昭和37・2・22稿  
 高校「作文」(高一)単元研究  
 「現代国語」(一)指導書(好学社) 所収  
 昭和37・2・27稿  
 高校「言語と思考」教材研究  
 「現代国語」(一)指導書(好学社) 所収
- 32 昭和37・2・27稿
- 33 昭和37・2・27稿
- 34 昭和37・2・27稿

- 8 白田時太先生のこと  
— 国語学習個体史稿 —  
昭和37・2・28稿
- 9 高校作文のてびき「文章の要約」  
「現代国語」(≡)指導書(好学社) 所収  
昭和37・3・3稿
- 10 綴方教授の理論的基礎(一五)  
雑誌「実践国語教育」掲載  
昭和37・3・6稿
- 11 早春の譜 — 思い、思うこと —  
文集「さわらび」(2号) 掲載  
昭和37・3・17稿
- 12 わたくしの好きな児童詩  
— 「ぼく」 —  
昭和37・3・19稿
- 13 「詩の手帳」掲載  
国語教育研究の展望  
— 昭和35・36年度 —  
昭和37・3・19稿
- 14 書評「国語教授の改革」(田中久直著)  
「教育科学/国語教育」(明治図書) 掲載  
昭和37・3・27稿
- 15 綴方教授の理論的基礎(二六)  
雑誌「実践国語教育」掲載  
昭和37・4・7稿
- 16 国語教育学の史的展開  
— 戦後における国語教育学の展開その五 —  
「国語研究」(40号) 掲載  
昭和36・4・9稿
- 17 テレビのことばとことばものことば  
雑誌「家庭と教育」(5月号) 掲載  
昭和37・4・10稿
- 18 綴方教授の理論的基礎(二七)  
昭和37・4・12稿
- 19 雑誌「実践国語教育」掲載  
綴方教授の理論的基礎(二八)  
雑誌「実践国語教育」(9月号) 掲載  
昭和37・4・15稿
- 20 沼田先生のこと  
— 永遠の校長先生 —  
「国語の力」の成立過程Ⅲ  
— 国語教育学説史研究 —  
「国語教育研究」(4号) 掲載  
昭和37・5・4稿
- 21 「国語の力」の成立過程Ⅳ  
「国語教育研究」(5号) 掲載  
昭和37・5・24稿
- 22 昭和一〇年代の話しことばの教育  
— 国民学校を中心に —  
昭和37・6・7、口頭発表  
お話のしかた・聞かせかた  
雑誌「家庭と教育」(8月号) 掲載  
昭和37・6・23稿
- 23 池田克美君のこと  
文集「渚」(昭和37・7・10刊) 掲載  
「梨の花」に見られる国語学習史の問題  
雑誌「実践国語教育」(9月号・10月号) 掲載  
昭和37・6・29稿
- 24 綴方教授の理論的基礎(二九)  
雑誌「実践国語教育」(11月号) 掲載  
日本の「窓口」  
— 話すまでのかけの苦心を —  
全国にわたる組織拡充を  
昭和37・7・8稿
- 25 昭和37・7・10稿
- 26 昭和37・7・19稿

- 日本国語教育学会に望む —  
「日本国語教育学会誌」(21号) 掲載  
国語教育実践史の問題  
— 「冬景色」を中心に —  
昭和37・7・21稿
- 30 大下学園国語科教育研究会「研究紀要」(5) 掲載  
級方教授の理論的基礎(二〇)  
昭和37・7・22稿
- 31 雑誌「実践国語教育」(12月) 掲載  
級方教授の理論的基礎(二二)  
昭和37・7・23稿
- 32 雑誌「実践国語教育」掲載  
級方教授の理論的基礎(二二)  
昭和37・7・23稿
- 33 聞く話す領域における「ことば」の指導 昭和37・8・2稿  
— 中学校のばあい —  
「研究通信」(5) 掲載  
昭和37・8・6稿
- 34 第一回英彦山集会のこと  
雑誌「げんかい」(42号) 掲載  
昭和37・8・8稿
- 35 「授業研究」の史的考察  
雑誌「教育研究」(10月号) 掲載  
読むことの研究と実践のために  
— 小中高一貫の学習指導法の開拓 —  
昭和37・8・26稿
- 36 雑誌「実践国語教育」(11月) 掲載  
高校「聞く話す」(高二) 単元研究 昭和37・9・6稿  
「現代国語」(二)指導書(好学社) 所収  
昭和37・9・18稿
- 37 日記の指導について  
— 困難さの問題を中心に —  
「広島教育」(10月号) 掲載
- 38 伊沢修二の話しことばの教育 昭和37・9・19稿  
昭和37・9・20、口頭発表
- 39 国語学習指導法の改善 昭和37・9・20稿  
第15回全日本国語教育協議会、口頭発表
- 40 「国語の力」の成立過程V  
— 国語教育学説史研究 —  
「国語教育研究」(6号) 掲載  
昭和37・9・29稿
- 41 級方教授の理論的基礎(二三)  
雑誌「実践国語教育」掲載  
昭和37・10・4稿
- 42 級方教授の理論的基礎(二三)  
雑誌「実践国語教育」掲載  
昭和37・10・7稿
- 43 雑誌「実践国語教育」掲載  
級方教授の理論的基礎(二三)  
昭和37・10・7稿
- 44 雑誌「実践国語教育」掲載  
絵本の与えかた・読ませかた  
雑誌「家庭と教育」掲載  
昭和37・10・20稿
- 45 どのような言語観をもつべきか  
「教育科学/国語教育」(49) (明治図書) 掲載  
昭和37・10・23稿
- 46 大正期の話しことばの教育  
昭和37・10・30稿
- 47 「国語教育」(第二巻第四号) 話方号を中心に  
— 広島大学教育学部紀要 — 掲載  
張士一の「小学『国語話』教学法」について  
「日中比較国語教育研究」  
「教育学研究紀要」(中国四国教育学会) 掲載  
昭和37・11・21稿
- 48 新春のことば  
雑誌「実践国語教育」(38年1月号) 掲載  
昭和37・12・1稿
- 49 国語教材史の問題  
昭和37・12・2稿

- 寺田寅彦のばあい—
- 50 夫君と父君 昭和37・12・3稿  
文集「国語同行」(昭和37・12・9)掲載
- 51 高校「作文」(高二)単元研究 昭和37・12・18稿  
「現代国語」(口)指導書(好学社)所収
- 52 「国語の力」の成立過程VI 昭和37・12・22稿  
—国語教育学説史研究—  
「国語教育研究」(7号)掲載
- 昭和三八年(一九六三)
- 1 授業研究まとめ 昭和38・1・2稿  
「国語科教育」(第10集)掲載
- 2 国語科教育への成長過程 昭和28・5・29初稿  
—新制大学四年課程学生Aのばあい— 昭和38・1・10再稿  
「国語教育研究」(8号)掲載
- 3 学童の言語発達と指導上の問題 昭和38・1・13稿  
雑誌「学図」(3月号)掲載
- 4 大村はま先生 昭和38・1・30稿  
—ベスタロッチャー賞受賞者紹介—  
「ベスタロッチャー祭」パンフレット掲載
- 5 国語科授業のみかた 昭和38・2・3稿  
—国語科における授業研究の方法—  
「研究通信」(8号)掲載
- 6 綴方教授の理論的基礎(二四) 昭和38・2・5稿
- 7 雑誌「実践国語教育」(4月号)掲載  
国語教育研究の根本と課題 昭和38・3・3稿  
雑誌「学図」(4月号)掲載
- 8 綴方教授の理論的基礎(二五) 昭和38・3・7稿  
雑誌「実践国語教育」(5月号)掲載
- 9 河野辰三先生のおくさまに 昭和38・3・16稿  
—「タメイキ」の出る恩給額」を読んで—
- 10 国語科学習指導過程の問題点 昭和38・3・19稿  
「総合教育技術」(5月号)掲載
- 11 芭蕉における表現深化 昭和24・6・15初稿  
昭和38・4・1補稿  
—炭俵「門しめてだまってねたる面白さ」のばあい—
- 12 国語教育学の史的展開 昭和38・4・2稿  
—戦後における国語教育学の展開その六—  
「国語研究」(43号)掲載
- 13 綴方教授の理論的基礎(二六) 昭和38・4・7稿  
雑誌「実践国語教育」(6月号)掲載
- 14 文集「味酒野」1のまえがき・あとがき 昭和38・4・16稿  
読解指導過程の検討 昭和38・4・23稿  
—芦田「教式」のばあい—
- 15 「教育科学/国語教育」(55)(明治図書)掲載  
岡本明先生の短文 昭和38・5・1稿  
—その風土と抒情と—
- 16 歌誌「青炎」掲載

- 17 綴方教授の理論的基礎(二七) 昭和38・5・3稿  
 雑誌「実践国語教育」(7月号) 掲載
- 18 西尾実博士の経歴と活動 昭和38・5・7稿  
 大村はま先生の国語教育 昭和38・5・14稿  
 —その実践の源流と特質と—
- 19 「国語通信」(筑摩書房) 掲載  
 新緑あれこれ 昭和38・5・26稿
- 20 広大教育学部国語科三年クラス雑誌「かっぱ」掲載  
 近代国語教育年表大正期編まえがき 昭和38・5・26稿
- 21 綴方教授の理論的基礎(二八) 昭和38・6・8稿  
 雑誌「実践国語教育」(8月号) 掲載
- 22 教育における個体史的研究の意義と方法 昭和38・6・11稿  
 雑誌「学校教育」(8月号) 掲載
- 23 読む力を伸ばすには 昭和38・6・12稿  
 —母親の気をつけたいこと—
- 24 雑誌「家庭と教育」(8月号) 掲載  
 聞くこと・話すことの指導 昭和38・6・19述  
 綴方教授の理論的基礎(二九) 昭和38・7・9稿  
 雑誌「実践国語教育」(9月号) 掲載
- 25 高校古典乙Ⅱ編修趣旨 昭和38・7・14稿  
 「古典乙Ⅱ」指導書(好学社) 所収
- 26 高校「講演・話し方」単元研究 昭和38・7・19稿  
 「現代国語」指導書(好学社) 所収
- 27 高校「古典乙Ⅱ」の学習指導はいかにあるべきか 昭和38・  
 雑誌「学校教育」(12月号) 掲載
- 28 7・24稿 「古典乙Ⅱ」指導書(好学社) 所収  
 綴方教授の理論的基礎(三〇) 昭和38・7・24稿  
 雑誌「実践国語教育」(10月号) 掲載
- 29 親愛の情—横山邦治君に— 昭和38・9・10稿  
 綴方教授の理論的基礎(三一) 昭和38・9・10稿  
 雑誌「実践国語教育」(11月号) 掲載
- 30 いちゃりば ちようでい 昭和38・9・12稿  
 —行き会ったものはみんな兄弟—
- 31 雑誌「実践国語教育」(11月) 掲載  
 「学日本文法」(熊谷直孝著)を手にして 昭和38・9・18稿  
 沖繩あれこれ 昭和38・9・19稿  
 —夏期認定講習に向いて—
- 32 「広島県高等学校年報」(5) (昭和39・3・30) 掲載  
 綴方教授の理論的基礎(三二) 昭和38・10・13稿  
 雑誌「実践国語教育」(12月号) 掲載
- 33 国語教育における近代小説 昭和38・10・16稿  
 「中学校研究通信」(12) 掲載
- 34 高校作文のてびき 昭和38・10・23稿  
 —感想・感動のメモ—
- 35 「現代国語」(≡)指導書(好学社) 所収  
 国語教育を求めて 昭和38・10・28稿  
 —「開眼」ということ—

- 39 高校作文のてびき―論証の方法― 昭和38・10・29稿  
「現代国語」(旨)指導書(好学社) 所収
- 40 しずかに思いつめて 昭和38・11・9稿  
―新春のことば 昭和39年に―  
雑誌「実践国語」(1月号) 掲載
- 41 綴方教授の理論的基礎(三三三) 昭和38・11・11稿  
雑誌「実践国語」(1月号) 掲載
- 42 おふたりに―おわびと祝福と― 昭和38・11・14稿  
「ほくえみ」(永尾章曹君・竹村美蘭さんに) 掲載
- 43 「国語演説弁論詞作法」(王徳崇著) について 昭和38・11・15稿  
―日中比較国語教育研究―  
「教育学研究紀要」(中国四国教育学会) 掲載
- 44 芦田恵之助著の一資料 昭和38・12・6稿  
―「試験やすみ」―  
「国語科教育」掲載
- 45 綴方教授の理論的基礎(三四) 昭和38・12・9稿  
雑誌「実践国語」(昭和39年2月号) 掲載
- 46 旅路こそよけれ 昭和38・12・11稿  
広大教育学部国語科「研究旅行しおり」掲載
- 47 高校「作文」(高三)単元研究 昭和38・12・15稿  
「現代国語」(旨)指導書(好学社)
- 48 推薦状(H・M君) 昭和38・12・17稿  
作文学習の原理と方法 昭和38・12・17稿
- 49 「国語大分」(第8号) 掲載
- 50 台湾における話し方教授 昭和38・12・26稿  
昭和三十九年(一九六四)  
1 綴方教授の理論的基礎(三五) 昭和39・1・9稿  
雑誌「実践国語」(3月号) 掲載  
2 詩の鑑賞指導と作文指導 昭和39・1・19稿  
―授業解説―  
3 研究組織の問題 昭和39・1・22稿  
―都市単位の現場研究について―  
4 書く力をのばすために 昭和39・1・23稿  
―三つのこと―  
大竹市文集「竹の子」(第10号) 掲載  
5 推薦状(M・O君) 昭和39・1・24稿  
文集の個性と価値 昭和39・1・26稿  
6 山口県大津長門地区文集「なかま」に寄せて―  
文集「なかま」(第5号) 掲載  
7 綴方教授の理論的基礎(三六) 昭和39・2・8稿  
雑誌「実践国語」(3月号) 掲載  
8 国語学習個体史稿 昭和39・2・11稿  
―白田時太先生のこと―  
「研究紀要」(大下学園) 掲載  
9 現場での研究の進め方 昭和39・2・13稿  
―その考え方・方法について―

- 雑誌「国語教育」(3月号) (三省堂) 掲載  
 書くことの教育の確立 昭和39・3・6稿
- 10 「文集」への定着とその活用と  
 聞くこと・話すことの教育 昭和39・3・8稿  
 —その機微・深耕を求めて—
- 11 聞くこと・話すことの態度と技術  
 雑誌「学園」(4月号) 掲載 昭和39・3・9稿
- 12 級方教授の理論的基礎(三七)  
 雑誌「実践国語」(5月号) 掲載 昭和39・3・8稿
- 13 土井忠生先生の「源氏物語」演習  
 —国語解釈学の極北— 昭和39・3・15稿
- 14 「国語教育研究」(第9号) 掲載  
 国語学習個体史稿Ⅰ 昭和39・3・21稿
- 15 —旧制大洲中学校一年生のばあい—  
 「国語研究」(46) 掲載 昭和39・4・5稿
- 16 級方教授の理論的基礎(三八)  
 雑誌「実践国語」(6月号) 掲載 昭和39・4・6稿
- 17 級方教授の理論的基礎(三九)  
 雑誌「実践国語」(7月号) 掲載 昭和39・4・8稿
- 18 級方教授の理論的基礎(四〇)  
 雑誌「実践国語」(8月号) 掲載 昭和39・4・8稿
- 19 まえがき  
 —「演習古典の読解基礎編」に—  
 「演習古典の読解基礎編」(昭和39・4・1) (西日本書房)
- 掲載  
 級方教授の理論的基礎(四二) 昭和39・4・9稿
- 20 雑誌「実践国語」(9月号) 掲載  
 作文教育史の一考察 昭和39・4・11稿  
 —明治四一年ころを中心に—
- 21 級方教授の理論的基礎(四二)  
 雑誌「実践国語」(10月号) 掲載 昭和39・4・12稿
- 22 国語教育学の史的展開  
 —戦後における国語教育学の展開— 昭和39・4・13稿
- 23 —「国語教育学の建設」—  
 級方教授の理論的基礎(四三) 昭和39・4・14稿
- 24 雑誌「実践国語」(11月号) 掲載  
 級方教授の理論的基礎(四四) 昭和39・4・14稿
- 25 雑誌「実践国語」(12月号) 掲載  
 説明文指導上の問題点 昭和39・4・23稿
- 26 「教育学/国語教育」(68) (明治図書) 掲載  
 国語教育学会について 昭和39・4・25稿
- 27 —その役割・業績—  
 級方教授の理論的基礎(四五) 昭和39・5・3稿
- 28 雑誌「実践国語」(昭和40年1月号) 掲載  
 級方教授の理論的基礎(四八) 昭和39・5・5稿
- 29 雑誌「実践国語」掲載  
 級方教授の理論的基礎(四六) 昭和39・5・8稿
- 30 雑誌「実践国語」(昭和40年2月号) 掲載



- 31 級方教授の理論的基礎(四七) 昭和39・5・11稿  
 雑誌「実践国語」(昭和40年3月号)掲載
- 32 級方教授の理論的基礎(四九) 昭和39・5・15稿  
 雑誌「実践国語」掲載
- 33 感想・留意事項 昭和39・6・6稿
- 34 「小学校国語」説明要旨 昭和39・6・7稿
- 35 日本人の言語感覚 昭和39・6・13稿  
 「ことば時評」のばあい—  
 雑誌「学校教育」(8月号)掲載
- 36 国語の学力 昭和39・6・14稿  
 雑誌「家庭と教育」(8月号)掲載
- 37 台湾における話し方教授Ⅱ 昭和39・6・25稿  
 「廣大教育学部紀要」掲載
- 38 文集「味酒野」第二集まえがき 昭和39・7・5稿  
 級方教授の理論的基礎(五〇)  
 雑誌「実践国語」掲載
- 39 昭和39・7・15稿
- 40 「国語の力」成立過程Ⅵ 昭和39・7・19稿  
 —国語教育学説史研究—  
 「国語教育研究」(10)掲載
- 41 独立樹よ、さらに茂れ 昭和39・7・23稿  
 —「げんかい」五〇号に寄せて—
- 42 垣内松三先生の生涯と業績 昭和39・7・23稿  
 合宿研究から—作文の会—
- 43 昭和39・8・13稿
- 44 アメリカの話しことばの教育 昭和39・9・18稿

- 45 —その歴史を中心に— 昭和39・9・28稿  
 読解指導における人間の問題
- 46 書くことの教育推進の課題 昭和39・9・18稿
- 47 幼稚園・保育所における「言語」研究の進めかた 昭和39・9・30稿  
 雑誌「幼児の指導」(12月号)(学研)掲載
- 48 「読解指導力」養成上の問題点 昭和39・10・4稿  
 「近代国語教育年表Ⅱ大正編」
- 49 国語学力の基準をどう考えるか 昭和39・11・1稿  
 「教育科学/国語教育」(明治図書)掲載
- 50 月山—「ほそ道」の旅から— 昭和39・11・7稿  
 安田女子短大文芸部誌「会文」掲載
- 51 新春のことば 昭和39・11・18稿  
 雑誌「実践国語」(1月号)掲載
- 52 「マリーのきてん」に就いて 昭和39・11・20稿  
 —垣内国語解釈学の深化—
- 53 話しことばの実態と話すための文法 昭和39・12・1稿  
 —高等学校—  
 「口語文法講座」(第5巻)(明治書院)所収
- 54 立石寺 昭和39・12・13稿  
 学級誌「こぬれ」掲載
- 55 国語学習個体史稿 昭和39・12・20稿  
 —仲田庸幸先生のこと—
- 56 国語学習個体史稿Ⅱ 昭和39・12・21稿  
 —旧制大洲中学校三年生のばあい—

- 57 国語科教育課程研究の成果と反省 昭和39・12・26稿  
 一 一九六四—  
 「教育科学／国語教育」掲載
- 昭和四〇年（一九六五）  
 0 くらしの座標—当用漢字— 昭和40・1・11（月）  
 「中国新聞」（昭和40・1・11八月）掲載  
 1 昭和39年度教員養成学部教官研究集会 昭和40・1・12稿  
 —国語教育、中国・四国・九州地区—  
 「国語科教育」掲載  
 2 はじめに—「国語整理」古典入門— 昭和40・1・12稿  
 「国語整理」古典入門編（西日本書房）所収  
 3 国語教育研究の動向 昭和40・1・22稿  
 —昭和三九年（一九六四）—  
 「文学語学」（35）掲載  
 4 はじめに—「現代国語の読解」— 昭和40・1・23稿  
 文集の生命と価値  
 昭和40・1・某稿  
 5 文集「なにかま」掲載  
 6 中学校・高等 国語教育の課題 昭和40・2・14稿  
 学校における  
 —改善のポイントを探る—  
 「学校教育研究所年報」（9号）掲載  
 7 国語学習個体史稿Ⅲ 昭和40・2・16稿  
 —旧制大洲中学校二年生のばあい—  
 8 国語学習個体史稿 昭和40・2・16稿
- 9 —旧制大洲中学校四年生のばあい—  
 こどものことをまもうろ  
 雑誌「家庭と教育」（4月号）掲載 昭和40・2・21稿  
 10 国語学習個体史稿V 昭和40・2・22稿  
 —旧制大洲中学校五年生のばあい—  
 11 幼年期の文学教育 昭和40・2・23稿  
 —「お話」中心の方法の継承と開拓を—  
 12 旧制高女における国語学習例 昭和40・3・18稿  
 話し方の評価 昭和40・3・30稿  
 13 「解釈と鑑賞」（昭和40年7月）掲載  
 14 芦田「教式」における静坐の問題 昭和40・4・9再稿  
 （昭和35・11・24初稿）  
 15 芦田「教式」の完成態 昭和40・4・11稿  
 16 芦田「教式」における話法の問題 昭和40・4・13再稿  
 （昭和34・10・9初稿）  
 17 ことばあそび二つ 昭和40・4・27稿  
 18 芦田「教式」の分析・批判 昭和40・5・2稿  
 19 —波多野完治氏のばあい— 昭和40・5・3稿  
 芦田「教式」の分析・批判  
 —興水実氏のばあい—  
 20 綴方教授の理論的基礎（五二） 昭和40・5・6稿  
 雑誌「実践国語」掲載  
 21 沖繩の国語教育 昭和40・5・16稿  
 22 陳述書—R・Fさんのための— 昭和40・5・18稿

- 23 伊沢修二の話しことばの教育  
〔昭和37・9・19初稿〕  
昭和40・6・25再稿
- 24 綴方教授の理論的基礎(五二)  
雑誌「実践国語」(9月号) 掲載  
昭和40・7・10稿
- 25 国語教育改善の課題と方策  
「小学校教育研究」(9月号) 掲載  
昭和40・7・11稿
- 26 芦田「教式」の分析・批判  
—倉沢栄吉氏のばあい—  
昭和40・7・13稿
- 27 芦田「教式」の分析・批判  
—飛田多喜雄氏のばあい—  
昭和40・7・13稿
- 28 「国語の力」の成立過程Ⅷ  
—国語教育学説史研究—  
「国語教育研究」掲載  
昭和40・7・13稿
- 29 国語科教育の充実と進展のために  
—「学習指導要領」改訂への期待—  
昭和40・7・18稿
- 30 山崎正董博士の演説および辞群  
綴方「学校教育」(9月号) 掲載  
昭和40・7・26稿
- 31 綴方「教式」の成立・深化  
昭和34・5・28初稿  
昭和40・7・26再稿
- 32 「サクラ読本」研究について  
昭和35・12・4初稿  
昭和40・7・29再稿
- 33 「夏の花」  
中国新聞「灯浮標」(昭和40・8・20△金▽) 掲載  
昭和40・7・29稿
- 34 綴方教授の理論的基礎(五三)  
昭和40・8・7稿
- 35 雑誌「実践国語」掲載  
読書は少年の時にあり  
中国新聞「灯浮標」(昭和40・8・27△金▽) 掲載  
昭和40・8・10稿
- 36 国語科と放送利用の問題  
NHK教育テレビ放送用  
国語科と放送利用の問題  
昭和40・8・11稿
- 37 「国語の力」の成立過程Ⅸ  
「国語教育研究」掲載  
昭和40・8・19稿
- 38 児童言語研究会誌「国語教育研究」に寄せて  
昭和40・9・2稿
- 39 随筆王国<sup>3</sup>  
中国新聞「灯浮標」(昭和40・9・12△日▽) 掲載  
昭和40・9・2稿
- 40 十二年の歳月  
三一会会報(第7号) 掲載  
昭和40・9・3稿
- 41 綴方教授の理論的基礎(五四)  
雑誌「実践国語」(12月号) 掲載  
昭和40・9・9稿
- 42 風水害実証<sup>4</sup>  
中国新聞「灯浮標」(昭和40・10・4△月▽) 掲載  
昭和40・9・15稿
- 43 「まつりご」の分析  
—壺井栄の児童文学の原型—  
昭和40・9・16稿
- 44 「国語ひろしま」掲載  
高校国語科「学習指導要領」について  
昭和40・9・27稿
- 45 教官研究集会資料<sup>5</sup>  
絵はがき文化  
昭和40・10・6稿

- 47 中国新聞「灯浮標」(昭和40・10・12火)掲載  
「日本文学」を講じて 昭和40・10・7稿  
安田女子短大文芸部誌「会文」掲載
- 48 綴方教授の理論的基礎(五五) 昭和40・10・9稿  
雑誌「実践国語」(1月号)掲載
- 49 「水戸黄門展」 昭和40・10・9稿  
中国新聞「灯浮標」(昭和40・11・9)掲載
- 50 綴方教授の理論的基礎(五六) 昭和40・10・10稿  
雑誌「実践国語」(3月号)掲載
- 51 学生(安田女子短大)へ推薦する本 昭和40・10・29稿  
—佐藤春夫詩集—  
展示会用
- 52 <sup>14</sup>「源氏物語絵巻展」にて 昭和40・11・4稿  
广大教育学部国語科二年生クラス雑誌掲載
- 53 顔・顔・顔 昭和40・11・9稿  
中国新聞「灯浮標」掲載
- 54 <sup>8</sup>言語治療士養成を 昭和40・11・18稿  
中国新聞「灯浮標」(昭和40・11・30火)掲載
- 55 戦後国語教育の反省 昭和40・11・19稿  
「教育科学/国語教育」(臨時増刊号)掲載
- 56 新春のことは'66年 昭和40・11・20稿  
雑誌「実践国語」(昭和41年1月号)掲載
- 56' 文学教育のために 昭和40・11・24述  
—生活と文芸—
- 57 大下学園「研究紀要10」(昭和41・9・15)所収  
国語教育内容の構造化をどう考えるか 昭和40・11・25稿  
「現代教育科学」(99号) (明治図書) 掲載
- 58 導入指導と子どもの学力差の問題 昭和40・11・28稿  
「授業研究」(28号) (明治図書) 掲載
- 59 「怎樣教国文」(章鏡初著)について 昭和40・12・3稿  
—日中比較国語教育研究—
- 60 「教育学研究紀要」(中国四国教育学会) 掲載  
高校生の学力 昭和40・12・4稿
- 61 <sup>9</sup>中国新聞「灯浮標」(昭和40・12・8火)掲載  
<sup>10</sup>論文「越冬隊」 昭和40・12・4稿
- 62 中国新聞「灯浮標」(昭和40・12・14火)掲載  
<sup>11</sup>自作朗読 昭和40・12・5稿
- 63 おみくじ 昭和40・12・6稿
- 64 高校「発表・討議」(高一)単元研究 昭和40・12・9稿  
「現代国語」(一)指導書(好学社) 所収
- 65 「国語教育史研究」(山根安太郎先生著) 案内  
文集のほんとうの価値 昭和40・12・10稿  
文集「ななかま」(山口県大津長門地区) 掲載 昭和40・12・10稿
- 66 批評の極意 昭和40・12・14稿  
<sup>13</sup>今いづこ 昭和40・12・14稿
- 67 作文のてびき(1読書感想文/2文章の要約/3通信文の書き方/4論文の書き方) 昭和40・12・14稿
- 68
- 69

「現代国語」(一)指導書(好学社) 所収  
論考(三編)の解題  
昭和40・12・16稿

1 日中比較国語教育研究関係―

70 高校「作文」(高一)単元研究 昭和40・12・22稿

71 「現代国語」(一)指導書(好学社) 所収

72 明治二〇年代の話しことばの教育 昭和40・12・23稿

―「婦人談話会趣旨書」を中心に―

73 「国語科教育」(13) (全国大学国語教育学会) 掲載

戦前国語教育科学の内容と方法 昭和40・12・29稿

74 教員養成学部教官集会編「国語科教育の研究」所収

75 対話「The Sound of Music から」 昭和40・12・31稿

76 ひぐらし

77 漫画漫想 昭和40・12・31稿

78 昼の月 昭和40・12・31稿

昭和四一年(一九六六)

1 大役―司会― 昭和41・1・3稿

2 綴方教授の理論的基礎(五七) 昭和41・1・8稿

3 雑誌「実践国語」(4月号) 掲載

4 散髪先生 昭和41・1・9稿

5 「図書館だより」(広島市立図書館) 掲載

6 明治一〇年代の話しことばの教育 昭和41・1・20稿

―演説形態を中心に―

6 雪の日 昭和41・1・25稿

7 若さ―欣豫―

8 作文教育の課題 昭和41・1・27稿

―感動の回復と自信の育成と―

9 「作文教育」(第2集) 掲載

10 綴方教授の理論的基礎(五八) 昭和41・3・8稿

雑誌「実践国語」(5月号) 掲載

11 高校話すこと「説明・主張」(高二)単元の研究 昭和41・3・13稿

12 「現代国語」(一)指導書(好学社) 所収

13 テーブルスピーチ 昭和41・3・19稿

―戸田清教授を送る会にて―

14 山根安太郎先生の業績をたたえて 昭和41・3・20稿

15 「国語教育研究」(12) 掲載

16 「白雲無尽時」 昭和41・3・21稿

17 「ほたる合戦」 昭和41・3・21稿

18 源平桃 昭和41・3・21稿

19 高校「作文」(高二)単元研究 昭和41・3・21稿

20 「現代国語」(一)指導書(好学社) 所収

21 専博士のこと 昭和41・3・25稿

22 教材としての漱石 昭和41・3・26稿

23 小説 昭和41・3・27稿

24 染井吉野 昭和41・3・27稿

- 21 綴方教授の理論的基礎 (五九) 昭和41・4・7稿  
雑誌「実践国語」掲載
- 22 昭和一〇年代の話しことばの教育 昭和41・4・12稿  
— 国民学校を中心に —
- 23 旧制中学校における話しことばの教育 昭和41・4・23稿  
— 弁論活動を中心に —
- 24 32  
33 指揮棒  
出版記念祝賀会 昭和41・4・29稿  
昭和41・4・30稿
- 25 「サクラ読本」研究について 昭和35・12・4初稿  
昭和40・7・29再稿
- 26 綴方教授の理論的基礎 (六〇) 昭和41・5・8成稿  
昭和41・5・9稿
- 27 雑誌「実践国語」掲載
- 28 「国語教育学史研究」まえがき 昭和41・5・10稿
- 29 「国語教育学史研究」あとがき 昭和41・5・10稿
- 30 「近代国語教育学史研究」まえがき 昭和41・5・10稿
- 31 福沢諭吉の話しことば教育 昭和41・5・22稿
- 32 芦田「教式」の分析・批判 昭和41・5・27稿
- 33 芦田「教式」の分析・批判 昭和41・5・28稿  
— 近藤国一氏のはあい —
- 34 文章の読解過程における思考訓練 昭和41・5・30稿  
「教育学／国語教育」(94) (8月号) (明治図書) 掲載
- 35 小学校低学年における読解指導の事例研究の分析
- 49 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39 38 37 36
- 「国語科の授業研究」(3) (明治図書) 所収  
綴方教授の理論的基礎 (六一) 昭和41・6・4稿  
雑誌「実践国語」(8月号) 掲載
- 「近代国語教育学史研究」序説 昭和41・6・14稿
- 昭和初期の話しことばの教育 昭和41・6・22稿
- 「国語教育」第一五卷第九号第二話方号 —
- 大正期の話しことばの教育その二 昭和41・6・26稿
- 「近代国語教育学史研究」結語 昭和41・6・26稿
- 「近代国語教育学史研究」要旨 昭和41・6・27稿
- 「国語教育学史研究」 昭和41・6・30著
- 「近代国語教育学史研究」 昭和41・6・30著
- 綴方教授の理論的基礎 (六一) 昭和41・7・10稿
- 雑誌「実践国語」(9月号) 掲載
- 34 民話一つ 昭和41・7・14稿
- 45 国文学者・人国記広島県の巻 昭和41・7・16稿
- 46 雑誌「国文学」(9月号) 所収
- 47 形象理論に立つ指導過程 昭和41・7・25稿
- 「教育学／国語教育」(明治図書) 掲載
- 47 読解指導理論の成立展開 昭和41・7・29述
- 大分県中学校国語教育研究会
- 48 綴方教授の理論的基礎 (六三) 昭和41・8・10稿  
雑誌「実践国語」(10月号) 掲載
- 49 国語教育と思考力 昭和41・8・16稿

- 「子どもの思考構造」(明治図書) 所収
- 50 「現代国語」の学習指導はどうあるべきか  
昭和41・8・21稿 「現代国語」指導書(好学社) 所収
- 51 中学校における文学教育  
―鑑賞力の拡充を中心に―  
昭和41・8・30稿
- 52 「中学校教育研究」(10月号) 掲載  
私の研究生活おぼえがき  
雑誌「学校教育」(11月号) 掲載  
昭和41・9・1稿
- 53 いたずら  
靴のひも  
36  
37  
昭和41・9・3稿
- 54 意解と事解  
昭和41・9・3稿
- 55 蟬の歌  
昭和41・9・4稿
- 56 綴方教授の理論的基礎(六四)  
昭和41・9・6稿
- 57 雑誌「実践国語」掲載
- 58 涙  
38  
昭和41・9・15稿
- 59 旧友  
39  
昭和41・9・15稿
- 60 海  
40  
昭和41・9・15稿
- 61 古今堂書店―旭川―  
41  
昭和41・9・15稿
- 62 虹  
42  
昭和41・9・15稿
- 63 蒐集  
43  
昭和41・9・18稿
- 64 六道駅  
44  
昭和41・9・18稿
- 65 中国・台湾における国語教育  
―日中比較国語教育研究―  
昭和41・9・18稿
- 66 巴旦杏  
45  
昭和41・9・19稿
- 67 明治前期における会議形態の成立過程 昭和41・9・27稿
- 68 昭和41・9・28、口頭発表  
46  
昭和41・9・29稿
- 69 綴方教授の理論的基礎(六五)  
雑誌「実践国語」掲載  
47  
昭和41・10・8稿
- 70 領布振りしより  
昭和41・10・12稿
- 71 国語教育における学習内容の現代化  
雑誌「学校教育」(12月号) 掲載  
昭和41・10・14稿
- 72 作文教育の進展のために  
「国語通信」(創刊号) 掲載  
昭和41・10・15稿
- 73 中国の作文教育  
―日中比較国語教育研究―  
48  
昭和41・10・17初稿
- 74 最上川舟唄  
49  
昭和41・10・19稿
- 75 山頭火  
昭和41・10・21稿
- 76 表現鑑賞を深めるために  
50  
昭和41・10・29述
- 77 波の音  
51  
昭和41・10・30稿
- 78 書庫  
昭和41・11・4稿
- 79 「国語通信」(創刊号) 掲載  
52  
昭和41・11・4稿
- 80 序文致  
昭和41・11・4稿
- 81 明治期作文学習の一樣相  
―大町桂月のばあい―  
昭和39・4・11初稿
- 綴方教授の理論的基礎(六六) 所収  
昭和41・11・7再稿

- 雑誌「実践国語」掲載  
 53 競走  
 82 昭和41・11・9稿
- 吉備津神社  
 83 昭和41・11・9稿
- 新年のことば  
 84 昭和41・11・17稿
- 雑誌「実践国語」(1月号) 掲載  
 85 昭和41・11・19稿
- 態度評価の問題  
 86 昭和41・11・19稿
- 「教育学/国語教育」(2月号) (明治図書) 掲載  
 87 昭和41・11・21稿
- 話すことの教育の向上  
 88 昭和41・11・21稿
- 全国高校弁論大会所感—  
 89 昭和41・11・21稿
- 広大教育学部国語科三年生クラス誌掲載  
 87 あとがき  
 昭和41・12・1稿
- 文集「大村はま先生に学びて」—  
 88 昭和41・12・9稿
- 綴方教授の理論的基礎(六七)  
 89 昭和41・12・10稿
- 雑誌「実践国語」(2月号) 掲載  
 89 伊形卓氏のこと  
 昭和41・12・10稿
- 文集「風紋」所収  
 90 昭和41・12・11稿
- 創刊のことば—あすなろう—  
 91 昭和41・12・11稿
- 安田女子短大児童文学部誌「あすなろう」(創刊号) 掲載  
 92 昭和41・12・14稿
- 恩頼と学縁  
 92 昭和41・12・18稿
- 「文芸文化」のひとりの読者として—  
 92 昭和41・12・18稿
- 「バルカノン」(第22輯) 掲載  
 92 55 #アカシヤの花ふみしだき  
 昭和41・12・20稿
- 文集「紫匂ふ」(一号) 掲載  
 93 まえがき  
 昭和41・12・20稿
- 「国語整理現代国語入門編」—  
 94 作文の指導の観点  
 昭和41・12・31稿
- 「中等教育資料」(2月号) 掲載  
 昭和四二年(一九六七)
- 1 年の初めに  
 2 56 #「児童言語研究会ニュース」掲載  
 昭和42・1・4稿
- 2 さばん売り  
 3 57 三歳児  
 昭和42・1・4稿
- 3 綴方教授の理論的基礎(六八)  
 4 雑誌「実践国語」(3月号) 掲載  
 昭和42・1・5稿
- 4 綴方教授の理論的基礎(六八)  
 5 雑誌「実践国語」(3月号) 掲載  
 昭和42・1・10稿
- 5 高校作文教育の前進のために  
 6 雑誌「実践国語」(3月号) 掲載  
 昭和42・1・19稿
- 6 一つの教訓  
 7 書き出しについて—  
 昭和42・1・31稿
- 7 長門地区文集「なかも」(第8号) 掲載  
 昭和42・2・5稿
- 7 教材「漱石」学習の一面  
 8 昭和42・2・9稿
- 8 昭和一〇年前後—  
 9 広島大学教育学部近代文学研究会機関誌掲載  
 昭和42・2・9稿
- 8 58 #鑑賞おぼさん  
 9 広大教育学部国語科三年生「研究旅行のしおり」掲載  
 昭和42・2・11稿
- 9 綴方教授の理論的基礎(六九)  
 10 雑誌「実践国語」(4月号) 掲載  
 昭和42・2・15稿
- 10 白雲悠々清水文雄先生のお人柄—



- 11 廣島大学国語国文学会「公報」掲載  
寅彦邸址  
昭和42・2・22稿
- 12 60 せんだん祭  
昭和42・2・22稿
- 13 綴方教授の理論的基礎(七〇)  
雑誌「実践国語」(5月号)掲載  
昭和42・3・7稿
- 14 61 話しことは教育の確立のために  
「音声学会報」掲載  
昭和42・3・9稿
- 15 62 ある「祝詞」  
白雲悠々  
昭和42・3・9稿
- 16 清水文雄先生のお人柄  
理恵ちゃん  
昭和42・3・9稿
- 17 詞華集「初花」から  
昭和42・3・10稿
- 18 63 広大教育学部国語科四年生「卒業文集」掲載  
「パーマ先生」  
昭和42・3・22稿
- 19 単元学習の進展のために  
昭和42・3・22稿
- 20 「教科研究小学校国語」(8) 掲載  
昭和42・3・22稿
- 21 「日乗上人日記」考  
昭和42・3・28稿
- 22 一元禄期言語生活の一面―  
「国文学攷」掲載  
昭和42・4・9稿
- 23 綴方教授の理論的基礎(七二)  
雑誌「実践国語」(6月号) 掲載  
昭和42・4・16稿
- 24 「国語の力」の成立過程X  
「国語教育学説史研究」  
昭和42・4・16稿
- 25 「国語教育研究」(13) 掲載
- 24 功績調査(清水文雄博士)  
昭和42・4・23稿
- 25 斉読の意義とその指導  
昭和42・4・25稿
- 26 「児童心理」(第21巻7号)  
中学生の文字力とその指導  
昭和42・4・29稿
- 27 「中学校教育研究」(6月号) 掲載  
昭和42・5・3稿
- 28 66 四月馬鹿  
磐姫陵  
昭和42・5・3稿
- 29 68 秋篠寺  
石山寺  
昭和42・5・4稿
- 30 69 明治期国語学習史の一考察  
寺田寅彦のばあい  
昭和42・5・7稿
- 31 高知大学国語教育学会「国語教育」(15号) 掲載  
「国語解釈法」(武島羽衣著) について  
昭和42・5・14稿
- 32 国語解釈法史稿1―  
「解釈」(6月号) 掲載  
昭和42・5・15稿
- 33 綴方教授の理論的基礎(七二)  
雑誌「実践国語」(7月号) 掲載  
昭和42・5・22稿
- 34 70 余韻  
春の旅から―五章―  
昭和42・5・22稿
- 35 67 広大教育学部国語科四年生「こけら」掲載  
国語教育実践の基本課題  
昭和42・5・23稿
- 36 「小学校教育研究」(7・8月号) 掲載  
高校「作文教室」(高三) 研究  
昭和42・5・30稿
- 37 「現代国語」(日指導書) 好学校社 所収

- 38 作文のてびき「論証の方法」(高三) 昭和42・5・30稿
- 39 「現代国語」(白指導書(好学社)所収 昭和42・6・9稿  
言語教育学の発見
- 40 言語教育学叢書第一巻「言語教育の本質と目的」月報掲載  
明治期話しことは教育の源流 昭和42・6・11稿  
71 広島大学国語国文学会春季集会発表要項掲載
- 41 国語教育の一筋を求めて 昭和42・6・18稿  
—一つことをあためる—
- 42 雑誌「学校教育」(8月号)掲載  
国語科教育のめざす学力 昭和42・6・22稿
- 43 「教育研究」(8月号)掲載  
綴方教授の理論的基礎(七三) 昭和42・6・25稿
- 44 雑誌「実践国語」(8月号)掲載  
綴方教授の理論的基礎(七四) 昭和42・7・27稿
- 45 雑誌「実践国語」(9月号)掲載  
近代国語教育史研究 昭和42・7・27稿
- 46 日本教育学会「教育学研究」掲載  
72 昭和42・7・29稿  
72 講評 昭和42・7・31稿
- 47 大分県中国研「城島研修のまとめ」掲載  
基本的教材の設定についてどう考えたらよいか 昭和42・8・3稿  
「教育学科／国語教育」(10月号)掲載
- 47' 作文教育の改造 昭和42・8・4述  
日本作文教育研究会「作文教育」(7)掲載
- 48 原爆ドーム 昭和42・8・5稿  
73 74 山の色・空の色 昭和42・8・5稿
- 49 高校「話し方—コミュニケーションの基礎—」(高三)研究  
昭和42・8・21稿 「現代国語」(白指導書(好学社)所収
- 50 作文のてびき「感想・感動のメモ」(高三)研究  
昭和42・8・22稿 「現代国語」(白指導書(好学社)所収
- 51 教育課程審議会中間報告を説んで「国語」  
昭和40・8・27稿 雑誌「家庭と教育」(10月号)掲載
- 52 草刈り 75 昭和42・9・1稿  
76 パナナ 昭和42・9・1稿
- 53 全日本国語教育協議会に期待するもの 昭和42・9・1稿  
—独自の方式を生かして—
- 54 「全日本国語新聞」掲載  
苦闘の記録—その創造性—
- 55 「内申水害実況」を中心に—  
雑誌「実践国語」臨時増刊掲載
- 56 77 昭和42・9・7稿  
78 暗誦 昭和42・9・10稿
- 57 お祝い 79 昭和42・9・10稿  
80 明治期における文学史教育 昭和42・9・15稿
- 60 「広島大学教育学部紀要」掲載  
国語教育の遺産—言語と思考— 昭和42・9・20稿
- 61 小学館版教育学全集第5巻「言語と思考」所収  
国語学習指導の基底にあるもの 昭和42・9・28稿
- 62

- 63 「小学校教育研究」(11月号) 掲載  
 作文の指導計画  
 —高等学校—  
 昭和42・10・9稿
- 64 明治書院「作文講座」(第3巻) 所収  
 西郷竹彦氏の「冬景色」論を読んで  
 「総合教育技術」(12月号) 掲載  
 昭和42・10・29稿
- 65 「国民性」の根底にあるものを  
 「現代教育科学」(明治図書) 掲載  
 昭和42・11・3稿
- 66 「国語の力」の成立過程 XI  
 —国語教育学説史研究—  
 「国語教育研究」(14) 掲載  
 昭和42・11・5稿
- 67 縦方教授の理論的基礎(七五) 掲載  
 雑誌「実践国語」掲載  
 昭和42・11・10稿
- 68 「創造力」を目ざす国語教育  
 雑誌「教育研究」(昭和43年1月号) 掲載  
 昭和42・11・15稿
- 68' 表現指導のなげき・よろこび  
 「国語大分」掲載  
 昭和42・11・17述
- 69 大町桂月の作文教育論  
 大下学園「研究紀要」掲載  
 昭和42・11・19稿
- 70 書くことのきびしさとたのしき  
 山口県長門天津地区文集「なかま」(9) 掲載  
 昭和42・11・21稿
- 71 COS(学習指導要領) 所見  
 中国の作文教育  
 昭和42・12・13稿
- 72 —夏巧尊・劉薰宇の「文章作法」を中心に—  
 昭和42・12・15稿
- 73 「教育学研究紀要」(中国四国教育学会) (13) 掲載  
 新春のことば  
 雑誌「実践国語」(1月号) 掲載  
 昭和42・12・17稿
- 74 選評  
 「専売ひろしま」—随筆  
 「専売ひろしま」掲載  
 昭和42・12・23稿
- 75 作文教育を求めて  
 —コース(系統) 設定のむずかしさ—  
 「中学校国語」(二〇一号) 掲載  
 昭和42・12・24稿
- 76 選者<sup>80</sup>  
 「見だし」<sup>80'</sup>  
 昭和42・12・25稿
- 77 書評「児童文の表現」(山口正教授著) 昭和42・12・26稿  
 昭和42・12・28稿
- 78 日本作文教育研究会「作文教育」(8) 掲載  
 昭和42・12・31稿
- 79 79<sup>81</sup> たちねの母をうしなふ  
 昭和42・12・31稿
- 80 80<sup>82</sup> 「偶然性の問題」  
 昭和42・12・31稿
- 昭和四三年(一九六八)
- 1 国語教科書の改善  
 講座「国語教育の改造」(第2巻) (明治図書) 所収  
 昭和43・1・8稿
- 2 高等学校作文教育に望むこと  
 広島県高等学校国語研究会「年報」掲載  
 昭和43・1・21稿
- 3 「小国」編修の基本方針  
 昭和43・1・24稿
- 4 佐々政一の作文教育  
 「国語科教育」(15) 掲載  
 昭和43・1・27稿

- 83  
5 祝詞 昭和43・2・1稿  
藤井幹雄君結婚祝詞
- 6 「響りんりん音りんりん」 昭和43・2・2稿  
— 藤村詩の一考察 — 昭和43・2・2稿
- 7 「近代文学研究」(8) 掲載  
「唱歌実驗遊戯」(芦田恵之助編) について 昭和43・2・4稿  
「国語教育研究」(15) 掲載
- 8 豆まき<sup>84</sup> 昭和43・2・4稿  
国語教育 昭和43・2・11稿  
— 昭和四二年を中心に —
- 9 全国大学国語国文学会「文学・語学」(47) 掲載  
「国民性の育成」について 昭和43・2・15稿
- 10 雑誌「学校教育」(4月号) 掲載
- 11 東西南北 昭和43・2・21稿
- 12 文献紹介「国語の力」 昭和43・2・23稿  
「国語の教育」(創刊5月号) (国土社) 掲載
- 13 巻頭のことば 昭和43・3・3稿  
「あすなろう」(第2号) 掲載
- 14 初心をたいせつに 昭和43・3・22稿  
広大教育学部国語科四年生文集「国語教育のヴィジョン」
- 15 大正初期の作文教育論 昭和43・4・5稿  
— 垣内松三氏のばあい —
- 16 明治時代後期の中等国語教育の実情 昭和43・4・9稿  
— 明治三〇年代から明治末年まで —  
「わが国の義務教育における教育方法の歴史的研究」(伊瀬仙太郎編) 所収
- 17 綴方教授の理論的基礎(七六) 昭和43・4・14稿  
雑誌「実践国語」掲載
- 18 「国語の力」の成立過程Ⅱ 昭和43・4・21稿  
「国語教育研究」(15) 掲載
- 19 心情をゆたかにする国語教育 昭和43・4・29稿  
「小学校教育研究」(5月号) 掲載
- 20 綴方教授の理論的基礎(七七) 昭和43・5・9稿  
雑誌「実践国語」掲載
- 21 中国の国語教育について 昭和43・5・19稿  
A A地域総合研究連絡会報(3) 掲載
- 22 新指導要領に関するアンケート 昭和43・6・5稿  
86  
「国語の教育」(国土社) 掲載
- 23 「国語の基本的性格と密度の問題」 昭和43・6・9稿  
「教育科学/国語教育」(8月号) 掲載
- 24 国語科教育研究室現況 昭和43・6・9稿  
夏休みに読んでほしい一冊の本 昭和43・6・12稿  
「ことばの生活のために」 — 昭和43・6・17稿
- 25 「学燈」(8月号) 掲載
- 26 萩・津和野 昭和43・7・3稿
- 27 萩・津和野 昭和43・7・3稿

- 40 39 38 37 36 35 34 33 32 31' 31 30 29 28
- 読書断想  
昭和43・8・15稿
- <sup>96</sup> ひまわり  
昭和43・8・14稿
- <sup>95</sup> 作文教育のすすめ  
昭和43・8・6稿
- 「解釈」(9月号) 掲載
- 一時枝博士の解釈法を求めて—  
昭和43・8・5稿
- 古典学習を深めるために  
昭和43・8・5稿
- 悪友は  
昭和43・8・3稿
- <sup>94</sup> 附せい  
昭和43・8・3稿
- <sup>93</sup> 朗読  
昭和43・8・3稿
- <sup>92</sup> 導入二つ  
昭和43・8・3稿
- <sup>91</sup> 函館／陋居／樺飛びこみ  
昭和43・7・29述
- <sup>88</sup> 近況三題  
昭和43・7・31稿
- ねむの花樹  
昭和43・7・26稿
- 国語科における創造性  
昭和43・7・29述
- Education in Japan Vol. IV 掲載
- 中学校国語科—  
昭和43・7・21稿
- 日本のカリキュラムの歴史と現状  
昭和43・7・21稿
- 9・12(木) 下掲載  
昭和43・7・19稿
- 「中国新聞」(昭和43・9・11(水)) 上掲載、(昭和43・9・12(木)) 下掲載
- 「国語教育研究」(16) 掲載  
昭和43・7・19稿
- 「国語の力」の成立過程XII  
昭和43・7・19稿
- 国語教育学説史研究—
- 「浅野図書館だより」(9月号) 掲載  
昭和43・8・16稿
- <sup>97</sup> 蜂のこと  
昭和43・8・16稿
- <sup>96</sup> 母よいづこ  
昭和43・8・16稿
- <sup>99</sup> 東京文学院講本  
昭和43・8・23稿
- 言語教育  
昭和43・9・1稿
- 小学館版「ジャポニカ大百科」所収  
昭和43・9・3稿
- <sup>100</sup> ちいさき母  
昭和43・9・3稿
- 論文の文章  
昭和43・9・5稿
- 「国文学解釈と鑑賞」(11月号) 臨時増刊号(至文堂) 掲載  
昭和43・9・9稿
- 大正後期における「現代文」教授  
昭和43・9・9稿
- 「広島大学教育学部紀要」(17) 掲載  
昭和43・9・11稿
- 綴方教授の理論的基礎(七八)  
昭和43・9・11稿
- 雑誌「実践国語」掲載  
昭和43・9・15稿
- 新指導要領の問題点  
昭和43・9・15稿
- 国語科・作文を中心に—  
昭和43・9・18稿
- 雑誌「学校教育」(11月号) 掲載  
昭和43・9・18稿
- 文章表現力(作文)の評価と処理  
昭和43・9・18稿
- 「国文学」臨時増刊号掲載  
昭和43・10・18稿
- 近代国語教育の系譜  
昭和43・10・18稿
- 三つの系列を中心に—  
昭和43・10・25稿
- 「国語教育の遺産と継承」(I)(新光閣書店) 所収  
昭和43・10・25稿
- 国語教育史的にみた興水理論  
昭和43・10・25稿
- 「国語教育法の革新」所収  
昭和43・10・28稿
- 天鼓地声(コラム)

- 昭和大職組新聞掲載  
昭和前期（二〇年代）の国語教育 昭和43・11・2稿  
―教育実習を中心に―
- 54 広大教育学部附属中等学校「国語科研究紀要」（1）掲載  
国語学習个体史稿 昭和39・12・20初稿  
―仲田庸幸先生のこと― 昭和43・11・4補稿
- 55 大下学園「研究紀要」（13）掲載  
富士山<sup>101</sup> 昭和43・11・24稿  
弥彦山 昭和43・11・25稿  
大谷先生 昭和43・12・1稿
- 58 近代国語教育の歩み 昭和43・12・2稿  
―小稿三編―
- 59 学文社「国語科教育法」所収  
中国の作文教育 昭和43・12・8稿  
―「作文指導」を中心に―
- 60 中国四国教育学会「教育学研究紀要」（14）掲載  
国語教育研究風土記／広島県 昭和43・12・11稿  
「教育学／国語教育」（2月号）掲載  
随筆「旅」選評 昭和43・12・23稿
- 61 「ひろしま」（日本専売公社広島地方局）掲載  
明治三〇年代の話しことばの教育  
―横山健三郎氏・宮城県のはあい―
- 62 昭和43・12・31稿
- 63 昭和43・12・31稿
- 昭和四四年（一九六九）
- 1 明治三〇年代の話しことばの教育 昭和44・1・4再稿  
―横山健三郎著「話方教授之枝折」を中心に―
- 2 大分大学国語国文学会「国語の研究」（4）掲載  
戦後の国語教育の研究動向 昭和44・1・10稿  
―外国のばあい―
- 3 現代教育研究第七巻「教育内容の構造Ⅰ」所収  
「現代国語」の課題と方法 昭和44・1・17稿  
「教科研究」（好学社）掲載
- 4 中等国語教育の史的展開 昭和44・2・9稿  
全国大学国語教育学会編「中学校国語科教育研究」所収  
琴線にふれる国語教育を 昭和44・2・16稿  
雑誌「学校教育」（4月号）掲載  
文章を求めて 昭和44・2・17稿  
出雲市作文研究会「雲」（創刊号）掲載
- 5 巻頭言「はじめに」 昭和44・2・24稿  
安田女子短大児童文学部「あすなろう」（第3号）掲載  
子どもをひきつける授業 昭和44・3・25稿  
「小一教育技術」（5月号）掲載  
徳岡久生詩集「はしがき」 昭和44・3・28稿  
詩集「三斜晶系」所収  
告辞（草稿） 昭和44・4・5稿  
コミュニケーション技術の訓練 昭和44・4・22稿  
講座「自主学习」（第3巻）「自主学习―訓練と評価」（黎明

- 書房) 所収
- 12 中学校指導要領「書くこと」の考察 昭和44・5・27稿  
 「教育科学／国語教育」(明治図書) 掲載
- 13 書評高橋巖氏著「幼児の言語と教育」を読んで  
 昭和44・6・25稿  
 昭和44・6・29稿
- 14 永遠の心のふるさと  
 大洲高校同窓会報「藤影」掲載  
 梅雨ふかく  
 昭和44・7・1稿
- 15 広大教育学部国語科クラス文集掲載  
 お道よく―曾根川道子さんへ―  
 昭和44・7・8稿  
 昭和44・7・18稿
- 16 論争の系譜  
 「国語の教育」(国土社) 掲載  
 はしがき  
 昭和44・8・28稿
- 17 「教科書教材を生かした、構想力を育てる作文指導の展開」  
 (熊本県中学国語教材研究会) 所収  
 編集後記  
 昭和44・9・2稿
- 18 「国文学放」(50号) 掲載  
 書評「幼児の言語と教育」(高橋巖著) 昭和44・9・8稿  
 「言語生活」(10月号) 掲載
- 19 大正期における近代詩教授  
 「広島大学教育学部紀要」(18) 掲載  
 抒情教材のこと―短歌のばあい―  
 昭和44・10・16稿
- 20 「国文学放」(51) 掲載  
 国語科教育史  
 昭和44・10・18稿
- 21 「小学校国語科教育学入門」(有精堂) 所収  
 芦田恵之助の国語教育実践の基本的性格 昭和44・10・20稿  
 「国語ひろしま」(20号) 掲載
- 22 丘の上の母校のこと  
 愛媛県菅田小学校PTA機関誌「柔の実」掲載  
 国語科授業成立の過程と渊源  
 昭和44・11・12稿
- 23 大下学園「研究紀要」掲載  
 沖繩の詩人  
 一山之口獺氏のこと―  
 昭和44・11・24稿
- 24 広大教育学部国語科三年生文集掲載  
 読書指導における「書くこと」  
 島根国語懇話会「国語創造」掲載  
 中国の国語教育  
 一「国語読法教学原論」(袁哲編著)を中心に―  
 「教育学研究紀要」(中国四国教育学会) 掲載  
 昭和前期(一〇年代)の国語教育(二) 昭和44・12・14稿  
 一教育実習を中心に―  
 広大教育学部附属中高等学校「国語科研究紀要」(2号)  
 掲載
- 25 「冬景色」論争の焦点  
 昭和44・12・15稿  
 「『冬景色』論争」(明治図書) 所収
- 26 随筆選評  
 社内報「ひろしま専売」掲載  
 これからの国語教育  
 昭和44・12・26稿
- 27 随筆選評  
 社内報「ひろしま専売」掲載  
 これからの国語教育  
 昭和44・12・26稿

―戦後国語教育の歩みと新指導要領の目ざすもの―

「教科研究」(1月号) 掲載

昭和四五年(一九七〇)

- 1 「小学校国語」(四年生)の指導の重点 昭和45・1・5稿  
「小学校国語」(四年生)指導書(学校図書)所収
- 2 国語教師の理想像 昭和45・1・18稿  
「小四教育技術」(3月号) 掲載
- 3 峰地光重先生の話聴教育 昭和45・1・23稿  
「国語人」(第10号) 掲載
- 4 外国における個人差に應ずる国語指導 昭和45・2・8稿  
「個人差に應じた授業の実践国語科」(学芸出版) 所収
- 5 「自照の文学」(垣内松三稿)について 昭和45・2・14稿  
「中世文芸」(47)(広島大学中世文芸研究会) 掲載
- 6 「国語の力」の成立過程XIV 昭和45・2・24稿  
―国語教育学説史研究―  
「国語教育研究」(17) 掲載  
ある母親のうったえ―巻頭言― 昭和45・3・1稿
- 7 「広島実践国語教育」(第2号) 掲載
- 8 「国語教授法」(下平末蔵編)について 昭和45・3・1稿  
―明治後期国語科革新の一面―  
「広島実践国語教育」(第2号) 掲載
- 9 「中等国語教授法」(市川源三講述)について 昭和45・3・9稿  
―国語解釈法史稿2―
- 10 「解釈」(5月号) 掲載  
「猿蓑」所収「はつしぐれの巻」の三四の句について  
―その生活的背景など―  
昭和45・4・4稿 「国文学叢」(52号) 掲載
- 11 巻頭言(1) ある寄せ書き 昭和45・4・14稿  
雑誌「学校教育」(6月号) 掲載
- 12 高校「発表・討議」(高一)単元の研究 昭和45・4・16稿  
「現代国語」(一)指導書(好学社) 所収
- 13 高校「説明・主張」(高二)単元の研究 昭和45・4・26稿  
「現代国語」(二)指導書(好学社) 所収
- 14 国語科教育における教育工学の役割 昭和45・4・28稿  
講座「教育の現代化と教育工学」2  
「カリキュラムと教育工学」(明治図書) 所収
- 15 荒木栄之助さんを偲びて 昭和45・4・29稿  
荒木栄之助追悼集「限りなき前進」(文化評論出版) 所収
- 16 巻頭言(2) あるドラマ 昭和45・5・3稿  
雑誌「学校教育」(7月号) 掲載
- 17 読み方教授の史的考察 昭和45・5・5稿  
「広島実践国語教育」(3号) 掲載
- 18 就任に際して 昭和45・5・17稿  
広大教育学部附小「PTA通信」(第1号) 掲載
- 19 人の親の心は闇にあらねども 昭和45・5・20稿  
広大教育学部附小「PTA通信」(第1号) 掲載
- 20 書評西尾邦夫氏著「国語教育と話しことばの創造」



- 昭和45・5・28稿 「国士館大学人文学会紀要」掲載  
 21 弔詞―故井上正敏君に― 昭和45・6・3稿  
 22 巻頭言(3)ある語録から 昭和45・6・4稿  
 23 雑誌「学校教育」(8月号)掲載  
 国語科教材研究への提言 昭和45・6・7稿  
 24 「初等教育資料」(7月号)掲載  
 はしがき 昭和45・6・10稿  
 高田亘氏著「読解指導入門」(明治図書)所収  
 25 本山恵三君を悼む 昭和45・6・25稿  
 国語科教師への成長過程を中心に―  
 三一会「春潮」(第8号)掲載  
 26 国語教育書誌の一考察 昭和45・6・29稿  
 天野敬太郎先生古稀記念論文集「図書館学とその周辺」所収  
 27 巻頭言(4)『あはれさしばらくやまざりけらし』  
 昭和45・7・8稿 雑誌「学校教育」(9月号)掲載  
 28 忘れがたいことども 昭和45・7・9稿  
 29 広島市小国研夏期講座資料掲載  
 制御力よくきいた学習論 昭和45・7・12稿  
 30 「現代教育学科」(9月号)(明治図書)掲載  
 井上正敏君の想い出 昭和45・7・19稿  
 31 「国語の教育」(9月号)(国士社)掲載  
 「教壇釈迦」(芦田恵之助・青山廣志)について  
 昭和45・7・20稿 広島市国語教育研究会発表  
 32 作文教育研究の分野と方法 昭和45・7・21稿  
 33 「作文指導事典」(第一法規)所収  
 作文教育の基本問題 昭和45・7・27稿  
 文章の呼吸を把握すること―  
 34 「広島実践国語教育」(第4号)掲載  
 道子さんのこと 昭和45・7・28稿  
 35 西村道子さんの結婚文集「松竹桃」掲載  
 昭和前期(一〇年代)の国語教育(三) 昭和45・8・15稿  
 教育実習を中心に―  
 36 広島大学教育学部附属中等学校「国語科研究紀要」(3号)  
 掲載  
 心に残った一つの発問 昭和45・8・19稿  
 36' 「小四教育技術」(10月号)掲載  
 作文教育の原理と方法 昭和45・8・19稿  
 37 広島県教委講習会記録  
 巻頭言(5)『堂々とやること』 昭和45・8・23稿  
 38 雑誌「学校教育」(10月号)掲載  
 推薦状(M・O君) 昭和45・9・2稿  
 39 明治前期における会議形態の成立過程 昭和45・9・8稿  
 一話しことば教育史研究―  
 40 「広島大学教育学部紀要」掲載  
 巻頭言(6)『ミチシルベ』 昭和45・9・10稿  
 41 雑誌「学校教育」(11月号)掲載  
 子らとともに―一九七〇年夏― 昭和45・9・10稿  
 42 広島大学教育学部附小「PTA通信」(第2号)掲載

- 42 弟のこと 昭和45・9・12稿  
 広大教育学部国語科クラス文集掲載
- 43 児童文学におけるファンタジーの世界 昭和45・9・13稿  
 「国語ひろしま」掲載
- 44 大正期の綴り方教授概観 昭和45・9・某稿  
 — 随意選題を中心に —
- 45 「作文・綴り方教育史資料」(桜楓社)所収  
 すいせんのことば 昭和45・9・20稿  
 — 「母親のためのやさしい心理学」 —
- 46 読書生活をゆたかに 昭和45・9・30稿  
 広島字品東小「PTA新聞」掲載
- 47 書評「読解指導過程の比較と実践」(相馬信男・吉川数共著) 昭和45・10・2稿  
 「教育科学/国語教育」(12月号)掲載
- 48 田上新吉 昭和45・10・11稿  
 「作文指導事典」(第一法規)所収
- 49 友納友次郎 昭和45・10・11稿  
 「作文指導事典」(第一法規)所収
- 50 巻頭言(7)実践の機微と秘奥 昭和45・10・12稿  
 雑誌「学校教育」(12月号)掲載
- 51 芦田恵之助の綴り方学習個体史 昭和45・10・14稿  
 雑誌「学校教育」(12月号)掲載
- 52 昭和前期の作文教育 昭和45・10・18稿  
 「作文指導事典」(第一法規)所収
- 53 芦田恵之助の話しかた教授論 昭和45・10・20稿
- 54 「広島実践国語教育」(第5号)掲載  
 松永信一教授を悼む 昭和45・10・21稿  
 「広島実践国語教育」(第5号)掲載
- 54' 国語学習の態度と方法 昭和45・11・4述  
 山口県立豊浦高校「進路」掲載
- 55 本質的関連とそのための基本条件 昭和45・11・7稿  
 — 読書指導と読解指導と —
- 55' 「教育科学/国語教育」(1月号)掲載  
 学習の根底にあるもの 昭和45・11・9述  
 広大教育学部附小PTA五年生部会講演記録掲載
- 56 国語教材史の一考察 昭和45・11・11稿  
 — 「父帰る」(菊池寛作)について —
- 57 大下学園「研究紀要」(15)掲載  
 巻頭言(8)新年 昭和45・11・16稿  
 雑誌「学校教育」(1月号)掲載
- 58 作文・綴り方教育史研究概況 昭和45・11・23稿  
 「作文・綴り方教育史資料」(桜楓社)所収
- 59 まえがき 昭和45・11・24稿  
 「作文・綴り方教育史資料」(桜楓社)所収
- 59' 読書力の育成 昭和45・11・27述  
 愛媛県新谷中学校講演記録掲載
- 60 大正期における話しことは教育 昭和45・12・1稿  
 — 静岡女子師範付小のばあい —  
 「教育学研究紀要」(中国四国教育学会)掲載

- 昭和三十九年(一九七二)
- 61 父と子との間 昭和45・12・4稿  
 広大教育学部附小「PTA通信」掲載
  - 62 巻頭言(9)「復帰」 昭和45・12・14稿  
 雑誌「学校教育」(2月号)掲載
  - 63 ある飛翔への挽歌 昭和45・12・18稿  
 一松永信一教授を悼む一  
 「表現研究」(第13号)掲載
  - 1 随意選題論争の展開 昭和46・1・6稿  
 一友納友次郎を中心に一  
 「国語科教育」(18)掲載
  - 2 ことばの生活をゆたかに 昭和46・1・10稿  
 「現代国語」(一)(第一学習社)掲載
  - 3 「作文ノート」の誕生をよろこぶ 昭和46・1・13稿  
 「作文ノート」(岸田武夫編著)推薦のことば  
 巻頭言(10)「ひな」あらば 昭和46・1・17稿  
 雑誌「学校教育」(3月号)掲載
  - 5 文集「付属のこども」(第4号)の発刊によせて 昭和46・1・18稿  
 昭和46・1・19稿  
 国語科教育の役割  
 「小学校国語科指導事典」(第一法規)所収
  - 7 感想文指導の意義 昭和46・1・23稿  
 「作文教育」(第16集)掲載
  - 8 逸見伸三郎編「国文学読本」の附帯文法教授 昭和46・1・24稿  
 「広島実践国語教育」(第6号)掲載
  - 9 まえがき 昭和46・1・24稿  
 「自主徒然草研究」(西日本書房)所収
  - 10 教材「山ノ上」の解釈のこと 昭和46・1・25稿  
 解釈行為の生活をどのように確立するか 昭和46・1・25稿  
 「教育科学/国語教育」(4月号)掲載
  - 11 巻頭言(11)学習態度育成の底にあるもの 昭和46・1・31稿  
 雑誌「学校教育」(4月号)掲載
  - 12 発動的な学習態度の育成 昭和46・2・2稿  
 雑誌「学校教育」(4月号)掲載
  - 13 国語科教育研究のために 昭和46・2・7稿  
 「小学校国語科指導事典」(第一法規)所収
  - 14 諸外国の国語教育の概況 昭和46・2・8稿  
 「小学校国語科指導事典」(第一法規)所収
  - 15 随想五題一「米あらふ前を」二「童詩一つ」三「唯一冊」 昭和46・2・12稿  
 四「桃その一」五「桃その二」  
 広大教育学部国語科クラス文集「こけら」掲載
  - 16 広島県の国語教育研究者と研究動向 昭和46・2・14稿  
 一「一九七〇年(昭和四五年)」一  
 「国語教育・結論と展望」(明治図書)所収
  - 17 調査報告書(M・D君) 昭和46・2・15稿  
 国語教師の条件 昭和46・2・19稿  
 「国語の教育」(4月号)(国土社)掲載
  - 18 国語教師の条件 昭和46・2・19稿  
 「国語の教育」(4月号)(国土社)掲載

- 20 まえがき 昭和46・2・20稿
- 21 「あすなるう」(第4号)(安田女子短大児童文学研究部) 掲載  
あとがき 昭和46・2・21稿
- 22 「文集源平桃」(文化評論出版) 所収  
「文集源平桃」 昭和46・2・21著  
文化評論出版(昭和46・6・30刊)
- 23 「春は花」  
三光鳥 昭和46・2・26稿
- 24 広大教育学部附小PTA会誌「プラタナス」掲載  
三光鳥 昭和46・2・27稿
- 25 発問と助言の機能 昭和46・3・1稿  
講座「話し合い学習」上「話し合い学習の理論と技術」  
(明治図書) 所収
- 26 かけがえのない人間に 昭和46・3・8稿  
広大教育学部附小六年生「卒業文集」(一の六) 掲載
- 27 作文教育史の断面 昭和46・3・8稿  
「国語サークル」(広島市小学校国語同好会) 掲載
- 28 疾走 昭和46・3・9稿  
松 昭和46・3・10稿
- 29 巻頭言(12)「おもしろき事のみなり」 昭和46・3・14稿  
雑誌「学校教育」(5月号) 掲載
- 30 雑誌「学校教育」(5月号) 掲載
- 31 桂浜 昭和46・3・22稿
- 32 竜河洞 昭和46・3・22稿
- 33 衝澗館 昭和46・3・29稿  
「せせらぎ」(第5号) 掲載
- 34 芦田恵之助「綴方十二ヶ月」の著者 昭和46・3・31稿  
「綴方十二ヶ月」復刻用パンフレット 掲載
- 35 創造者・開拓者としての人間像 昭和46・4・1稿  
—言語表現を媒介として—
- 36 「国語科教育の人間像とその指導」(明治図書) 所収  
語り手・聞き手としての母親 昭和46・4・2稿  
—「おはなし」の再認識—
- 37 「ママの相談室」(7月号) 掲載  
「ふるさと」としての大洲 昭和46・4・3稿
- 38 「大洲高等学校沿革誌」所収  
はしがき 昭和46・4・6稿  
「新しい漢字の学習」(二年用)(六年用)(西日本書房) 掲載  
予定(未刊行)
- 39 巻頭言(13) 通信と寡信の間 昭和46・4・8稿  
雑誌「学校教育」(6月号) 掲載
- 40 話しことばの特質と機能 昭和46・4・11稿  
—教育話法と学習話法—  
講座「話し合い学習」(上)「話し合い学習の理論と技術」  
(明治図書) 所収
- 41 国語教育「原論」の確立を 昭和46・4・14稿  
雑誌「教育研究」(6月号) 掲載
- 42 「小野圭」の一面 昭和46・4・17稿
- 43 ある校歌 昭和46・4・17稿
- 44 板書の現代化 昭和46・4・21稿

- 教材の精選と構造化との関連で—  
「国語科板書事項の精選と構造化」(明治図書 (10月号)  
所収
- 45 巻頭言(14) 昭和46・5・2稿
- 46 雑誌「学校教育」(7月号) 掲載  
近代読書個体史の一考察  
「広島実践国語教育」(第7号) 掲載
- 47 「国語の力」の成立過程 XV  
—国語教育学説史研究—  
「国語教育研究」(18) 掲載
- 48 麗春花 昭和46・5・26稿
- 49 蟬 昭和46・5・26稿
- 50 「綴方十二ヶ月」の源流と由来  
別冊「綴方十二ヶ月」の意義と価値」所収
- 51 家庭・学校のありかた  
「綴方十二ヶ月」の意義と価値」所収  
「綴方十二ヶ月」の意義と価値」(文化評論出版)
- 52 巻頭言(15) 〃あとは全部苦しみ〃  
雑誌「学校教育」(8月号) 掲載
- 51' 随筆の心 昭和46・6・12述
- 53 教材研究上の問題点とその改造 昭和46・6・15稿  
「国語科指導法の改造」第二巻(小学校4・5・6年編)  
(明治図書) 所収
- 53' 「綴方十二ヶ月」の筆録を行いて 昭和46・6・16稿
- 54 所収(故沖垣寛氏の代筆)  
随想古書肆めぐり  
—私の趣味—  
「小六教育技術」(8月号) 掲載
- 55 ひめゆり  
まぶた  
私の見た実践  
—広島県安佐郡佐東町八木小学校—  
「小二教育技術」(8月号) 掲載
- 57 昭和46・6・22稿
- 56 昭和46・6・20稿
- 58 昭和46・6・23稿
- 59' 野地潤家様侍史  
新聞「(一一一八号) ^ 読書メモ ^ 欄掲載
- 59 関書新聞様  
昭和46・6・26稿
- 60 欣然  
書評「国語科読書指導の理論—読書体験創造譚みの実地研  
究—」(望月久貴著)  
昭和46・6・30稿
- 61 「教育科学/国語教育」(9月号) 掲載
- 62 單元論 昭和46・7・11稿
- 63 「中学校国語教育講座」(第6巻) (有精堂) 所収  
話しかたの至境  
—徳川夢声氏のこと—  
「国語教室」(第二号) 掲載
- 64 授業の深奥  
—斯波六郎先生と吉川幸次郎博士と—  
昭和46・7・14稿

65	「国語教室」(第3号) 掲載 芦田恵之助綴り方教育年表 「別冊『綴方十二ヶ月』の意義と価値」(文化評論出版) 所収	昭和46・7・19稿	81	―話しことば教育史研究から見た― 全日本国語教育学会大会講演 理髪先生 帆立て貝 峠 三吉	昭和46・8・7稿 昭和46・8・7稿 昭和46・8・7稿
66	巻頭言(16) 学びの場の「真清水」 雑誌「学校教育」(9月号) 掲載	昭和46・7・20稿	82	中等古典教育の史的展開その一 朝顔	昭和46・8・7稿 昭和46・8・7稿
67	「綴方十二ヶ月」索引 復刻「綴方十二ヶ月」(文化評論出版) 所収	昭和46・7・21稿	83	序	昭和46・8・15稿 昭和46・8・18稿
68	雷 小鳥	昭和46・7・23稿 昭和46・7・23稿	84	「作文指導入門」(高田亘氏著) (明治図書) 所収	昭和46・8・24稿
69	遠泳	昭和46・7・26稿	85	ことば・日本語・国語教育(下) 「総合教育技術」(10月号) 掲載	昭和46・8・25稿
70	西瓜割り	昭和46・7・26稿	86	伝右衛門 巻頭言(17) 「星の王女さま」 雑誌「学校教育」(10月号) 掲載	昭和46・8・27稿
71	はまゆう	昭和46・7・26稿	87	「中学国語」(三年用) 指導書(学校図書) 所収	昭和46・8・31稿
72	「サクラ読本」記念碑	昭和46・7・27稿	88	読書像 うちわ	昭和46・9・1稿 昭和46・9・1稿
73	先陣	昭和46・7・27稿	89	国語科授業史研究 ―芦田恵之助の綴り方の授業を中心に―	昭和46・9・5稿
74	出船型	昭和46・7・27稿	90	「広島大学教育学部紀要」掲載	昭和46・9・7稿
75	ことば・日本語・国語教育(上)	昭和46・7・28稿	91	校正	昭和46・9・19稿
76	「総合教育技術」(9月号) 掲載	昭和46・7・29稿	92	言語表現における思考と創造の関連	
77	花火	昭和46・7・29稿	93		
78	別府行	昭和46・7・29稿	94		
79	夢	昭和46・7・30稿	95		
80	国語学習力をきたえるには 松江小学校国語研究会機関誌掲載 国語教育の創造性	昭和46・7・31稿 昭和46・8・5述	96		

- 111 卷頭言(19) 『原爆の子』 昭和46・10・22稿
- 110 雑誌「学校教育」(12月号) 掲載  
 雑誌「学校教育」(12月号) 掲載  
 雑誌「学校教育」(12月号) 掲載
- 109 「子ども」における「表現」の探究 昭和46・10・21稿
- 108 「復刻日本児童文学館」のために  
 「図書月版広島支社」のため  
 昭和46・10・17稿  
 昭和46・10・19稿
- 107 梧桐  
 「作文教育」(第18集) 掲載  
 わたくしの日記 昭和46・10・11稿
- 106 「国語教室」(第5号) 掲載  
 一明治期国語学習個体史の一面—  
 秋水のこと 昭和46・10・7稿
- 105 雑誌「学校教育」(11月) 掲載  
 卷頭言(18) 日本一の苦心 昭和46・10・1稿
- 104 中等古典教育の史的展開その二  
 昭和46・9・30稿
- 103 虹 昭和46・9・24稿
- 102 ねこ 昭和46・9・24稿
- 101 雨蛙 昭和46・9・24稿
- 100 ムーンライト 昭和46・9・24稿
- 99 歯を痛む 昭和46・9・24稿
- 98 旅館「五ヶ瀬」 昭和46・9・22稿
- 97 話縁ということ 昭和46・9・19稿  
 「国語教室」(第4号) 掲載  
 雑誌「学校教育」(12月号) 掲載
- 112 雑誌「学校教育」(12月号) 掲載  
 血の池地獄 昭和46・10・24稿
- 113 松虫草 昭和46・10・25稿
- 114 火口 昭和46・10・26稿
- 115 草千里浜 昭和46・10・26稿
- 116 火口—修学旅行記から— 昭和46・10・26稿
- 117 ことばしつけの本 昭和46・10・29稿  
 一増ミチ子著「女性とことば」—  
 「国語教室」(第6号) 掲載  
 昭和46・11・13稿
- 118 国語学習個体史稿 昭和46・11・14稿  
 一昭和一〇年代の国語学習の一面—  
 大下学園「研究紀要」(16) 掲載
- 119 近代読書個体史の一考察 昭和46・11・14稿  
 一片山哲氏の「わが心の愛読書」—  
 「国語ひろしま」(第24号) 掲載  
 署名 昭和46・11・15稿
- 120 「せせらぎ」(第11号) 掲載  
 明治三〇年代の作文指導過程 昭和46・11・21稿  
 「広島実践国語教育」(第8号) 掲載
- 122 雑誌「学校教育」(1月号) 掲載  
 雑誌「学校教育」(1月号) 掲載  
 雑誌「学校教育」(1月号) 掲載
- 123 雑誌「学校教育」(1月号) 掲載  
 雑誌「学校教育」(1月号) 掲載  
 雑誌「学校教育」(1月号) 掲載

- 124 「広島実践国語教育」(第8号) 掲載  
文章研究のすすめ 昭和46・11・26稿
- 125 「小二教育技術」(1月号) 掲載  
藤原与一先生の国語教育学創建 昭和46・11・29稿  
—国語学習個体史稿—
- 126 「国文学攷」(59) 掲載  
織り方授業史研究 昭和46・12・1稿  
—芦田恵之助のばあい—  
「教育学研究紀要」(中国四国教育学会) 掲載  
旧制中学校の話しことばの教育 昭和46・12・8稿  
—「桐蔭間語」(森本角蔵氏著) から—
- 127 「国語教室」(第7号) 掲載  
教材研究への視野の確保と基礎研究の必要 昭和46・12・12稿  
「教育科学/国語教育」(2月号) 掲載  
明治前期(二〇年代)の国語教育(四) 昭和46・12・12稿  
—教育実習を中心に—
- 128 広島大学教育学部附属中高等学校「国語科研究紀要」(第4号) 掲載  
明治三〇年代の話しことばの教育 昭和46・12・16稿  
—明治三四年(一九〇一)を中心に—  
「真下三郎先生退官記念論集」所収  
巻頭言(21) 心情の深奥 昭和46・12・22稿  
雑誌「学校教育」(2月号) 掲載
- 129 学習力・生活力・創造力としての聞くことの技能の演練
- 130 昭和四七年(一九七二)  
1 解説 井上正敏君の文学教育理論の成立と特質  
昭和47・1・10稿 井上正敏著「文学の機能と指導過程」  
(明治図書) 所収
- 2 一冊の本—内藤濯氏著「話の技術」— 昭和47・1・11稿  
「国語教室」(第8号) 掲載
- 3 芦田恵之助先生の教材研究 昭和47・1・15稿  
—韻文教材「山ノ上」のばあい—  
「ともしび」(第2号) 掲載
- 3' 「文集源平桃」 昭和47・1・15再版
- 4 「国語の力」の成立過程Ⅱ 昭和47・1・17稿  
—国語教育学説史研究—
- 5 「国語教育研究」(19) 掲載  
巻頭言(22) 授業をささえるもの 昭和47・1・24稿  
—「おそれ」と「おもい」—
- 6 雑誌「学校教育」(3月号) 掲載  
学校作文百年史 昭和47・1・25稿  
「言語生活」(3月号) (筑摩書房) 掲載
- 7 国語科教育研究の拠点と方法 昭和47・1・27稿  
「教育科学/国語教育」(4月号) 掲載
- 8 あとがき 昭和47・2・8稿



- 9 「作文教育の探究」所収  
 『書きだし』の研究―授業記録― 昭和47・2・9稿
- 10 「作文教育の探究」所収  
 「作文教育の探究」 昭和47・2・9著
- 11 まえがき  
 昭和47・7・20刊(文化評論出版)
- 12 「あすなろう」(第5号) (安田女子短大児童文学研究部機関誌) 掲載  
 『奥処知らずも』 昭和47・2・13稿
- 13 広大教育学部附小PTA機関誌「プラタナス」(第10号) 掲載  
 国語科授業創造の呼吸  
 ―『青木幹勇先生』授業考― 昭和47・2・14稿
- 14 「国語教室」(第10号) 掲載  
 高等学校教員養成の問題(レポート) 昭和47・2・17稿
- 15 昭和四六年(一九七二)国語教育の研究動向―広島県―  
 昭和47・2・19稿 「国語教育研究年鑑」(一九七二年版) 所収
- 16 巻頭言(23) 根づくしつけを  
 雑誌「学校教育」(4月号) 掲載  
 自主性をめざすしつけ 昭和47・2・25稿
- 17 学習しつけと生活しつけ―  
 雑誌「学校教育」(4月号) 掲載  
 国語科教育実践・研究の基本領域 昭和47・3・2稿
- 18 国語科教育実践・研究の基本領域 昭和47・3・6稿
- 19 「聞くこと・話すこと」の教育―  
 「教育科学/国語教育」(5月号) 掲載  
 国語科授業力の問題 昭和47・3・15稿
- 20 「教科研究小学校国語」(23) 掲載  
 『やさしさ』と『きびしさ』 昭和47・3・18稿
- 21 広大教育学部附小六年生「卒業文集」(67回生) 掲載  
 巻頭言(24) 学習訓練の手はじめ 昭和47・3・18稿
- 22 雑誌「学校教育」(5月号) 掲載  
 聞くことの醍醐味 昭和47・3・31稿
- 23 「国語教室」(第11号) 掲載  
 ハムレット 昭和47・4・1稿
- 24 お祝いのことば  
 ―吉岡佐知子さんへ― 昭和47・4・3稿
- 25 国語科教育研究の創意と集積  
 「教育科学/国語教育」(6月号) 掲載  
 明治二〇年代の中等作文教育  
 ―尼上八郎氏のばあい― 昭和47・4・9稿
- 26 「解釈」(5月号) 掲載  
 朗読のこと 昭和47・4・12稿
- 27 「国語教室」(第12号) 掲載  
 復刻「綴方十二ヶ月」再版あとがき 昭和47・4・14稿
- 28 「綴方十二ヶ月」の意義と価値 (文化評論出版) 所収  
 巻頭言(25) 協力の根源 昭和47・4・17稿
- 29 雑誌「学校教育」(6月号) 掲載

- 30 快活ということ 昭和47・4・17稿  
 三一会会報「春潮」掲載
- 31 はしがき 昭和47・4・23稿
- 32 江波（広島市）読書会Aグループ親子読書会記録所収  
 国語科授業の探究と創造 昭和47・4・24稿
- 33 「教育学／国語教育」（7月号）掲載  
 附属学校と教育実習（レポート） 昭和47・5・5稿  
 垣内松三 昭和47・5・7稿
- 34 「授業研究大事典」（明治図書）所収  
 国語教育の研究団体 昭和47・5・7稿
- 35 「授業研究大事典」（明治図書）所収  
 祝詞―尾形美代子さんに― 昭和47・5・9稿
- 36 巻頭言（26）表現力育成の鉄則・厳則 昭和47・5・某稿  
 ―遠藤熊吉翁景仰―
- 37 雑誌「学校教育」（7月号）掲載  
 子どもたちの聞きかた 昭和47・5・19稿
- 38 「国語教室」（第13号）掲載  
 「国語教育原論」 昭和47・5・23稿  
 「国語教育学史」 昭和47・5・23稿  
 「話しことは学習論」 昭和47・5・23稿  
 「読解指導論」 昭和47・5・23稿
- 41 琴線にふれる国語教育―  
 待たれる『三部作』刊行 昭和47・5・26稿  
 実践社（森信三氏）パンフレット掲載
- 42 五月富士 昭和47・6・1稿  
 紛失 昭和47・6・2稿
- 43 「国語科教育における創造性の探究」 昭和47・6・8稿  
 「教育科学／国語教育」（8月号）掲載
- 44 詩の朗読―丸山定夫氏のこと― 昭和47・6・9稿  
 「国語教室」（第14号）掲載
- 45 文学の授業のありかた 昭和47・6・10稿  
 ―「二銭銅貨」（黒島伝治）のばあいを中心に―
- 46 広大教育学部附属中高等学校「国語科研究紀要」（第5号）  
 掲載
- 47 葛の葉 昭和47・6・15稿  
 さくいん 昭和47・6・18稿
- 48 「作文教育の探究」（文化評論出版）所収  
 まえがき 昭和47・6・20稿
- 49 「作文教育の探究」（文化評論出版）所収  
 著者のことば 昭和47・6・20稿  
 まえがき 昭和47・6・24稿
- 50 「野口英世」伝の研究」（明治図書）所収  
 これからの作文教育 昭和47・6・27稿  
 「小二教育技術」（8月号）掲載  
 まえがき 昭和47・6・28稿
- 51 山根巴著「国語科教育法試論」（教育出版センター）所収  
 巻頭言（27）学習価値の発見 昭和47・6・30稿  
 雑誌「学校教育」（8月号）掲載

- 56 芦田式教授法 昭和47・7・5稿  
 「授業研究大事典」(明治図書)所収
- 57 形象理論 昭和47・7・7稿  
 「授業研究大事典」(明治図書)所収
- 58 巻頭言(28)「場面」考 昭和47・7・7稿  
 雑誌「学校教育」(9月号)掲載
- 59 国語科教育の基本領域の開拓 昭和47・7・10稿  
 一作文教育研究―  
 「教育科学/国語教育」(9月号)掲載
- 60 「夜明け前」のこと 昭和47・7・18稿  
 「国語教室」(第15号)掲載
- 61 序 昭和47・7・20稿  
 定金恒次著「国語科読書指導の展開―中学・高校編」  
 (明治図書)所収
- 62 一冊の本 昭和47・7・20稿  
 国語科評価の基本問題  
 「指導と評価」(9月号)掲載
- 63 昭和47・7・24稿
- 64 親しみ 昭和47・7・25稿  
 「教科研究小学校国語」掲載
- 65 いとなみ 昭和47・7・26稿  
 音読 昭和47・7・27稿
- 66 涙ほどの 昭和47・7・31稿
- 68 ぎっくり腰 昭和47・7・31稿
- 69 白杵石仏 昭和47・7・31稿
- 70 水害奇聞 昭和47・8・1稿  
 しぐさ 昭和47・8・1稿
- 71 薰風 昭和47・8・7稿
- 72 素顔 昭和47・8・7稿
- 73 国語科読書指導の探索 昭和47・8・13稿  
 「教育科学/国語教育」(10月号)掲載
- 74 「放送ばなし」(和田信賢著)のこと 昭和47・8・15稿  
 「国語教室」(第16号)掲載
- 75 「綴方教室」の意義と価値 昭和47・8・28稿  
 「綴方教室」の意義と価値 昭和47・8・29稿
- 76 昭和47・11・20刊(文化評論出版)  
 雑誌「学校教育」(10月号)掲載
- 77 巻頭言(29)学習軌道論 昭和47・9・1稿
- 78 巻頭言 授業の素朴さ・線の太さ 昭和47・9・1稿  
 「広島実践国語教育」掲載
- 79 「国語教育原論」追加 昭和47・9・4稿  
 国語科評価の史的展開  
 「広島大学教育学部紀要」(21)掲載
- 80 昭和47・9・10稿
- 81 「葉を食む虫のように」 昭和47・9・10稿  
 「教科研究小学校国語」掲載
- 82 国語科教育研究集団のありかた 昭和47・9・13稿  
 一実践意欲の燃焼と研究の集積―  
 「教育科学/国語教育」(11月号)掲載
- 83 「言葉は虹を孕む」 昭和47・9・15稿

- 84 「国語教室」(第17号) 掲載  
古書あつめ  
― 収集のよろこび ―  
昭和47・9・19稿
- 85 「小四教育技術」(11月号) 掲載  
国語科教育学の樹立  
昭和47・9・21稿
- 86 「中学校国語科教育法」(桜楓社) 所収  
高等学校国語科教育法  
聞くこと・話すこと  
昭和47・9・22稿
- 87 「その歴史と現況」  
― 中学校国語科教育法 ― (桜楓社) 所収  
高等学校国語科教育法  
読むこと  
昭和47・9・22稿
- 88 「その歴史と現況」  
― 中学校国語科教育法 ― (桜楓社) 所収  
高等学校国語科教育法  
書くこと  
昭和47・9・22稿
- 88' 外国の状況(国語科教育法)  
「中学校国語科教育法」(桜楓社) 所収  
昭和47・9・23~24稿
- 89 言語要素の教育  
― その歴史と現況 ―  
「中学校国語科教育法」(桜楓社) 所収  
昭和47・9・26稿
- 90 雑誌「学校教育」(11月号)  
「中等学校国語科教育法」(桜楓社) 所収  
「高等学校国語科教育法」(桜楓社) 所収  
巻頭言(30) I 若のこと  
昭和47・10・1稿
- 91 低学年の表現像の探索  
― 一冊の綴り方文集から ―  
昭和47・10・2稿
- 92 雑誌「学校教育」(11月号)  
高校「話すことによるまじわり」(高二) 単元の研究  
昭和47・10・4 「現代国語」(一) 指導書(好学社) 所収
- 93 「国語の力」のこと  
「国語の力」出版五十年記念大会紀要(鎌倉) 掲載  
昭和47・10・6稿
- 94 創刊に寄せて  
昭和47・10・6稿
- 95 広島大学教育学部三附属小学校国語科機関誌掲載  
国語科教育実践の基礎固め  
― 地域ぐるみ・学校ぐるみ・個人の試み ―  
昭和47・10・13稿
- 96 「教育科学/国語教育」(12月号) 掲載  
まえがき  
昭和47・10・15稿
- 97 文集「附属のこども」(第5号)(広島大教育学部附小) 掲載  
中学年の表現像の探索  
― 芦田恵之助のばあい ―  
昭和47・10・17稿
- 98 雑誌「学校教育」(12月号) 掲載  
「言葉とその文化」(西尾実博士著) のこと  
昭和47・10・17稿 「国語教室」(第18号) 掲載
- 99 雑誌「学校教育」(12月号) 掲載  
巻頭言(31) 四年生の秋深く  
昭和47・10・18稿
- 100 「はなしことばの教育」(はなしことばの会編) のこと  
昭和47・10・26稿  
「国語教室」(第19号) 掲載

- 101 著作・大作 昭和47・11・3稿  
 「教科研究小学校国語」掲載
- 102 芦田恵之助綴り方教育年表 昭和47・11・3再稿  
 「綴方教室」の意義と価値」(文化評論出版)所収  
 あとがき 昭和47・11・4稿
- 103 「綴方教室」の意義と価値」(文化評論出版)所収  
 国語教育史における垣内先生(資料) 昭和47・11・4稿  
 広島高師附属中学校の国語教育 昭和47・11・5稿  
 入学考査問題の検討―  
 広島大学教育学部附属中等高等学校「国語研究紀要」  
 (第5号)掲載
- 106 「幼児期の言語生活の実態」さくいん 昭和47・11・12稿  
 国語科教育への基礎研究 昭和47・11・24稿  
 個性的な豊潤な作業成果―
- 107 「教育学科学/国語教育」(1月号)掲載  
 高学年の表現像の探索 昭和47・11・15稿  
 一蒲池美鶴ちゃんのばあい―
- 108 雑誌「学校教育」(1月号)掲載  
 大正中期の中等作文教授の考察 昭和47・11・19稿  
 大下学園「研究紀要」(第17号)掲載
- 110 巻頭言(32)不滅のもの 昭和47・11・20稿  
 雑誌「学校教育」(1月号)掲載
- 111 黄金のような一節 昭和47・11・27稿  
 「教科研究小学校国語」(1月号)掲載
- 112 まえがき 昭和47・11・30稿  
 粟林三千雄著「国語教育のめざすもの」(文化評論出版)所収
- 113 国語教室Ⅱ国語学習室の創成 昭和47・12・3稿  
 Ⅰ国語科教育研究の基本―
- 114 「教育学科学/国語教育」(2月号)掲載  
 芦田恵之助著「綴り方教科書」の研究 昭和47・12・5稿  
 「教育学研究」(中国四国教育学会)掲載
- 115 まえがき 昭和47・12・7初稿  
 「国語教育原論」(共文社)所収 昭和47・12・15再稿  
 いま読もうこの五冊の本 昭和47・12・10稿
- 116 「小三教育技術」(2月号)掲載 昭和47・12・11稿  
 国語科における評価
- 117 文部省小学校国語評価委員会報告 昭和47・12・15稿  
 あとがき
- 118 「国語教育原論」(共文社)所収 昭和47・12・20稿  
 巻頭言(33)ともしびを唄んで
- 119 雑誌「学校教育」(2月号)掲載  
 昭和四八年(一九七三)
- 1 わが心のうちなる歌碑(一)浮雲は影もとどめぬ大空の  
 (香川景樹) 昭和48・1・3稿  
 「歌帖」(1月号)掲載  
 文学教育論の一考察 昭和48・1・6稿

- 五十嵐力博士のばあい—
- 「国語科教育」(第20集) 掲載  
昭和48・1・7稿
- 3 「話方の経済」(森本厚吉著) について  
—話しことば教育史研究—  
昭和48・1・7稿
- 4 「国語科教育」(第20集) 掲載  
昭和48・1・8稿
- 5 弔辞—田中正範先生の霊前に—  
戦後話しことば教育史の一考察  
昭和48・1・12稿
- 6 —札幌・三浦一氏のばあい—  
「国語教室」(第21号) 掲載  
昭和48・1・12稿
- 7 豊かな読みを旨ざす実践・研究の視点  
—国語科授業の充実・深化—  
昭和48・1・12稿
- 8 「教育科学/国語教育」(3月号) 掲載  
昭和48・1・16稿
- 9 はんれい(凡例)  
「幼児期の言語生活の実態」II(文化評論出版) 所収  
昭和48・1・17稿
- 10 悲しみの殻  
「季刊国語教育誌」(第7号) (全日本国語教育学会) 掲載  
昭和48・1・19稿
- 11 広大教育学部附小PTA「プラタナス」掲載  
ある読書生活像  
昭和48・1・20稿
- 12 脚下を掘るよろこび  
「研究集録に寄せて」  
昭和48・1・23稿
- 13 広島県安芸郡府中町府中中央小学校研究集録所収  
表現力の育成  
昭和48・1・27稿
- 14 愛媛県国語教育研究会講演記録所収  
巻頭言(34) 二七会のこと  
昭和48・1・27稿
- 15 雑誌「学校教育」(3月号) 掲載  
まえがき  
昭和48・2・4稿
- 16 「幼児期の言語生活の実態II」(文化評論出版) 所収  
国語科における評価  
昭和48・2・4再稿
- 17 受験生に望むこと  
「学燈」(4月号) 掲載  
昭和48・2・5稿
- 18 「しおり」に寄せて  
「研究旅行しおり」(昭和47年度万葉旅行) 掲載  
昭和48・2・15稿
- 19 二年生の作文指導  
—三つのかなめ・五つのポイント—  
「小二教育技術」(4月号) 掲載  
昭和48・2・24稿
- 20 まえがき  
文集「付属のこども」(第6集) (広大教育学部附小) 所収  
昭和48・2・25稿
- 21 学習集団化への基礎訓練  
雑誌「学校教育」(4月号) 掲載  
昭和48・2・27稿
- 22 雑誌「学校教育」(4月号) 掲載  
わが心のうちなる歌碑(二) 今のみのわざにはあらず  
いにしへの(万葉集)  
昭和48・2・27稿
- 23 「歌帖」(3月号) 掲載  
巻頭言(35) 学習への出発  
昭和48・2・28稿
- 24 雑誌「学校教育」(4月号) 掲載  
「わかりあう」問答共同体への期待  
昭和48・3・3稿
- 25 「現代教育科学」(5月号) (明治図書) 掲載  
広島県—昭和四七年度国語教育実践研究の展望—

昭和48・3・4稿 「国語教育研究年鑑」(73年版)

(明治図書) 所収

23 「綴方十二ヶ月」の成立過程 昭和48・3・11稿

「研究紀要」(6)(広島大学教育学部附属小学校 掲載)

6年生(二部)へのごとば八蟻のおもひも天までとどく。V

昭和48・3・19稿 広大教育学部附小二部6年卒業文集掲載

あとがき 昭和48・3・20稿

26 「幼児期の言語生活の実態」Ⅱ(文化評論出版) 所収

巻頭言(36) 学習者が「見える」ということ

昭和48・3・26稿 雑誌「学校教育」(5月号) 掲載

27 「げやき」に寄せて 昭和48・3・26稿

広大教育学部附小一部6年卒業文集「げやき」掲載

28 基礎づくりの要点 昭和48・3・29稿

—二年生の作文指導—

「小二教育技術」(5月号) 掲載

29 早口ことば 昭和48・3・30稿

「教科研究小学校国語」掲載

30 読書指導の進展のために 昭和48・4・4稿

—読書の機能と価値—

「学校教育研究所年報」(17) 所収

31 三重吉の仕事魂 昭和48・4・10稿

—天翔けるもの—

「鈴木三重吉と広島」(第1集)(鈴木三重吉と赤い鳥の会)

所収

32 わが心のうちなる歌碑(三)ともかくも云はば尋常に成りぬ  
べし(和泉式部) 昭和48・4・15稿

33 「歌帖」(5月号) 掲載

論文要旨—「藤原与一先生の国語教育学創建」—

昭和48・4・17稿 「文学・語学」(全国大学国語国文学会)

掲載

34 授業への覚悟 昭和48・4・20稿

「国語教室」(第24号) 掲載

35 随想「極印」あるいは「小さき光」 昭和48・4・22稿

「作文教育」(第23集) 掲載

36 作文力の根源につちかう 昭和48・4・28稿

—二年生の作文指導—

「小二教育技術」(6月号) 掲載

37 巻頭言(37) 汗 昭和48・5・1稿

雑誌「学校教育」(6月号) 掲載

38 「西尼実国語教育全集」構成試案 昭和48・5・2稿

39 巻頭言(38) 発言癖 昭和48・5・11稿

雑誌「学校教育」(7月号) 掲載

40 教材「長い道」の扱い 昭和48・5・16稿

—芦田恵之助研究—

「ともしび」(第3号) 掲載

41 それでも 昭和48・5・23稿

42 あとがき 昭和48・5・24稿

「文集野崎アサエ先生に学びて」所収

- 43 共通経験  
— 二年生の作文指導 —  
昭和48・5・27稿
- 44 「小二教育技術」(7月号) 掲載  
読書技能としての「ノート取り」の技能 昭和48・6・5稿  
「教育科学/国語教育」(8月号) 掲載
- 45 「広島実践国語教育」掲載  
わが心のうちなる歌碑(四) わが童女裸形きよらにたちはだかり(岡本明)  
昭和48・6・19稿
- 46 「歌帖」(8月号) 掲載  
ことばを掘りおこすには  
— 二年生の作文指導 —  
昭和48・6・26稿
- 47 「小二教育技術」(8月号) 掲載  
三重吉忌  
「教科研究小学校国語」掲載  
昭和48・6・27稿
- 48 巻頭言(39)師  
昭和48・7・1稿
- 49 雑誌「学校教育」(8月号) 掲載  
「学童暑中休暇日誌」(芦田恵之助著) について  
昭和48・7・18稿 「国語教育研究」(20) 掲載
- 50 巻頭言(40) 授業への初心  
雑誌「学校教育」(9月号) 掲載  
昭和48・7・19稿
- 51 モデル  
昭和48・7・21稿
- 52 ブナ原生林  
昭和48・7・22稿
- 53 出会い  
すべてが自然で(詩)  
昭和48・7・23稿
- 54 作文指導の仕上げ  
— 二年生の作文指導 —  
昭和48・7・25稿
- 55 「小二教育技術」(9月号) 掲載  
遠泳  
昭和48・7・27稿
- 56 まえがき  
昭和48・8・8稿
- 57 「世界の作文教育」(文化評論出版) 所収  
まえがき  
昭和48・8・12稿
- 58 「作文教育への道」(田辺正著) (文化評論出版) 所収  
わが心のうちなる歌碑(五) 燎乱と花ふる如き心地して(松本勝)  
昭和48・8・18稿
- 59 「歌帖」(9月号) 掲載  
学習集団と教授II 学習過程  
雑誌「学校教育」(10月号) 掲載  
昭和48・8・25稿
- 60 巻頭言(41) ことばればなし  
雑誌「学校教育」(10月号) 掲載  
昭和48・8・25稿
- 61 二年生の読書指導  
昭和48・8・29稿
- 62 「小二教育技術」(10月号) 掲載  
書評 林四郎著「文の姿勢の研究」 昭和48・8・29稿
- 63 「教育科学/国語教育」(11月号) 掲載  
考える力・態度を養う国語科教育 昭和48・9・1稿
- 64 「指導と評価」(10月号) (日本教育評価研究会) 掲載  
まえがき  
昭和48・9・9稿
- 65



- 66 「読解指導論」(昭和48・10・20刊)(共文社)所収  
あとがき 昭和48・9・9稿
- 67 「読解指導論」(昭和48・10・20刊)(共文社)所収  
話しことば教育史研究 昭和48・9・20稿  
―「話方の経済」(森本厚吉著)のばあい―
- 68 「広島大学教育学部紀要」掲載  
読みかかせの意義と価値 昭和48・9・28稿  
「小二教育技術」(11月号)掲載
- 69 「燈台もとくらし」  
巻頭言 認められること・認めること 昭和48・10・2稿  
昭和48・10・2稿
- 70 巻頭言 認められること・認めること 昭和48・10・2稿
- 71 「広島実践国語教育」掲載  
広島高師附属中学校の国語教育 昭和48・10・7稿  
―大正期を中心に―
- 72 広島大学教育学部附属中等学校「国語科研究紀要」  
(第6号)掲載  
ことばの習得 昭和48・10・7稿
- 73 「国語教育誌」掲載  
お祝いのことば 昭和48・10・8稿  
―山田(白井)登茂子さんに―
- 74 論説・評論を真に理解するために 昭和48・10・8稿  
「教科研究中学校国語」(第21号)掲載
- 75 巻頭言(42)暗誦 昭和48・10・11稿  
雑誌「学校教育」(11月号)掲載
- 76 はじめに―課題の所在と今までの研究― 昭和48・10・12稿
- 77 「世界の作文教育」(文化評論出版)所収  
著者のことば 昭和48・10・21稿  
「国語教育研究叢書」(共文社)内容見本掲載
- 78 たのしみ読みをさせるには 昭和48・10・25稿  
<sup>2</sup>「小二教育技術」(12月号)掲載
- 79 国語愛・人間愛につちかう国語科教育 昭和48・10・27稿  
「小五教育技術」(12月号)掲載
- 80 巻頭言(43)学級づくり 昭和48・10・28稿  
雑誌「学校教育」(12月号)掲載
- 81 読書機能に即した読書指導過程 昭和48・10・29稿  
「教育科学/国語教育」(1月号)掲載
- 82 すいせんのことば 昭和48・10・31稿  
「ぼくらにも書かせて」(小川利雄著、教育出版センター)  
(昭和48・11・25)所収
- 83 わが心のうちなる歌碑(六) 最上川逆白波のたつまでに  
(斎藤茂吉) 昭和48・11・9稿  
「歌帖」(11月号)掲載
- 84 国語教育研究風土記(続) 広島県 昭和48・11・12稿  
「教育科学/国語教育」(2月号)
- 85 おわりに―まとめと今後の課題 昭和48・11・15稿  
「世界の作文教育」(文化評論出版)所収
- 86 国語科教育における人間形成の契機(一) 昭和48・11・17稿  
「国語教室」(第31号)掲載
- 87 1句読/2息の段落/3はやくち(はやいこと)

- 昭和48・11・18稿 「音声学大辞典」(三修社) 所収  
 (昭和51・6・15) 所収
- 88 石山寺一修学旅行から  
 昭和大教育学部附小「PTA通信」掲載  
 昭和48・11・20稿
- 89 広大教育学部附小「PTA通信」掲載  
 しらべ読みへの努力とくふう  
 昭和48・11・21稿  
 「小二教育技術」(1月号)  
 はしがき  
 昭和48・11・23稿
- 90 「ことばあそび」(杉峰恵子著) (フレール館) 所収  
 解説—ことばあそび—  
 昭和48・11・23稿
- 91 「ことばあそび」(杉峰恵子著) (フレール館) 所収  
 表現読みの史的展開  
 一朗読を中心に—  
 昭和48・11・25稿
- 92 大下学園「研究紀要」(18) 掲載  
 国語教育と書写指導  
 一学習個体史の視点から—  
 昭和48・11・27稿
- 93 「書写指導」(明治図書) 掲載  
 雑誌「学校教育」(1月号) 掲載  
 昭和48・12・2稿
- 94 雑誌「学校教育」(1月号) 掲載  
 はしがき  
 昭和48・12・3稿
- 95 「文学教材の学習指導」(佐本房之著) (文化評論出版) 所収  
 おはなし会(読書会)の役割  
 昭和48・12・4稿
- 96 「小二教育技術」(2月号) 掲載  
 巻頭言評価といういとなみ  
 昭和48・12・25稿
- 97 雑誌「学校教育」(2月号) 掲載
- 98 「わかり方」と集団思考の関連 昭和48・12・26稿  
 「教育科学/国語教育」(3月号) 掲載
- 99 国語解釈法の史的展開 昭和48・12・29稿  
 徳島県高校教育研究会国語部会機関誌掲載  
 昭和四九年(一九七四)
- 1 広島市立已斐中学校校歌 昭和49・1・8稿
- 1' 広島市立已斐中学校生徒会歌(草稿) 昭和49・1・8稿
- 2 まえがき 昭和49・1・9稿
- 3 「国語科教育における人間形成の契機」(二) 昭和49・1・11稿  
 所収  
 「国語教室」(第32号) 掲載
- 4 読むことの教育の成立と展開 昭和49・1・15稿  
 一芦田恵之助氏のばあい—  
 「国語教育相談室」(中国) (169号) 掲載  
 昔々 昭和49・1・23稿
- 5 「中国新聞」夕刊「エッセイ欄」掲載  
 読書生活を育てるために 昭和49・1・25稿
- 6 「小二教育技術」(3月号) 掲載  
 雑誌「学校教育」(3月号) 掲載  
 昭和49・1・26稿
- 7 学会発表要旨—旧制中学校における作文教育  
 一文集「健鯉」のばあいを中心に— 昭和49・1・28稿

- 9 「国語科教育」掲載  
学会発表要旨―旧制中学校の作文教育―「作文選」  
(福岡県中等学校)のばあい― 昭和49・1・28稿  
「国語科教育」掲載
- 10 国語科の目標・国語科教育の内容 昭和49・1・31稿  
「国語科教育学研究」(学芸図書) 所収
- 11 新しい学力観と学習集団づくり 昭和49・2・11稿  
雑誌「学校教育」(3月号) 掲載  
無償の贈物 昭和49・2・11稿
- 12 広大教育学部附小PTA「プラタナス」(第12号) 掲載  
詩の朗読の史的流れ 昭和49・2・12稿
- 13 「国語ひろしま」(広島市小学校国語研究会) 掲載  
国語科教育における人間形成の契機(三) 昭和49・2・14稿  
「国語教室」(第34号) 掲載
- 14 国語教育研究動向―広島県― 昭和49・2・23稿  
「国語教育研究年鑑」(74年版) 所収
- 15 はじめに 昭和49・2・25稿  
「あすなろう」(第7号) 安田女子短大児童文学部誌掲載
- 16 読解(昭和四八年一カ年の展望) 昭和49・2・26稿  
「国語教育研究年鑑」(74年版) (明治図書) 所収
- 17 わが心のうちなる歌碑(七) 大君のみ楯とたけりわが征く日  
(野地忠明) 昭和49・3・2稿
- 18 「歌帖」(3月号) 掲載  
巻頭言(47) わかることのはるかき 昭和49・3・7稿
- 19 雑誌「学校教育」(4月号) 掲載  
まえがき 昭和49・3・7稿
- 20 「付属のこども」(第7号) (上学年編) (広大教育学部附小  
文集) 所収
- 21 巻頭言(48) 学びえたこと  
雑誌「学校教育」(5月号) 掲載  
志よ 天までとどけ 昭和49・3・11稿
- 22 広大教育学部附小一部六年「卒業文集」掲載  
素直さ・正直さ 昭和49・3・11稿
- 23 広大教育学部附小二部六年卒業文集「思い出」掲載  
言語と人間 昭和49・3・14稿
- 24 「現代教科教育学大系」(第2巻) 所収  
紅梅 昭和49・3・16稿
- 25 広大教育学部国語科45年度生卒業文集「芳文」掲載  
学際的視点に立つ言語教育 昭和49・3・17稿
- 26 「現代教科教育学大系」(第2巻) (第一法規) 所収  
まえがき 昭和49・3・18稿
- 27 「付属のこども」(第7号) (中学年編) (広大教育学部附小  
文集) 所収
- 28 国語科教育における人間形成の契機(四) 昭和49・3・18稿  
「国語教室」(第35号) 掲載
- 29 作文教育への提言 昭和49・3・19稿  
「教科研究中学校国語」掲載
- 30 国語科の成立と展開 昭和49・3・21稿

- 言語教育を中心に—
- 31 「現代教科教育学大系」(第2巻) (第一法規) 所収  
まえがき 昭和49・3・22稿
- 32 「高宮広雄先生に学びて」(文化評論出版) 所収  
教科構造における位置づけ 昭和49・3・24稿  
—文学科—
- 33 「現代教科教育学大系」(第2巻) (第一法規) 所収  
石手寺 昭和49・3・26稿  
歓迎のことは 昭和49・3・27稿
- 34 「廣大キャンパス新聞」掲載(代筆)
- 35 言語教育実践の展望 昭和49・2・29稿  
—外国語科—
- 36 「現代教科教育学大系」(第2巻) (第一法規) 所収(垣田直巳氏と共同執筆)  
言語教育実践の展望 昭和49・4・3稿  
—国語科—
- 37 「現代教科教育学大系」(第2巻) (第一法規) 所収  
序 昭和49・4・7稿
- 38 「十菊随筆」(頼桃三郎先生著) 所収  
国語科教育における人間形成の契機(五) 昭和49・4・9稿  
「国語教室」(第36号) 掲載
- 39 「言葉とその文化」解説 昭和49・4・11稿  
「西尾実国語教育全集」(第4巻) (教育出版) 所収
- 40 解説 昭和49・4・13稿
- 41 「西尾実国語教育全集」(第2巻) (教育出版) 所収  
わが心のうちなる歌碑(八) 五百重山夕かけりきて道樂し  
(古泉千燈) 昭和49・4・17稿
- 42 「歌帖」(5月号) 掲載  
まえがき 昭和49・4・21稿
- 43 広島大学教育学部附属小学校「新教育課程」所収  
国語科教育における人間形成の契機(六) 昭和49・5・5稿  
「国語教室」(第37号) 掲載
- 44 書評「講座国語科の読書指導」(企四巻) (井上敏夫編)  
(明治図書) 昭和49・5・5稿
- 45 「教育科学/国語教育」(7月号) 掲載  
新任ごあいさつ 昭和49・5・6稿
- 46 「アカシア会報」掲載  
解説 戦後国語教育研究の出発点 昭和49・5・9稿
- 47 「西尾実国語教育全集」(第4巻) (教育出版) 所収  
「近代国語教育論大系」(佐々木吉三郎著) 昭和49・5・10稿
- 48 解説「国語教授撮要」(与良熊太郎編)  
「近代国語教育論大系」明治期Ⅲ(光村図書) 所収  
「小学校話し方の理論及実際」(与良熊太郎編)  
昭和49・5・11稿
- 49 「近代国語教育論大系」明治期Ⅲ(光村図書) 所収  
「書取及綴方を国語教授法」(上巻) (富永岩太郎著)  
中心としたる 昭和49・5・12稿
- 50 「近代国語教育論大系」明治期Ⅲ(光村図書) 所収  
解題「綴方教授法精義」(藤井慮逸・久芳竜蔵・内藤岩雄)

・新国貨彦共著

昭和49・5・12稿

「近代国語教育論大系」明治期Ⅲ（光村図書）所収

解題「国定国語読本文章之研究」（五十嵐力著）

昭和49・5・12稿

「近代国語教育論大系」明治期Ⅲ（光村図書）所収

西尾実国語教育全集「編纂の趣旨」（構成を中心に）

昭和49・5・13稿 同上全集刊行案内掲載

西尾実国語教育全集「特色」

昭和49・5・13稿 同上全集刊行案内掲載

引辞（故増永道子さんへ）

増永道子さん告別式（福井市）（大槻△湯浅▽温子さん代

読）

まえがき

昭和49・5・28稿

「国語教育学史」（共文社）所収

あとがき

昭和49・5・28稿

「国語教育学史」（共文社）所収

国語教育学年表（補整）

昭和49・5・29稿

「国語教育学史」（共文社）所収

まえがき

昭和49・5・31稿

「付属のことも」（第7号）（低学年編）（広大教育学部附属

小学校文集）所収

「学習自覚」にもとづく教授Ⅱ学習過程を

学習者論

昭和49・6・12稿

「高等学校国語科教育研究講座」（第1巻）（有精堂）所収

国語科教育における人間形成の契機（七）

昭和49・6・18稿

「国語教室」（第38号）掲載

忘れかねていること

昭和49・6・20稿

—あるいは、ねがってやまないこと—

「うごき」八一九七三▽（第18号）掲載

わが心のうちなる歌碑（九）思ひ断つ思ひならずと泣きし

人（梅村多稔樹）

昭和49・6・21稿

「歌帖」（7月号）掲載

まえがき

昭和49・7・2稿

「幼児期の言語生活の実態」Ⅲ（文化評論出版）所収

学習ノートの再評価

昭和49・7・2稿

「教育学／国語教育」（9月号）掲載

国語科教育における人間形成の契機（八）

昭和49・7・3稿

「国語教室」（第39号）掲載

学習力としての聞くこと・話すこと

昭和49・7・9稿

雑誌「学校教育」（9月号）掲載

昭和49・7・11稿

「初等教育資料」（9月号）掲載

昭和49・7・18稿

わがいと祈り

昭和49・7・18稿

「むつみ」（29号）（広大教育学部附中高PTA新聞）掲載

まえがき

昭和49・7・20稿

「国語教育通史」（共文社）所収

昭和49・7・20稿

- 71 あとがき 昭和49・7・20稿  
「国語教育通史」(共文社)所収
- 72 あとがき 昭和49・7・23稿  
「幼児期の言語生活の実態」Ⅲ(文化評論出版)所収  
推せんのごとば  
昭和49・7・23稿  
—必読・必備の教育遺産—
- 73 「綴方生活」復刻事業に寄せて  
幼児の言語発達とそこらえかた 昭和49・7・25述  
「ろう教育科学」(16巻3号)掲載
- 74 国語教育略年表 昭和49・7・26稿  
「国語教育通史」(共文社)所収
- 74' 日本における作文教育の特質と問題点 昭和49・7・31述  
全日本国語教育学会作文部会発表
- 75 国語科授業研究のために 昭和49・8・1稿  
「小学校国語科教育法」(桜楓社)所収
- 76 国語科教育研究のために 昭和49・8・2稿  
「小学校国語科教育法」(桜楓社)所収
- 77 学校の共同研究の意義 昭和49・8・5稿  
「教育科学/国語教育」(昭和50年2月臨時増刊)(明治  
図書)所収
- 78 学童の言語の発達過程 昭和49・8・7稿  
「小学校国語科教育法」(桜楓社)所収
- 79 国語科教育における人間形成の契機(九) 昭和49・8・16稿  
「国語教室」(第40号)掲載
- 80 「作文指導論」 昭和49・8・19著  
国語教育研究叢書(第6巻)(共文社)(昭和50・5・1刊)
- 81 若い教師にすすめる五冊の本 昭和49・8・20稿  
「総合教育技術」(10月号)掲載  
わが心のうちなる歌碑(一〇)あかときは露がはぐくむ高山  
の(岡本明)  
昭和49・8・20稿
- 82 「歌帖」(9月号)掲載  
「国語の力」の成立過程Ⅶ  
—国語教育学説史研究—  
昭和49・8・28稿
- 83 「国語教育研究」(21)掲載  
解説 明治三〇年代の話しことばの教育 昭和49・9・5稿  
「近代国語教育論大系」明治期Ⅲ(光村図書)所収
- 84 国語科教育における人間形成の契機(一〇)  
昭和49・9・8稿 「国語教室」(第41号)掲載
- 85 解説「国定国語説本文章之研究」 昭和49・9・8稿  
「近代国語教育論大系」明治期Ⅲ(光村図書)所収
- 86 国語科授業への求道者古田拡先生 昭和49・9・8稿  
解説「綴方教授法精義」 昭和49・9・11稿
- 87 「近代国語教育論大系」明治期Ⅲ(光村図書)所収  
解説 明治三〇年代後半の国語教授界 昭和49・9・12稿
- 88 「近代国語教育論大系」明治期Ⅲ(光村図書)所収  
解説まとめ 昭和49・9・13稿
- 89 「近代国語教育論大系」明治期Ⅲ(光村図書)所収  
話しことば教育史研究 昭和49・9・21稿

- 明治三〇年代を中心に—
- 92 「広島大学教育学部紀要」(昭和49・12・20) 掲載  
 〃注  
 「近代国語教育論大系」明治期Ⅲ(光村図書) 所収  
 昭和49・9・29稿
- 93 〃銀いろの風の中で  
 昭和49・10・3稿
- 94 〃増永道子さん追悼—  
 あとがき  
 昭和49・10・15稿
- 95 「話しことば学習論」(共文社) 所収  
 まえがき  
 昭和49・10・5稿
- 96 わが心のうちなる歌碑(一一) 秋山の麗光のなかに現じ来る  
 (古後菊徳)  
 昭和49・10・18稿
- 97 「歌帖」(11月号) 掲載  
 〃興水理論〃山脈の現成  
 昭和49・10・21稿
- 98 独立講座「国語科教育大系」(全12巻) 内容見本掲載  
 私の一冊の本  
 昭和49・10・21稿
- 99 「母なる人」(石森延男著) —  
 「小一教育技術」(12月号) 掲載  
 国語教育における人間形成の契機(一一) 昭和49・10・22稿  
 「国語教室」(第42号) 掲載  
 創造性豊かな国語学習指導 昭和49・10・25稿  
 秋田大会高校部会
- 100 書評「基本話型の指導」(工藤武雄著) 昭和49・11・3稿  
 「教育科学/国語教育」(1月号) 掲載
- 101 保育科回想  
 昭和49・11・4稿
- 102 「からはな」(安田学園唐花会会報) 掲載  
 解説(補稿) 昭和49・11・16稿
- 103 「西尼実国語教育全集」(第2巻) 所収  
 国語科教育における人間形成の契機(一一)  
 昭和49・11・17稿 「国語教室」(第43号) 掲載
- 104 精確な国語科授業(論) の構築を 昭和49・11・23稿  
 「教育科学/国語教育」(2月号) 掲載
- 105 芦田恵之助著「尋常小学国語小読本」の研究 昭和49・12・1稿  
 中国四国教育学会「教育学研究」(20) 掲載  
 教育(授業) 内容の創造 昭和49・12・2稿
- 106 雑誌「学校教育」(1月号) 掲載  
 チームワークということ 昭和49・12・12稿
- 107 「流れ」(第14号) (广大教育学部附属中学校生徒会誌) 掲載  
 国語科教育における人間形成の契機(一一三)  
 昭和49・12・20稿 「国語教室」(第44号) 掲載
- 108 わが心のうちなる歌碑(一二) 木に花さき君わが妻とならむ  
 口の(前田夕暮)  
 昭和49・12・22稿
- 109 「歌帖」(1月号) 掲載  
 〃辞一細井道雄先生の靈前に— 昭和49・12・29稿  
 広島市寺町光円寺本堂での告別式(昭和49・12・29) に  
 朗読
- 昭和五〇年(一九七五)

- 1 広島市立基町小学校校歌 昭和50・1・9稿
- 2 調査報告書(K・O君) 昭和50・1・10稿
- 3 告別式式辞 昭和50・1・15稿
- 4 | 細井道雄先生の靈前に—  
故細井道雄先生告別式  
幼児期のことばの発達  
—対話を中心に—  
NHKラジオ市民大学(第二)  
古典文芸教材化の基本問題 昭和50・2・1稿
- 5 「文学・教育」(第14号) (明治図書) 掲載 昭和50・2・5稿
- 6 「教育科学/国語教育」(4月号) 掲載 昭和50・2・7稿
- 7 まえがき 昭和50・2・7稿
- 8 「作文指導論」(共文社) 所収 昭和50・2・7稿
- 9 あとがき  
「作文指導論」(共文社) 所収 昭和50・2・12稿
- 10 教師の話しかたを求めて  
「解釈」(5月号) 掲載 昭和50・2・27稿
- 11 あとがき  
「幼児期の言語生活の実態」IV (文化評論出版) 所収 昭和50・2・28稿
- 12 書くこと—その生活の深まり—  
広大教育学部国語科 昭和四六年度生文集掲載 昭和50・3・2稿
- 13 さくいん  
「幼児期の言語生活の実態」IV (文化評論出版) 所収 昭和50・3・2稿
- 13 高校国語教育の課題 昭和50・3・3稿
- 14 「学校教育研究所年報」(19) 掲載 昭和50・3・4稿
- 15 季刊誌「雪月花」創刊によせて 昭和50・3・4稿
- 16 「雪月花」(創刊号) (高橋和夫氏編集) 掲載 昭和50・3・6稿
- 17 国語科教育における人間形成の契機(一四)  
「雪月花」(創刊号) (高橋和夫氏編集) 掲載 昭和50・3・6稿
- 18 国語科教育研究の動向  
「国語教室」(第46号) 掲載 昭和50・3・10稿
- 19 国語科教育学研究の動向  
—教育系大学のばあいを中心に—  
「教育科学/国語教育」(5月号) 掲載 昭和50・3・11稿
- 20 わが心のうちなる歌碑(二三) 山の端の遠しづかなる日の色を(釈迺空)  
「教育科学/国語教育」(5月号) 掲載 昭和50・3・15稿
- 21 「歌帖」(5月号) 掲載 昭和50・3・15稿
- 22 聞く・話す—一九七四年—  
「国語教育研究年鑑」(臨時増刊) (明治図書) 所収 昭和50・3・18稿
- 23 国語科授業の成果と授業の構成・展開に関して  
—授業「ことばと生活」(言にくいことば)のばあい—  
昭和50・3・18稿 雑誌「学校教育」(5月号) 掲載 昭和50・3・21稿
- 24 広島県—一九七四年国語教育研究の動向— 昭和50・3・21稿
- 25 「国語教育研究年鑑」(臨時増刊) (明治図書) 所収 昭和50・4・1稿
- 26 かけがえのないもの  
「交流」(げやきの会編・刊) (広大附小旧三原組) 掲載 昭和50・4・11稿
- 27 国語科に栄光あれ  
広大教育学部国語科新入生歓迎コンパメッセージ 昭和50・4・11稿



- 23 創立七〇年記念式辞 昭和50・4・16稿  
 广大教育学部附属中高創立七〇周年記念式朗読  
 祝詞 昭和50・4・19稿
- 24 創立七〇周年記念アカシア会祝辞  
 広島高師附属中学校の国語教育(一) 昭和50・4・20稿  
 —昭和初期を中心に—
- 25 広島大学教育学部附属中等学校「国語科研究紀要」  
 (第7号) 掲載  
 教育課程改定への提言 昭和50・4・22稿  
 —国語科のばあい—
- 26 「総合教育技術」(6月号) 掲載  
 国語科学習指導に新風を  
 —学習者からの出発— 昭和50・4・24稿
- 27 「中等教育資料」掲載  
 国語科の研究主題の選び方と研究方法 昭和50・4・26稿  
 「授業研究年鑑」(75年版(明治図書)所収
- 28 まえがき 昭和50・4・27稿  
 歌集「柿照葉」所収
- 29 歌集「柿照葉」 昭和50・4・27著  
 昭和50・7・25刊(溪水社)
- 30 わが心のうちなる歌碑(一四) さ庭なる青木の朱の実に  
 触りて(南原繁) 昭和50・5・4稿  
 「歌帖」(5月号) 掲載  
 わが道を往きしひと 昭和50・5・6稿
- 31 一故若岡善久君に—  
 「故若岡善久先生遺稿追悼文集」所収
- 32 中等教育改革の動向 昭和50・5・6稿  
 “Education in Japan” 所収
- 33 国語科教育における人間形成の契機(一五)  
 昭和50・5・7稿 「国語教室」 掲載
- 34 国語科授業過程論の比較検討  
 編集趣旨掲載 昭和50・5・10稿
- 35 国語教育研究会の新生 昭和50・5・18稿  
 「国語教育研究会会報」(广大教育学部国語科) 掲載
- 36 注「綴方教授」芦田恵之助著 昭和50・5・24稿  
 「近代国語教育論大系」大正期I(光村図書) 所収
- 37 注「綴方教授の破壊と建設」浅山尚著 昭和50・5・31稿  
 「近代国語教育論大系」大正期I(光村図書) 所収
- 38 注「写生を主としたる綴方新教授法の原理」駒村徳寿・五味義武  
 共著 昭和50・5・31稿  
 「近代国語教育論大系」大正期I(光村図書) 所収
- 39 注「綴り方教授に教師の修養」芦田恵之助著  
 昭和50・6・1稿  
 「近代国語教育論大系」大正期I(光村図書) 所収
- 40 みずからの生涯を全うするため 昭和50・6・11稿  
 —教育の場での研修のほんとうの意味—  
 「教育ひろしま」掲載
- 41

- 42 わが心のうちなる歌碑(一五) われこそは新島守よ  
隠岐の海の(後鳥羽院) 昭和50・6・12稿
- 43 「歌帖」(7月号) 掲載  
個性読みの視角と方法 昭和50・6・18稿
- 44 第五回全国国語教育研究者集会(広島大会) 研究要項掲載  
わが梶山季之像 昭和50・6・20稿
- 45 「安芸文学」(追悼号) 掲載  
弔辞―故与三本伸也君に― 昭和50・6・26稿
- 46 栄光無限―わがサッカー班の選手諸君に―  
昭和50・6・29稿 広大附高サッカー班会報掲載
- 47 考えさせられること 昭和50・6・30稿
- 48 「むつみ」(広大教育学部附中高PTTA文化部) 掲載  
書評「授業研究大辞典」(広岡亮蔵編) (明治図書)
- 49 昭和50・7・6稿 「教育学/国語教育」(9月号) 掲載  
国語科指導内容の精髓の発見を 昭和50・7・8稿
- 50 「教育学/国語教育」(9月号) 掲載  
国語科教育における人間形成の契機(一六)
- 51 昭和50・7・11稿 「国語教室」(第51号) 掲載  
巻頭言新しい船出に寄せて 昭和50・7・16稿
- 52 「うごき」(広大教育学部附高生徒会誌) 掲載  
解説―まとめ― 昭和50・7・27稿  
「説明的文章教材研究双書」(第1巻)(国土社) 所収
- 53 書評「読みの指導を生かす教材分析」(藤原宏/富山県  
福岡小学校著)(明治図書) 昭和50・8・5稿
- 54 「教育学/国語教育」(10月号) 掲載  
比較国語科教育学研究の課題 昭和50・8・16稿
- 55 「国語科教育学研究」(第1集)(明治図書) 掲載  
国語科教育における人間形成の契機(一七)
- 56 昭和50・8・19稿 「国語教室」(第52号) 掲載  
国語科教育の動向と課題 昭和50・8・31稿
- 57 教育学全集(第5巻)「言語と思考」(小学館) 補遺所収  
つきせぬえにし 昭和50・9・1稿
- 58 広大教育学部附小すずかけ会記念誌掲載  
わが心のうちなる歌碑(二六) まくす原なびく秋風吹く  
ごとに(万葉集) 昭和50・9・1稿
- 59 「歌帖」(9月号) 掲載  
解説「国語教育実践への指標」 昭和50・9・3稿
- 60 「西尼美国語教育全集」(第7巻)(教育出版) 所収  
機関誌じまん「国語教育研究」 昭和50・9・3稿
- 61 「教育学/国語教育」(11月号) 掲載  
解説 昭和50・9・16稿
- 62 「近代国語教育論大系」大正期I(光村図書) 所収  
「近代国語教育論大系」大正期I(光村図書) 所収  
昭和50・9・17稿
- 63 昭和50・9・19稿  
「近代国語教育論大系」大正期I(光村図書) 所収  
話しことは教育史研究 昭和50・9・19稿  
―明治三〇年代の話しことは教科書を中心に―

- 74 校訓は今に生きて 昭和50・11・8稿
- 73 「教育科学／国語教育」(臨時増刊号)掲載  
構想指導の新分野の開拓 昭和50・11・7稿
- 72 「菅田小学校一〇〇周年記念誌」のため  
「至誠奮闘」 昭和50・10・31稿
- 71 国語科教育における人間形成の契機(一九)  
昭和50・10・29稿 「国語教室」(第56号)掲載
- 70 国語科教育における人間形成の契機(一八)  
昭和50・10・29稿 「国語教室」(第55号)掲載
- 69 わが心のうちなる歌碑(二七) 浅緑すみわたりたる大空の  
(明治天皇) 掲載  
昭和50・10・27稿
- 68 国語科の学力と学習集団づくり  
雑誌「学校教育」(11月号)掲載  
昭和50・10・26稿
- 67 中等国語教材論の一源流  
―上田万年編「国文学」(巻之二)のばあい―  
昭和50・10・19稿
- 66 まえがき  
「幼児期の言語生活の実態」IV(文化評論出版)所収  
昭和50・10・16稿
- 65 あとがき  
「幼児期の言語生活の実態」IV(文化評論出版)所収  
昭和50・10・16稿
- 64 「広島大学教育学部紀要」掲載  
読書への道 昭和50・10・14稿
- 75 「菅田小学校一〇〇周年記念誌」掲載  
「みのち合宿研」の持つ意義と位置 昭和50・11・11稿
- 76 広大教育学部国語科「合宿研記録」掲載  
「国語科授業論」 昭和50・11・12稿
- 77 序文  
昭和51・6・1刊(共文社)
- 78 足立悦男著「現代日本文学の旗手たち」(溪水社)所収  
ことは学習の深淵  
―「希望」を例として―  
昭和50・11・16稿
- 79 六人展に寄せて  
昭和50・12・2稿
- 80 母校というもの  
昭和50・12・4稿
- 81 「うごき」(広大教育学部附高生徒会誌)掲載  
教科学習と学校図書館  
昭和50・12・7稿
- 82 「学校図書館」掲載  
最も感銘を受けた本  
昭和50・12・17稿
- 83 広島大学教育学部附高文芸班誌掲載  
―「おくのほそ道」(芭蕉)―  
昭和50・12・19稿
- 84 年頭のあいさつ  
昭和50・12・22稿
- 「アカシア会報」(1月号)掲載

昭和50・12・27稿 「国語科教育学研究」(第2集) 所収

昭和五十一年(一九七六)

- 1 まえがき 昭和51・1・9稿  
阿部真人著「古典教材の学習指導」(文化評論出版) 所収
- 2 出合い 昭和51・1・9稿  
「西原慶一先生追悼文集」掲載
- 3 歌集「国語教師」に寄せて 昭和51・1・15稿  
清水保著歌集「国語教師」(深水社) 所収
- 4 国語科学習内容精選の問題 昭和51・1・16稿  
「国語科教育」掲載
- 5 国語教育 昭和51・1・18稿  
「国語学辞典」(東京堂出版) 掲載(予定)
- 6 学習記録を大切に 昭和51・1・24稿  
「小二教育技術」(3月号) 掲載
- 7 巻頭言 クラーク苔 昭和51・1・28稿  
「流れ」(廣大教育学部附中生徒会誌) 掲載
- 8 「国語の力」校訂 昭和51・2・8稿  
「近代国語教育論大系」所収「国語の力」のため
- 9 解説「問題をもちながら読む」 昭和51・2・11稿  
「青木幹勇授業技術集成」(第1巻) 所収
- 10 わが心のうちなる碑(一九)やはらかに柳あをめる北上の  
昭和51・2・23稿 (石川啄木)
- 11 「歌帖」(3月号) 掲載  
広島県一昭和五〇年度の国語科教育一 昭和51・2・27稿  
「国語教育研究年鑑」(明治図書) 所収
- 12 聞く話す 昭和51・2・29稿  
「国語教育研究年鑑」(明治図書) 所収
- 13 小説教材の学習指導を求めて 昭和51・3・7稿  
「戦後小説の教え方」(右文書院) 所収
- 14 巻頭言 青春共同体への招待 昭和51・3・12稿  
「附高入門」(76年版)(廣大教育学部附高中生徒会) 所収
- 15 国語教育遍路 昭和51・3・15稿  
—古田拡先生、授業創造への道—  
大下学園「研究紀要」所収
- 16 編集後記 昭和51・3・15稿  
「国語科教育学研究」(第2集) 所収
- 17 一つのことをつらぬくこと 昭和51・3・16稿  
廣大教育学部附小卒業文集(梶矢文昭氏編) 掲載
- 18 校注「国語の力」 昭和51・3・18稿  
「近代国語教育論大系」大正期VI(光村図書) 所収
- 19 国語教育三冊の本 昭和51・3・22稿  
「解釈」(5月号) 掲載
- 20 注「国語教授の批判と反省」 昭和51・3・22稿  
「近代国語教育論大系」大正期VI(光村図書) 所収
- 20' 補稿 昭和51・3・28稿  
「国語科授業論」所収

- 21 注「国語の力」 昭和51・3・31稿  
 「近代国語教育論大系」  
 大正期VI（光村図書）所収
- 22 解題「国語の力」 昭和51・4・1稿  
 「近代国語教育論大系」大正期VI（光村図書）所収  
 解題「国語教授の批判と内省」 昭和51・4・3稿  
 「近代国語教育論大系」大正期VI（光村図書）所収
- 23 解題「近代国語教育論大系」大正期VI（光村図書）所収  
 「近代国語教育論大系」大正期VI（光村図書）所収
- 24 序  
 「近代国語教育論大系」大正期VI（光村図書）所収  
 昭和51・4・5稿
- 25 「生きて働く力を育成する文学教材の読解指導」（和田耕一著）所収  
 あとがき 昭和51・4・9稿
- 26 「国語科授業論」（共文社）所収  
 補稿 昭和51・4・9稿
- 27 「国語科授業論」（共文社）所収  
 まえがき 昭和51・4・10稿
- 28 「国語科授業論」（共文社）所収  
 国語科小事典 昭和51・4・15稿
- 29 季刊「教職課程」（夏季号）（協同出版）所収  
 教科教育学科の沿革小史 昭和51・4・18稿
- 30 「広島大学二十五周年史」のため  
 国語科教材研究史稿 昭和51・4・21稿  
 ↓沖垣寛氏のばあい↓
- 31
- 32 「国語教育研究」（22）掲載  
 わが心のうちなる歌碑（二〇）暗号で金の話をする父母に（大井洋子）  
 「歌帖」（5月号）掲載  
 国語科教育の新しい創造  
 中学校国語科―  
 「中学教育」（6月号）（小学館）掲載  
 国語教科書の生かしかた  
 「教科研究」（55）掲載  
 個性読みの方途  
 一人間形成としての読書―  
 雑誌「学校教育」（7月号）掲載  
 作文教育実践体系の構築  
 「国語科教育学研究」（第4集）編集趣旨  
 さくいん 昭和51・5・22稿
- 33 「幼児期の言語生活の実態」I（文化評論出版）所収  
 故都留戀一君の遺作 昭和51・6・23稿
- 34 「国語教育研究」（光葉舎）掲載  
 わが心のうちなる歌碑（二二）垢づける面にかがやく目の光（土屋文明）  
 「歌帖」（7月号）掲載  
 師弟同行 昭和51・7・4稿
- 35 「むつみ」（廣大教育学部附中PTA新聞）掲載  
 読書の呼吸 昭和51・7・18稿
- 36
- 37
- 38
- 39
- 40
- 41

- 42 「広島市立中央図書館だより」(22)(8月号) 掲載  
文章教育の史的展開  
——中等学校のばあいを中心に——  
昭和51・8・1稿
- 43 「現代作文講座」(第7巻) (明治書院) 所収  
はじめに  
昭和51・8・6稿
- 44 「精選現代文の読解」(西日本書房) 所収  
序 国語科教育を志す人へ  
昭和51・8・9稿
- 45 「国語科教育の研究」(協同出版) 所収  
国語科教育の意義と目標  
昭和51・8・15稿
- 46 「国語科教育の研究」(協同出版) 所収  
わが心のうちなる歌碑(二二)にはとこの新芽を喚げば  
青くさし(木下利玄)  
昭和51・8・19稿
- 47 「歌帖」(9月号) 掲載  
各国の作文教育  
昭和51・8・28稿  
昭和51・8・29稿
- 48 「現代作文講座」(第7巻) (明治書院) 所収  
「国語教育変遷史」原案  
昭和51・8・31稿
- 49 説明文指導への新視角  
昭和51・9・3稿
- 50 「国語科教育学研究」(第3集) 掲載  
書評「現代の読書指導」(滑川道夫著) 昭和51・9・6稿  
「国語科教育学研究」(第3集) 掲載
- 51 綴り方教授実践史の一考察  
——芦田恵之助のばあい——  
昭和51・9・20稿  
「広島大学教育学部紀要」掲載
- 52 国語教育と表記・文法  
昭和51・9・25稿
- 51 「表記・文法指導事典」(第一法規) 所収  
表記・文法の指導内容の系統化  
昭和51・9・25稿
- 50 「表記・文法指導事典」(第一法規) 所収  
私のすずめたい一冊の本「尋常国語読本」高木市之助述・  
深寛和男録  
昭和51・9・27稿
- 49 「総合教育技術」(11月号) 掲載  
教材解釈における学習者研究  
昭和51・9・30稿
- 48 「教育科学／国語教育」(12月号) 掲載  
「学習価値」・「学習主体」の発見を——  
国語教育理論・思潮史／国語教育実践史原案  
昭和51・10・7稿  
昭和51・10・8稿
- 47 国語科教育の構造と内容  
昭和51・10・8稿
- 46 「国語科教育の研究」(協同出版) 所収  
国語科教育の歴史  
昭和51・10・8稿
- 45 「国語科教育の研究」(協同出版) 所収  
国語科教育の方法  
昭和51・10・10稿
- 44 「国語科教育の研究」(協同出版) 所収  
「綴り方教授細目私案」(芦田恵之助著)の意義と価値  
昭和51・10・17稿
- 43 「綴り方教授細目私案」(文化評論出版) 所収  
読書する姿勢  
昭和51・10・17稿
- 42 「あゆみ」(広島市袋町小学校PTA新聞) 掲載  
わが心のうちなる歌碑(二三) 朝空にのぼり極まる紙意の  
たこ

- かげ(土岐善麿) 昭和51・10・20稿
- 「歌帖」(11月号) 掲載
- 73 求めあい、掘り下げあうよろこび 昭和51・11・3稿  
 72 雑誌「学校教育」(2月号) 掲載  
 わが心のうちなる歌碑(二四) あららぎの朱実を食めば  
 やや渋し(中島光風) 昭和51・12・29稿  
 「歌帖」(1月号) 掲載
- 63 講演記録(小学校家庭科教育全国大会)  
 71 峰地光重氏の綴り方教授 昭和51・11・9稿  
 「国語ひろしま」掲載
- 64 さくいん 昭和51・11・21稿  
 「綴り方教授細目私案」(芦田恵之助著)(文化評論出版) 所収
- 65 ことばの習得 昭和51・11・23稿  
 「現代国語」(一)(学校図書) 掲載
- 66 「国語の力」(芦田恵之助著)の考察 昭和51・12・4稿  
 「教育学研究紀要」(22)(中国四国教育学会) 掲載
- 67 巻頭言「楽しんで事に従ふ」 昭和51・12・5稿  
 「うごき」(广大教育学部附高中生徒会誌) 掲載
- 68 短評―実践報告二編― 昭和51・12・14稿  
 「国語教室」(第68号) 掲載
- 69 戦後の国語教科書 昭和51・12・18稿  
 「言語生活」(2月号) (筑摩書房) 掲載
- 70 傾聴の醍醐味 昭和51・12・21稿  
 「アカシア」(第35号)(ヒロシマ月例アカシア懇談会) 掲載
- 71 国語科比較実験授業について 昭和51・12・28稿  
 「西英喜教諭授業「きかん車やえもん」のばあい」
- 72 1 巻頭言 創造するよろこび 昭和52・1・12稿  
 「ながれ」(广大教育学部附中生徒会誌) 掲載
- 2 幼児の知的教育 昭和52・1・18稿  
 ―あるさんげ―
- 3 広島市H小学校校歌(試作のみ) 昭和52・1・23稿  
 授業を生かす教材さがしの精神 昭和52・2・3稿
- 4 「教育科学/国語教育」(4月号) 掲載  
 作文教育実践体系の構築のために 昭和52・2・4稿
- 5 「国語科教育学研究」(第4集) 掲載  
 「国語教材論」の一考察 昭和52・2・7稿  
 ―サクラ読本論を中心に―
- 6 「垣内松三著作集」(第6巻)(光村図書) 所収  
 解説「国語教育講話」(垣内松三著) 昭和34・9・17初稿
- 7 昭和36・12・18成稿 昭和52・2・11補稿  
 「垣内松三著作集」(第7巻)(光村図書) 所収
- 8 誌上授業研究を読んで 昭和52・2・12稿

- 9 「実践国語研究」(創刊号)(明治図書)掲載  
手紙文の名品 昭和52・2・13稿
- 10 「現代作文講座」(別巻)(明治書院)所収  
聞く話す—一九七六年展望— 昭和52・2・19稿
- 11 「国語教育研究年鑑」(77年版)所収  
「国語教育研究年鑑」(77年版) 昭和52・2・20稿
- 12 広島県—一九七六年展望—  
「国語教育研究年鑑」(77年版)所収  
わが心のうちなる歌碑(二五)ふるさとの吾家はしたし  
うばり 梁の(岡本明) 昭和52・2・27稿
- 13 「歌帖」(3月号)掲載  
中学校作文添削のポイント 昭和52・3・5稿
- 14 「指導と評価」(5月号)(日本教育評価研究会)掲載  
巻頭言 ほんとうの母校 昭和52・3・6稿
- 15 「附高入門」(77年)(広大教育学部附高生徒会)所収  
編集後記 昭和52・3・20稿
- 16 「国語科教育学研究」(第4集)所収  
単元学習の再検討 昭和52・3・21稿
- 17 「月刊国語教育研究」(3月号)(日本国語教育学会)掲載  
漢字学習のありかた 昭和52・3・13稿
- 18 「漢字表」(日本教育ランゲージサービス)別冊「保護者の皆様へ」所収  
国語科教育の目標と任務と 昭和52・4・1稿
- 19 「国語教育財の論—  
書評「授業でどう考えさせたか」(前野昭人著)
- 20 季刊誌「文芸教育」(第20号)(明治図書)掲載  
国語科授業研究の総括と課題 昭和52・4・7稿
- 21 「授業研究年鑑」(77年版)(明治図書)所収  
新教育課程と国語教室の経営 昭和52・4・10稿
- 22 「改訂中学校学習指導要領の展開 国語科編」(明治図書)所収
- 23 調査報告書(S・O教授)  
石森延男先生と国語教育 昭和52・4・20稿
- 24 「石森延男国語教育選集」(第3巻)(光村図書)所収  
教科教育における対人関係 昭和52・4・26稿
- 25 雑誌「学校教育」(6月号)掲載  
—ある国語学習個体史から—  
わが心のうちなる歌碑(二六)瓶にさす藤の花ぶさみじか  
ければ(正岡子規) 昭和52・4・29稿
- 26 「歌帖」(5月号)掲載  
中等作文教科書の考察 昭和52・5・5稿
- 27 大正期旧制高等女学校のばあい—  
石井庄司博士「国語教育学考究」(学芸図書)所収  
喜寿記念論集「国語教育学考究」(学芸図書)所収  
序文 昭和52・5・23稿
- 28 小川利雄著「子どものいる国語教室」(学校教育研究会)所収  
序 昭和52・5・24稿
- 29 岡屋昭雄著「ことばの力と国語教室の建設」(学校教育研究会)所収



- 29 はじめに 昭和52・6・9稿  
 広島大学教育学部・附属共同研究体制「研究紀要」(第5号)掲載
- 30 「初等 国語教科書発達史」(秋田喜三郎著)の意義と価値 昭和52・6・11稿  
 「初等 国語教科書発達史」(文化評論出版)所収
- 31 中等作文教科書の考察 昭和52・6・12稿  
 昭和期旧制高等女学校のばあい  
 「国語教育研究」(23)掲載
- 32 わが心のうちなる歌碑(二七) 見たせば田のよけよけに 水はる(ある男) 昭和52・6・26稿  
 「歌帖」(7月号)掲載
- 33 あいさつ 昭和52・7・15稿  
 広島大学教育学部附属中高等学校管弦楽班第一回演奏会(プログラム)所収
- 34 あとがき(その一) 昭和52・7・17稿  
 「幼児期の言語生活の実態」I(文化評論出版)所収
- 35 垣内松三著作目録 昭和52・7・18稿  
 「垣内松三著作集」(第9巻)(光村図書)所収
- 36 個性読みの育成 昭和52・8・5稿  
 「教育研究」(第51号)(鹿児島県教育センター)掲載
- 36' 豊かな情操を育てる教育 昭和52・8・5述  
 「第17回愛媛県教育研究大会研究集録」所収
- 37 垣内松三年譜 昭和52・8・16稿
- 38 「垣内松三著作集」(第1巻)(光村図書)所収  
 わが心のうちなる歌碑(二八) あからひく光は満てり わたつみの(島木赤彦) 昭和52・8・23稿  
 「歌帖」(9月号)掲載
- 39 中学校国語科の性格と目標 昭和52・8・28稿  
 あとがき(その二) 昭和52・9・4稿
- 40 「幼児期の言語生活の実態」I(文化評論出版)所収  
 あとがき(その三) 昭和52・9・9稿
- 41 「幼児期の言語生活の実態」I(文化評論出版)所収  
 関東大震災文集の考察 昭和52・9・18稿
- 42 「広島大学教育学部紀要」掲載  
 誌上授業研究を読んで 昭和52・9・30稿
- 43 「実践国語研究」(第5号)(明治図書)掲載  
 新著「新しい国語科指導法の創造」に寄せて
- 44 「新しい国語科指導法の創造」(学習研究社)推薦文  
 まえがき 昭和52・10・11稿
- 45 「幼児期の言語生活の実態」I(文化評論出版)所収  
 親と子の合わせ鏡 昭和52・10・25稿
- 46 「むつみ」(広大教育学部附属中高校PTA新聞)掲載  
 わが心のうちなる歌碑(二九) たらちねの母がかたみと朝夕に(良寛) 昭和52・10・25稿
- 47 「歌帖」(11月号)  
 講演資料 国語教育史上から見た大村教室の業績
- 48

- 昭和52・10・26稿  
「大村はま先生教職五〇年記念大会」要項所収
- 49 手づくりの合宿研修に寄せて 昭和52・10・27稿  
廣大教育学部国語科「昭和52年度合宿研修集録」所収
- 50 読書感想文審査評  
「てのひら文庫賞（総合初等教育研究所主催）読書感想文  
審査評」所収  
昭和52・10・30稿
- 51 序文  
「書けない子らに―室積小からの作文指導レポート」（室  
積小学校編著、赤間図書房刊）所収  
昭和52・11・3稿
- 52 表現力・理解力の相補・発達  
―新国語科の期待する言語能力―  
「教育学／国語教育」（1月号）掲載  
昭和52・11・10稿
- 52' 表現と理解の関連指導について 昭和52・11・19述  
「豊の径」（第13号）（大分県中学校国語教育会）所収
- 52' 新しい国語科教育課程の展開のために 昭和52・11・22述  
「国語研究」（愛媛国語研究会）掲載
- 53 審査評  
―「国語教室」応募論文―  
「国語教室」（第80号）掲載  
昭和52・11・26稿
- 54 落合中学校校歌  
「中学生の話し方」に寄せて  
一つの努力目標  
昭和52・11・30稿
- 56 「教育学／国語教育」（2月号）掲載  
昭和52・12・1稿
- 57 母校への贈物  
「アカシア」（1月号）（月例アカシア懇談会会報）掲載  
昭和52・12・3稿
- 58 各学年にふさわしい言語活動の発見とその組織化  
「教育学／国語教育」（臨時増刊号）掲載  
昭和52・12・8稿
- 59 「せいせらぎ」（第50号）掲載  
「青い鳥」  
大村はま先生のこと  
―実践即研究―五十年  
「教職課程」（2月号）（協同出版）掲載  
昭和52・12・12稿
- 60 廣島大学教育学部光葉会学内会報  
「表現」領域の実践的構築を  
「教育学／国語教育」（2月号）掲載  
昭和52・12・13稿
- 61 一九一〇年代における綴り方教授研究の一考察  
―芦田恵之助のばあい―  
「教育学研究紀要」（中国四国教育学会）掲載  
昭和52・12・15稿
- 62 「二七会」とともに  
二七会文集「松籟」（第1号）掲載  
昭和52・12・17稿
- 63 国語教育の深化を求めて  
愛媛県高校研究会国語部会講演  
わが心のうちなる歌碑（三〇）をくさはむしかのあぎとのを  
やみなく（会津八一）  
昭和52・12・21稿
- 64 「歌帖」（1月号）掲載  
昭和52・12・26稿

昭和五年（一九七八）

1. 調査報告書（T・K教授）  
昭和53・1・10稿
2. 推薦書（H・T君）  
昭和53・1・11稿
3. 指導計画と内容の取扱い  
昭和53・1・15稿  
—小学校国語科のばあい—
4. りりしく生きよ  
昭和53・1・20稿
5. 国語科指導計画を充実させるために  
昭和53・1・20稿  
新版「国語指導法事典」（興水実）所収
6. 「個性」をみがく  
昭和53・1・23稿  
「ながれ」（广大教育学部附属中学校生徒会誌）掲載
7. 編集後記  
昭和53・1・23稿
8. 「国語教育研究」（第69集）（日本国語教育学会）所収  
弔辞（故升本直文君の靈前に）  
昭和53・1・23稿
9. 昭和53・1・24广大教育学部附高Ⅱ 故升本直文君告別式  
国語科授業創造への提言三つ  
昭和53・1・24稿
10. 「国語教育研究」（第69集）（日本国語教育学会）掲載  
落合東小学校校歌  
昭和53・2・5稿
11. 広島市立落合東小学校  
わが心のうちなる歌碑（三）しんしんとさ夜の降<sup>くだ</sup>りに  
よむ書は（岡崎義恵）  
昭和53・2・11稿
12. 「歌帖」（3月号）掲載  
国語学習の磁場の発見と生成を  
昭和53・2・17稿  
「教育研究」（4月号）（初等教育研究会）掲載
13. はじめのことは  
昭和53・2・18稿  
「学年別漢字  
配当表による筆順学習のすべて」（みつる教育出版）所収
14. 秋田喜三郎氏の綴り方教育論  
昭和53・2・26稿  
「国語科教育」（第25集）掲載
15. 学習指導要領改正に伴う補訂その一  
昭和53・3・7稿  
「中学校国語科教育法」（桜楓社）所収
16. 「研究紀要」（第6集）（広島大学教育学部・附属共同研究  
体制）所収  
昭和53・3・9稿
17. 国語科教育をどう耕すか  
昭和53・3・11稿  
「教科研究」（4月号）掲載
18. 画期的な復刻集成  
昭和53・3・12稿  
—好企画から受けるはかりしれない恩恵—  
古田東朔編「小学読本便覧」（全10巻別巻）（武蔵野書院）  
内容見本掲載
19. 広島—国語科教育展望—  
昭和53・3・16稿  
「国語教育研究年鑑」（78年版）所収
20. 退任のごあいさつ  
昭和53・3・20稿  
会報「アカシア」（月例アカシア懇談会）掲載
21. 作文  
昭和53・3・21稿  
「国語教育研究年鑑」（78年版）所収
22. 調べ読みとしての修練と深化を  
昭和53・3・27稿  
「実践国語研究」（第8号）（明治図書）掲載
23. 「個性」をみがく教育  
昭和53・4・13稿

- 雑誌「学校教育」(5月号)掲載
- 24 解説―「わたしは小学生」に寄せて― 昭和53・4・18稿  
「わたしは小学生」(蒲池美鶴著、青葉図書)所収
- 25 話緑小記(1) 久留島武彦氏のこと 昭和53・4・24稿  
「中国新聞」緑地帯(昭和53・4・30)掲載
- 26 序 昭和53・4・25稿  
山本貞美著「伸びゆく子ども―体育って何だろう―」所収  
わが心のうちなる歌碑(三三)りんご樹林に春は至りて  
千曲野や(斎藤史) 昭和53・4・25稿
- 27 「歌帖」(5月号)掲載
- 28 話緑小記(2) 堀秀成翁のこと 昭和53・4・25稿  
「中国新聞」緑地帯(昭和53・5・1)掲載
- 29 話緑小記(3) 腰野拔太氏のこと 昭和53・4・26稿  
「中国新聞」緑地帯(昭和53・5・2)掲載
- 30 退任のごあいさつ 昭和53・4・27稿  
「むつみ」(广大教育学部附属中高PTA会報)掲載
- 31 話緑小記(4) 徳川夢声氏のこと 昭和53・4・27稿  
「中国新聞」緑地帯(昭和53・5・3)掲載
- 32 話緑小記(5) 「雄弁法」のこと 昭和53・5・2稿  
「中国新聞」緑地帯(昭和53・5・5)掲載
- 33 話緑小記(6) 祖母井君のこと 昭和53・5・3稿  
「中国新聞」緑地帯(昭和53・5・8)掲載
- 34 話緑小記(7) 内藤濯氏のこと 昭和53・5・3稿  
「中国新聞」緑地帯(昭和53・5・9)掲載
- 35 話緑小記(8) 「放送ばなし」のこと 昭和53・5・3稿  
「中国新聞」緑地帯(昭和53・5・10)掲載
- 36 あいさつ状 昭和53・5・15稿  
広島大学附属学校部長就任あいさつ  
ほんとうの出発へ 昭和53・6・3稿
- 37 廣大教育学部国語科光葉会会報掲載
- 38 国語科関連学習・指導の文献 昭和53・6・4稿  
「国語科教育学研究」(第5集)所収
- 39 旧制中等学校の作文教育資料 昭和53・6・11稿  
―「作文選」(福岡県中等学校)のぼあい―  
「国語教育研究」(24)掲載
- 40 書評文芸読本「ぶんげい」(全12巻) 昭和53・6・13稿  
「文芸教育」(文芸研)(明治図書)掲載
- 41 解説 読方教材の研究 昭和53・6・17稿  
「西尾実国語教育全集」(別巻2)(教育出版)所収
- 42 わが心のうちなる歌碑(三三) 逆光の丘の辺の道かへりゆく  
(飯島宗一) 昭和53・6・25稿  
「歌帖」(7月号)掲載
- 43 国語教育への視野と方法 昭和53・7・1稿  
「中学校国語の教育と研究」(第3号)(昭和55・3・15)  
(国語の教育と研究をむすぶ会)掲載
- 44 序 昭和53・7・9稿  
浜本純逸著「戦後文学教育方法論史」(明治図書)所収
- 45 附属学校部発足に際して 昭和53・7・9稿

- 46 「会報」(一〇二号) (広島大学附属三原学園PTA) 掲載  
 附属学校部発足に際して 昭和53・7・16稿  
 「学内通信」(二六九号) (第10期第5号) (広島大学広報委員会) 掲載
- 47 「個性読みの探究―読書指導を求めて―」昭和53・7・19著  
 昭和53・11・10刊 (共文社)
- 48 「読めない子」をつくる授業の欠陥 昭和53・7・27稿  
 「教育科学/国語教育」(10月号) 掲載
- 49 国語教師の言語観 昭和53・7・29稿  
 「新国語科教育講座第4巻言語事項編」(昭和54・5) (明治図書) 所収
- 50 袖の感覚(日本の衣の心) 昭和53・8・3稿  
 「婦人と暮し」(10月号) (潮出版社) 掲載
- 51 作文指導実践の進展のために 昭和53・8・4稿  
 「作文指導実践入門」(共文社) 所収
- 52 まえがき 昭和53・8・17稿  
 「作文指導実践入門」(共文社) 所収
- 53 まえがき 昭和53・8・21稿  
 わが心のうちなる歌碑(三四) ひびきりんりん音りんりん  
 すずしき声に(岡沢和子) 昭和53・8・26稿
- 54 「歌帖」(9月号) 掲載
- 55 あとがき 昭和53・8・28稿  
 「読書指導相談事典」(共文社) 所収
- 56 まえがき 昭和53・8・28稿
- 57 「読書指導相談事典」(共文社) 所収  
 ほめ方・叱り方の表現とそのタイミング 昭和53・9・1稿  
 「授業研究」(11月号) (明治図書) 掲載
- 58 学習指導要領改正に伴う補訂 その二 昭和53・9・3稿  
 「中学校国語科教育法」(桜楓社) 所収
- 59 旧制中学校の作文教育  
 ―五十嵐力博士のばあい― 昭和53・9・9稿  
 「広島大学教育学部紀要」掲載
- 60 精練ひとすじ―祝詞― 昭和53・9・21稿  
 「創立三〇周年記念誌」(学校図書) 所収
- 61 総説「小学校国語」指導書 昭和53・9・24稿  
 まえがき 昭和53・10・17稿
- 62 「個性読みの探究」(共文社) 所収
- 63 あとがき 昭和53・10・17稿  
 「個性読みの探究」(共文社) 所収
- 64 わが心のうちなる歌碑(三五) なつかしの若殿ばらよその  
 かみの(堀沢周安) 昭和53・10・19稿  
 「歌帖」(11月号) 掲載
- 65 語句・語彙指導の課題と方法 昭和53・10・20稿  
 「国語科教育学研究」(第6集) 特集趣意書所収
- 66 読書感想文審査評 昭和53・10・28稿  
 国語科教育(教科教育のための良書紹介)
- 67 昭和53・10・29稿 季刊「教員養成セミナー」(78年冬号)  
 (時事通信社内外教育研究会) 掲載

- 68 国語教育への大道を求めて  
—実践を深めていく視点—  
昭和53・10・30稿
- 69 「ひろしま国語教育の創造」(第3集) 掲載  
第四回国語科合宿研に寄せて  
昭和53・11・1稿  
広島大学教育学部国語科合宿研究録掲載
- 69' 文章教育の伝統と創造  
昭和53・11・11述  
高等学校全国大会(広島比治山女子高校)講演
- 70 新国語科のねらいと新単元の開発  
昭和53・11・12稿  
—谷川俊太郎氏の詩のばあいを中心に—  
「教育科学/国語教育」(1月号) 掲載
- 71 児童文章表現の史的展開  
昭和53・11・14稿  
大下学園「研究紀要」(21・22・23合併号) 掲載
- 72 国語科教材取扱いの着眼点  
昭和53・12・15稿  
—芦田恵之助のばあい—  
「教育学研究」(中国四国教育学会) 掲載
- 73 「ハナハト読本」・「サクラ読本」について—回想を中心に—  
昭和53・12・16稿  
序  
昭和53・12・18稿
- 74 早川美佐代著「歌集虹の橋」所収  
昭和53・12・23稿  
中等国語教育の史的展開(補稿)
- 75 「中学校国語科教育法」(学芸図書) 所収  
昭和53・13・24稿  
まえがき
- 76 瀬群統三著「歌集遠山脈」(溪水社) 所収  
昭和53・13・24稿  
わが心のうちなる歌碑(三六) 処理し得ぬ思ひに兵ら
- 77 送りたる(近藤芳美)  
「歌帖」(1月号) 掲載  
昭和53・12・26稿
- 77' ことばの教育を求めて  
「実践国語研究」(第13号) 掲載  
昭和53・12・26述
- 昭和五四年(一九七九)
- 1 四年間のこと  
昭和54・1・13稿  
「校長会誌」(第14号)(広島県公立高等学校長協会) 掲載
- 2 「段落」とは何か  
昭和54・1・13稿  
「実践国語研究」(第13号) 掲載
- 3 提言 教材化の試みと教材研究  
昭和54・1・19稿  
「国語教育研究」(第81集) 掲載
- 4 編集後記  
昭和54・1・19稿  
「国語教育研究」(第81集) 掲載
- 5 母のこと 詩たちちね  
昭和54・2・21稿  
広大教育学部国語科五〇年度入学生卒業文集掲載
- 6 わが心のうちなる歌碑(三七) ゆく秋の山の谷々わが母は  
昭和54・2・21稿  
(竹久夢二)  
「歌帖」(3月号) 掲載
- 7 国語教育—小学校—  
昭和54・2・25稿  
「国語年鑑」(79年版)(秀英出版) 所収
- 8 大正期国語教育実践史  
昭和54・3・9稿  
—所収報告群解説—  
「国語教育史料」(第1巻) 所収

- 9 大正期国語教育実践史 昭和54・3・某稿  
——概説——
- 10 「国語教育史料」(第1巻) 所収  
審査評——「国語教室」誌公募論文—— 昭和54・3・14稿  
「国語教室」(第9号) 掲載
- 11 「小学校国語」のめざすもの 昭和54・3・18稿  
「教科研究国語」(4月号) 掲載
- 12 つながりあうよろこび 昭和54・3・20稿  
広島大学附属小学校二部六年(栗原組)卒業文集掲載
- 13 西尾理論の成立と発展 昭和54・3・22稿  
「国語教育の理論と構造」(教育学講座第8巻)(学研)所収
- 14 理事長就任のごあいさつ 昭和54・3・25稿  
「国語科教育」掲載
- 15 「実践即研究」によって得られる見識と力量 昭和54・3・30稿  
「教育科学/国語教育」(6月号) 掲載
- 16 大学における国語科教育研究の課題と展望 昭和54・4・4稿
- 17 「国語教育研究年鑑」(第9集)(79年版) 所収  
全国大学国語教育学会の動向 昭和54・4・8稿  
「教育方法研究年鑑」(79年版)(明治図書)所収
- 18 広島県—国語科教育展望— 昭和54・4・12稿  
「国語教育研究年鑑」(第9集)(79年版) 所収
- 19 国語科授業研究の総括と研究課題 昭和54・4・15稿
- 20 「授業研究年鑑」(79年版)(明治図書) 所収  
授業研究会で何を問題にするか 昭和54・4・17稿  
雑誌「学校教育」(6月号) 掲載
- 21 わが心のうちなる歌碑(三八) 瀬群統三歌集「遠山脈」から  
昭和54・4・28稿 「歌帖」(5月号) 掲載
- 22 「親たるものは」—〇か条 昭和54・4・30稿  
「中国新聞」(昭和54・5・5) 掲載
- 23 国語科教育における言語観 昭和54・5・1稿  
「国語科教育整理と展望」(第1巻) 所収
- 24 国語愛の問題 昭和54・5・6稿  
——西尾実先生のばあい——
- 25 「国語教育研究」(第84集) 掲載  
弔辞—故下永田幸男先生に— 昭和54・5・7稿  
広島大学附属中等学校下永田幸男教諭告別式
- 26 中等作文教科書の考察 昭和54・5・11稿  
——八波則吉氏編著のばあい——
- 26' 「国語教育研究」(25) 掲載  
「教科教育学研究総目録」(第5集) 登載論文カド  
昭和54・5・某稿
- 27 「中等作文法」(上田万年著) について 昭和54・5・20稿  
広島大学附属中等学校「国語科研究紀要」(第10号) 掲載
- 28 これからの作文教育と今後の課題 昭和54・5・27稿  
序 昭和54・5・31稿
- 29 梶矢文昭著「KJ法的手法を導入した国語学習法の開発」

- 30 (学校教育研究会) 所収  
国語科教育における指導と評価の今日的課題  
昭和54・6・8稿
- 31 「学習指導研修」(7月号) (教育開発研究所) 掲載  
作文教育の継承と発展  
昭和54・6・17稿
- 32 「文芸教育」(第27号) (文芸研) 掲載  
「私の文章修業」(一冊の本)  
昭和54・6・17稿
- 33 「広島大学新聞」掲載  
巴且杏のころ  
昭和54・6・19稿
- 34 「ともしび」(第一〇〇号) 掲載  
まえがき  
昭和54・6・28稿
- 35 広島大学教育学部国語教育研究室編「国語教育史研究文献  
目録」(昭和54・7・10刊) 所収  
わが心のうちなる歌碑(三九) ちちははの忌もおこたりて  
働けど(吉川英治)  
昭和54・7・2稿
- 36 「歌帖」(7月号) 掲載  
関連的指導法の開拓のために  
昭和54・7・10稿
- 37 「教育科学/国語教育」(9月号) 掲載  
合同研修会のもたらすもの  
昭和54・7・20稿
- 38 広大教育学部「第五回国語科合同研修会記録」掲載  
国語科教育としての読書  
昭和54・7・27稿
- 39 「児童心理」(10月号) (金子書房) 掲載  
桦地光重氏の話聴教育  
昭和54・7・30稿
- 40 昭和初期の話しことはの教育その二 昭和54・8・13稿  
祝詞―新治功君に―  
昭和54・8・18稿
- 41 新治功君結婚披露宴(広島市教育会館)  
言語文化の一面  
昭和54・9・3稿
- 42 「あいつの意匠―  
「国語教室」(第102号) 掲載  
努力目標―100にちなんで―  
昭和54・9・3稿
- 43 「国語教室」(第101号) 掲載  
文集「健鯉」の考察  
昭和54・9・10稿
- 44 中等作文教育史研究―  
「広島大学教育学部紀要」掲載  
昭和54・9・19稿
- 45 わが心のうちなる歌碑(四〇) 吉井勇歌集「遠天」から  
昭和54・9・19稿 「歌帖」(11月号) 掲載
- 46 書評「中学校国語科新単元の展開」(長岡市立南中学校著)  
昭和54・10・7稿 「教育科学/国語教育」(12月号) 掲載
- 47 まえがき  
昭和54・10・12稿
- 48 野地潤家編「文芸教育論の探究」(昭和54・10・20) 所収  
語句・語彙指導の課題と方法  
昭和54・10・15稿
- 49 「国語科教育学研究」(第6集) 所収  
書評「高校国語教育の理論と実践」(斉藤義光著)  
昭和54・10・15稿 「解釈」(11月号) 掲載
- 50 詩教育への道程  
昭和54・10・18稿  
―白鳥省吾氏を中心に―  
「ひろしま国語教育の創造」(4) 掲載



- 50' 理解と表現における「自然」 昭和54・10・24述  
 広島大学附属中等学校「国語科研究紀要」(第11号) 掲載  
 まえがき 昭和54・12・5稿
- 51 「わが心のうちなる歌碑」(昭和55・1・10刊) (桜楓社) 掲載  
 所収 昭和五五年(一九八〇)
- 52 生きた授業参観にするために 昭和54・12・5稿  
 「教育ひろしま」(第80号) 掲載
- 53 はじめに 昭和54・12・7稿  
 「話しことば教育史研究」(共文社) 所収
- 54 おわりに 昭和54・12・7稿  
 「話しことば教育史研究」(共文社) 所収
- 55 序・凡例 昭和54・12・9稿  
 「国語教育史料」年表編所収  
 編集後記 昭和54・12・11稿
- 56 「国語教育学研究」(第6集) 所収 昭和54・12・11稿  
 「読み方教授法」の考察 昭和54・12・15稿
- 57 — 芦田恵之助のばあい —  
 「教育学研究紀要」(中国四国教育学会) 掲載  
 わが心のうちなる歌碑(四一) 若き日のやむことなさは  
 王城の(与謝野晶子) 昭和54・12・19稿
- 58 「歌帖」(1月号) 掲載 昭和54・12・23稿  
 あいさつ 昭和54・12・23稿
- 59 野地照樹・操結婚披露宴(広島市白鳥会館四階瀬戸の間) 掲載  
 あいさつ 昭和54・12・23稿
- 60 はしがき 昭和54・12・29稿  
 「国語教材研究シリーズ説明文教材編」(桜楓社) 所収
- 1 忘れえぬことは 昭和55・1・13稿  
 文集「松籟」(第2号) (二七舎) 掲載
- 2 国語教育—小学校— 昭和54・1・20稿  
 「国語年鑑」(80年版) (秀英出版) 所収
- 3 推薦のことは 昭和55・1・24稿  
 浜本純逸著「福岡県国語教育史研究」パンフレット掲載  
 推薦のことは 昭和55・2・2稿
- 4 大村はま先生著「国語教室通信」(共文社)パンフレット掲載  
 序 昭和55・2・5稿
- 5 大西道雄著「短作文指導の方法」(明治図書) 所収 昭和55・2・10稿  
 「まえがき」「はじめに」補稿 昭和55・2・10稿
- 6 「話しことば教育史研究」(共文社) 所収 昭和55・2・17稿  
 わが心のうちなる歌碑(四二) 冷えまざる秋山遠き青空や  
 (山本武光) 掲載
- 7 「歌帖」(3月号) 掲載 昭和55・2・27稿  
 子ども心の発現・生成とそれとらえなおしを  
 昭和55・2・19稿 雑誌「学校教育」(4月号) 掲載
- 8 編集後記 昭和55・2・27稿  
 「月刊 国語教育研究」(2月号) 所収 昭和55・2・27稿
- 9 提言(巻頭のことば) 昭和55・2・27稿

- 11 「月刊国語教育研究」(2月号) 掲載  
国語教育の事上鎮磨を 昭和55・3・5稿
- 12 「教育科研究国語」(4月号) 掲載  
解説「中等国語教育論攷」の意義と価値 昭和55・3・21稿  
山根安太郎先生著「中等国語教育論攷」(溪水社) 所収
- 13 全国大学国語教育学会の動向 昭和55・3・26稿  
「教育方法研究年鑑」(80年版)(明治図書) 所収
- 14 大学における国語科教育研究課題と展望 昭和55・3・30稿  
「国語教育研究年鑑」(80年版) 所収
- 15 広島県(国語科教育の展望) 昭和55・4・3稿  
「国語教育研究年鑑」(80年版) 所収
- 16 「教育実習の手引」(広大教育学部) 所収 昭和55・4・6稿  
実習記録のまとめ方
- 17 審査評 昭和55・4・12稿  
「国語教室」(第10号) 掲載
- 18 国語教育実践史上から見た大村教室の意義 昭和55・4・14稿  
「総合教育技術」(6月号) 掲載
- 19 国語科の基礎的基本事項とは 昭和55・4・16稿  
—小学校—
- 20 「指導と評価」(6月号) 掲載 昭和55・4・16稿  
読書指導実践事例の考察  
—小学校中学年のばあい—
- 21 「読書指導実践事例集」(第一法規) 追録分  
国語学習易行道—大村はま先生の求められたもの—
- 22 わが心のうちなる歌碑(四三) いづこにかかすむ宵なり 昭和55・4・20稿  
ほのぼのと(内藤濯) 昭和55・4・27稿  
「歌帖」(5月号) 掲載
- 23 大村国語教室の成立と発展 昭和55・4・29稿  
「月刊国語教育研究」(5月号) 掲載
- 24 山根安太郎先生のこと 昭和55・5・14稿  
広島大学附属中高等学校「国語科研究紀要」(第11号) 掲載
- 25 著書・論文等目録 昭和55・6・3稿  
「おわりに」補稿 昭和55・6・4稿
- 26 「話しことば教育史研究」(共文社刊) 所収 昭和55・6・8稿  
作文教育の構想
- 27 「講座中学校国語科の理論と実践」第三卷(有精堂刊) 所収 昭和55・6・18稿  
暗誦ということ
- 28 「学内通信」(広島大学(一九二号、7月20日) 掲載 昭和55・6・21稿  
国語教材論と教材研究の提言
- 29 「国語教育研究」(第98集)(日本国語教育学会) 掲載 昭和55・6・27稿  
方言指導の史的展開  
—訛語矯正を中心に—
- 30 わが心のうちなる歌碑(四四) 尼上柴舟の歌から 昭和55・6・28稿  
「歌帖」(7月号) 掲載
- 31 回想・この一冊「国語国文の教育」(西尾実著) 昭和55・7・15稿  
「国文学」(学燈社刊)(9月号) 掲載
- 32 みなさんとの出会いに恵まれて 昭和55・7・13稿

- 文集「広島高師昭和26年度生からのことば」掲載  
 33 着実な集積とゆたかな交流と 昭和55・7・31稿  
 「20周年記念国語教育夏季講座」(広島市小学校国語教育研究会)掲載
- 34 国語教材研究をめぐる新しい動向 昭和55・8・4稿  
 「教育科学 国語教育」(10月号)掲載
- 35 指導者(評価者)としての立場と方法 昭和55・8・6稿  
 「教育科学/国語教育」(9月臨時増刊号)掲載
- 36 国語学習個体史稿(一) 昭和55・8・19稿  
 「国語教室」(112号)掲載
- 37 まえがき 昭和55・8・25稿  
 「高校言語教育の実際」(梅下敏之著)(溪水社刊)所収  
 わが心のうちなる歌碑(四五)をさな名を人に呼ばるる  
 38 ふるさとは昔にかへることこそすれ(柳田国男)  
 昭和55・8・26稿 「歌帖」(9月号)掲載
- 39 話し方研究の新しい進展のために 昭和55・8・29稿  
 ー村上幸子話し方研究会に寄せることばー
- 40 村上幸子話し方研究会後援会へのメッセージ(昭和55・9・3) あいさつ 昭和55・8・31稿  
 第28回全国国語教育研究協議会・第59回全国国語教育学会(広島大会)要項掲載
- 41 明治期国語教育実践史―解説― 昭和55・9・4稿  
 「国語教育史料」第一卷(東京法令)所収
- 42 推薦のことば 昭和55・9・8稿
- 43 ー「工程」「綴方学校」の復刻刊行に寄せてー  
 47' 「話しことば教育史」 昭和55・9・10 共文社刊  
 はしがき 昭和55・9・11稿  
 ー「漢字・漢語・漢文」にー
- 44 「漢字・漢語・漢文」(桜楓社刊)所収  
 私の一冊の本「わたしは小学生」(蒲池美鶴著)  
 昭和55・9・20稿 「総合教育技術」(11月号)掲載
- 45 わたくしの受けた綴り方教育 昭和55・9・20稿  
 ー小学校時代を中心にー
- 46 昭和戦前期国語教育実践史―解説― 昭和55・9・21稿  
 「国語教育史料」第一卷(東京法令刊)所収
- 47 序 昭和55・9・26稿  
 「おくれた子の作文指導」(青山康子著)(国土社刊)所収
- 48 国語の学習指導 昭和55・9・30稿  
 「教育心理学要説」(朝倉書店刊)所収
- 49 高校生の書くことのドラマの生態 昭和55・10・1稿  
 「ハイスクールニューズ」(11月号)(学校図書)掲載
- 50 教科指導の個性的創造を求めて 昭和55・10・3稿  
 「千葉教育」(11月号)掲載
- 51 読書感想文所見 昭和55・10・10稿  
 年譜(野地潤家) 昭和55・10・10稿

IV 研究発表目録

- 1 語感論とその教育  
— 蕉風教育に学ぶ —  
昭和19・6・1  
  全国大学国語教育学会(信州)
- 2 擬音表現の成長過程  
  広島文理大國語国文学研究会  
昭和24・11・5
- 3 芭蕉の修辞意識  
  広島文理大國語国文学会  
昭和25・11・18
- 4 教育話法の問題  
  全国大学国語教育学会(東京)  
昭和26・9・22
- 5 国語教育の時間的構造  
  広島文理大國語国文学会  
昭和26・11・10
- 6 国語教育個体史の問題  
  全国大学国語教育学会(東京)  
昭和27・9・20
- 7 国語科教師への成長過程  
  全国大学国語教育学会(鹿児島)  
昭和28・5・30
- 8 国語教育学の史的展開  
  全国大学国語教育学会(広島)  
昭和31・5・17
- 9 文法教育問題史—旧制中学校を中心として—  
  日本教育学会広島部会  
昭和31・7・8
- 10 馬場辰猪の「雄弁法」について  
  — 明治期言語技術の成立過程 —  
  国語学会中四国支部例会(広島)  
昭和32・6・1
- 11 国語科教育法「経験課程」の構成と方法  
  — 教育実習の問題点 —  
昭和32・6・7  
  全国大学国語教育学会(東京)
- 12 国語教育学の理論的性格  
  全国大学国語教育学会(東京)  
昭和32・9・20
- 13 「国語の力」(垣内松三著)について  
  — 国語教育学説史研究 —  
  日本国語教育学会(東京)  
昭和33・6・7
- 14 国語教育実践の深化過程(一)  
  — 芦田恵之助先生のばあい —  
  全国大学国語教育学会(札幌)  
昭和33・7・28
- 15 国語教育における実践様式の問題  
  — 芦田「教式」のばあいを中心に —  
  中国四国教育学会(広島)  
昭和34・5・16
- 16 国語愛の問題  
  — 西尾実先生の初期の論説を中心に —  
  西尾実先生古稀記念国語教育研究大会(東京)  
昭和34・5・29
- 17 綴方教授における芦田「教式」の問題  
  全国大学国語教育学会(浜松)  
昭和34・9・18
- 18 「実践の技術学」について  
  — 垣内松三先生著「国語教育講話」を中心に —  
  全国大学国語教育学会(東京)  
昭和34・10・10
- 19 芦田「教式」における話法の問題  
  中国四国教育学会(島根)

- 20 国語教育の深化のために  
— 国語教育の史的研究所を中心に —  
初等教育国語科全国協議会 (広島)  
昭和 34・11・13
- 21 旧制中学校の話しことばの教育  
— 弁論活動を中心に —  
土井忠生先生還暦記念広島大学国語国文学会  
昭和 35・5・15
- 22 国語教育実践の深化過程 (二)  
— 芦田恵之助先生のばあい —  
全国大学国語教育学会 (東京)  
昭和 35・9・23
- 23 サクラ読本研究  
— 垣内松三先生のばあい —  
全国大学国語教育学会 (香川)  
昭和 35・11・4
- 24 芦田「教式」における静坐の問題  
中国四国教育学会 (香川)  
昭和 35・11・25
- 25 明治三〇年代の話しことばの教育  
— 与良熊太郎氏のばあい —  
全国大学国語教育学会 (弘前)  
昭和 36・6・15
- 26 明治一〇年代の話しことばの教育  
— 演説形態を中心に —  
日本教育学会 (東京)  
昭和 36・9・8
- 27 大正期の話しことばの教育  
— 「国語教育」(第二巻第四号) 話方号を中心に —  
全国大学国語教育学会 (東京)  
昭和 36・9・21
- 28 黎錦熙著「国語教学法」について  
昭和 36・11・18
- 29 日中比較国語教育研究  
中国四国教育学会 (山口)  
昭和 37・6・7
- 30 伊沢修二の話しことばの教育  
— 国民学校をばあい —  
全国大学国語教育学会 (福井)  
昭和 37・9・20
- 31 張士一の「小学」国語「教学法」について  
— 日中比較国語教育研究 —  
全国大学国語教育学会 (東京)  
昭和 37・11・23
- 32 芦田恵之助著の一資料  
— 「試験やすみ」 —  
中国四国教育学会 (高知)  
昭和 38・9・20
- 33 沖縄の国語教育  
全国大学国語教育学会 (東京)  
昭和 38・11・9
- 34 「国語演説弁論詞作法」(王徳崇著) について  
— 日中比較国語教育研究 —  
広島大学国語国文学会  
昭和 38・11・28
- 35 台湾における話し方教授  
中国四国教育学会 (鳥取)  
昭和 38・11・28
- 36 アメリカの話しことばの教育  
— その歴史を中心に —  
全国大学国語教育学会 (奈良)  
昭和 39・9・20
- 37 山崎正董博士の演説および式辞  
全国大学国語教育学会 (東京)  
昭和 40・6・27

- 47 佐々政一の作文教育 昭和42・11・30
- 46 中国の作文教育  
—夏丐尊・劉薰宇合編「文章作法」を中心に—  
中国四国教育学会（広島）
- 45 旧制中学校の国語教育  
—明治一〇年代を中心に—  
全国大学国語教育学会（東京）
- 44 苦闘の記録—その創造性—  
実践国語学会（東京）
- 43 作文教育の改造  
日本作文教育研究会（東京）
- 42 明治期話しことは教育の源流  
広島大学国語国文学会
- 41 中国の作文教育  
—日中比較国語教育研究—  
中国四国教育学会（愛媛）
- 40 明治前期における会議形態の成立過程 昭和41・9・28  
全国大学国語教育学会（千葉）
- 39 「怎樣教国文」—章銳初著—について 昭和40・10・30  
—日中比較国語教育研究—  
中国四国教育学会（岡山）
- 38 明治二〇年代の話しことばの教育 昭和40・10・1  
全国大学国語教育学会（東京）
- 48 中国の国語教育について  
A・A地域総合研究連絡組織（東京）  
全国大学国語教育学会（函館）
- 49 大正後期における「現代文」教授 昭和43・6・28  
全国大学国語教育学会（函館）
- 50 旧制中学校の国語学力  
—大正期を中心に—  
全国大学国語教育学会（東京）
- 51 中国の作文教育  
—「作文指導」を中心に—  
中国四国教育学会（鳥根）
- 52 中国の国語教育  
—「国語詠法教学原論」（袁哲編著）を中心に—  
中国四国教育学会（香川）
- 53 関東大震災文集の考察  
全国大学国語教育学会（東京）
- 54 大正期における話しことば教育  
—静岡女子師範附小のばあい—  
中国四国教育学会（山口）
- 55 随意選題論争の展開  
—友納友次郎を中心に—  
全国大学国語教育学会（山口）
- 56 国語教育における創造性  
—話しことば教育史研究から見た—  
シンポジウム  
昭和46・8・6

57 国語科授業史研究  
——芦田恵之助の綴方の授業を中心に——  
全国日本国語教育学会（東京）  
昭和46・8・9

58 綴り方授業史研究  
——芦田恵之助のばあい——  
全国大学国語教育学会（東京）  
昭和46・11・2

59 大正中期における中等作文教授の考察  
——「話方の経済」——（森本厚吉著）について  
中国四国教育学会（高知）  
全国大学国語教育学会（三重）  
昭和46・11・17

60 「話方の経済」——（森本厚吉著）について  
——話しことは教育史研究——  
全国大学国語教育学会（東京）  
昭和47・10・19

61 文学教育論の一考察  
——五十嵐力博士のばあい——  
全国大学国語教育学会（大阪）  
昭和47・11・2

62 芦田恵之助の綴り方教科書研究  
——中国四国教育学会（鳥取）——  
昭和47・11・24

63 国語教育史における垣内先生  
——「国語の力」五〇周年記念国語教育研究会（鎌倉）——  
昭和48・8・5

64 旧制中学校における作文教育  
——文集「健鯉」のばあいを中心に——  
全国大学国語教育学会（東京）  
昭和48・11・28

65 旧制中学校の作文教育  
——「作文選」（福岡県中等学校編）のばあい——

66 幼児の言語発達とその他  
——ろう教育科学会第16回大会（広島）——  
全国大学国語教育学会（福岡）  
昭和49・7・25

67 わが国における作文教育の特質と問題点  
——作文教育研究大会（東京）——  
昭和49・7・31

68 旧制中学校の作文教育  
——昭和一〇年代を中心に——  
全国大学国語教育学会（東京）  
昭和49・10・24

69 旧制中学校の作文教育論  
——五十嵐力博士のばあい——  
全国大学国語教育学会（秋田）  
昭和49・11・10

70 芦田恵之助著「尋常小学国語小説本」の研究  
——国語科学習内容精選の問題——  
中国四国教育学会（岡山）  
昭和50・8・8

71 個性読みの視角と方法  
——全国国語教育研究者集会広島大会——  
全国大学国語教育学会（東京）  
昭和50・8・8

72 「国語の力」——（芦田恵之助著）の考察  
——中国四国教育学会（広島）——  
昭和51・11・3

73 話しことばへの旅  
——尾道短期大学国文学会（公開講演会）——  
昭和52・6・18

74 読書力の養成と読書生活の創造  
——日本読書学会（東京）——  
昭和52・7・29

76 中等作文教科書の一考察  
——八波則吉氏のばあい—— 昭和52・7・30

全国大学国語教育学会(東京)

77 秋田喜三郎の綴り方教授論 昭和52・9・29

全国大学国語教育学会(長岡)

78 国語教育史上から見た大村教室の業績 昭和52・11・6

大村はま先生教職五〇周年記念大会(東京)

79 一九一〇年代における綴り方教授研究の一考察

——芦田恵之助のばあい——

昭和52・11・13 中国四国教育学会(島根)

80 芦田恵之助の授業「釈迦」について 昭和53・8・16

全国大学国語教育学会(東京)

81 旧制中学校の国語科授業 昭和53・10・19

——大正期を中心に——

全国大学国語教育学会(山梨)

82 国語科教材取扱いの着眼点 昭和53・11・1

——芦田恵之助のばあい——

中国四国教育学会(香川)

83 文章教育の伝統と創造 昭和53・11・11

全国高等学校国語教育研究大会広島大会

84 「読み方教授法」の考察 昭和54・11・11

——芦田恵之助のばあい——

中国四国教育学会(山口)

## V 研究授業目録

1 小学校六年 「平和への願い」 昭和32・2・26(火)

三重県名張市名張小学校 六年B組五四名(四五分)

2 中学校一年 「わがはいはねこである」 昭和32・10・18

(金) 高松市香川大学学芸学部附属中学校 一年生五〇名(五〇分)

3 中学校一年 詩「川のゆくえ」(大木実) 昭和32・10・19

(土) 香川県観音寺中学校 一年五組五〇名(四五分)

4 中学校二年 「小判十両」(西鶴)(久保田万太郎訳)

昭和33・10・2(木) 兵庫県津名郡一宮中学校(五〇分)

5 中学校二年 「椰子の実」(島崎藤村) 昭和33・10・15(水)

準備授業 昭和33・10・16(木) 実地授業 島根県益田市東

中学校(各五〇分)

6 中学校一年 「作文」(叱られた時のこと) 昭和34・1・26

(月) 準備授業二時間 昭和34・1・27(火) 実地授業

一年B組(六〇分)

7 中学校二年 「心の小みち」(金田一京助) 昭和34・2・20

(金) 兵庫県小野市小野中学校準備授業・実地授業各一時間

8 小学校五年 「月のなりたち」(研究のための読書) 昭和

34・2・23(月) 山口県宇部市見初小学校 五年五組五六名

9 小学校三年 「作文」(文集による) 昭和34・2・28(土)

香川県小豆郡安田小学校 準備授業一時間あり。

10 小学校六年 「シュベルトの子守歌」 昭和34・11・11(水)



11 福岡県粕屋郡須恵町第二小学校 六年四組(五〇分)  
高等学校一年「小さき者へ」(有島武郎)  
— 現代文の取扱い —

12 昭和34・11・21(土) 京都市立紫野高等学校 五一名(五五分)

13 小学校五年 「物語」(浜田広介「ある島のきつね」)むく鳥のゆめ 昭和35・2・8(月) 岐阜県瑞浪市小学校 四七名(四五五分)

14 入夢裡の授業V<sub>1</sub> 昭和34・3・6(月) 小学校六年か中学一年くらいの生徒を相手に突然の授業をさせられ、うまく運ばないで苦しむ。

15 小学校四年 「小さいころのフェアブル」(伝記教材) 昭和35・4・21(木) 福岡学芸大学久留米分校附属小学校 四年生四二名(四五五分)

16 高等学校二年 「鼻」(今昔物語) 昭和35・9・17(土) 島根県大田市大田高等学校 二年五組五五名(六〇分) この折の授業、全体会講師としてお見えになっていた、西尾実先生に終始見ていただくことができた。

17 中学校二年 「清兵衛とひょうたん」(志賀直哉) 昭和36・1・23(月) 山口市白石中学校 二年六組五六名(四五五分)

18 中学校二年 「方言と共通語」 昭和36・4・24(月) 大分県宇佐郡四日市中学校 二年一組五三名(五〇分) 中学校二年 「会議の進め方」 昭和36・6・27(火) 広島県山県郡千代田町東部中学校 二年D組五三名(五〇分)

19 高等学校三年 国語乙「源氏物語」(野分の巻) 昭和36・10・30(月) 準備授業、昭和36・10・31(火) 実地授業

20 島根県江津市江津高等学校 理科コース 小学校六年 「読書とわたしたち」 昭和36・11・1(水) 熊本県三角市三角小学校

21 小学校六年「いい放送をするために」 昭和36・11・2(木) 熊本市大江小学校 六年大場組 小学校五年 お話「読むことと書くこと」 昭和36・11・20(月) 松江市雑賀小学校(四五五分)

22 小学校二年 「作文」(おとうさん) 昭和36・11・28(火) 島根県邑智郡川本町川本小学校 坂根学級三二名(四五五分)

23 中学校二年 「兄弟」(山本有三) 昭和36・12・4(月) 山口県小野田市高千帆中学校 二年生五〇名(五五分) 中学校一年 「ひとりの話題・みんなの話題」(話すこと)

24 昭和37・1・30(火) 長崎県佐世保市江上中学校(五〇分) 小学校六年「やもり」(作文単元) 昭和37・4・21(土) 鹿児島県指宿市指宿小学校

25 小学校三年 「つばめ日記」 昭和37・4・23(月) 鹿児島県川辺郡知覧小学校

26 小学校四年 「わたしの読書」 昭和37・4・24(火) 鹿児島県串木野市照島小学校 四年月組 小学校四年 「作文」(鉄橋工事) 昭和37・4・28(土) 宮崎県延岡市岡富小学校 四年五組

27 小学校四年 「作文」(鉄橋工事) 昭和37・4・30(月)

- 宮崎県日南市油津小学校  
31 小学校五年 「関門トンネル」(紀行) 昭和37・7・4(水)  
広島県福山市西小学校(五〇分)  
32 小学校五年 「詩の鑑賞」 昭和37・11・2(金) 広島市  
安田小学校(私立) 五年女子組(寶石組) 三九名(四五分)  
33 小学校一年 「ことばのつみき」(カードあわせ) 昭和37  
・11・6(火) 兵庫県水上郡春日町黒井小学校 一年三組  
三六名(四五分)  
34 中学校二年 「とんびとあぶらげ」 昭和37・11・12(火)  
山口県下松市末武中学校 二年五組五四名(四五分)  
35 高等学校一年 作文「書き出し」の研究 昭和37・11・24  
(土) 佐賀県鹿島市鹿島高等学校 一年二組(五〇分)  
36 小学校六年 作文「考えることと書くこと」 昭和37・12・  
4(火) 長崎県西有家小学校(四五分)  
37 中学校二年 「美と生活」(高村光太郎) 昭和37・12・5  
(水) 佐賀県伊万里市伊万里中学校(五〇分)  
38 小学校六年 物語「いわおの顔」 昭和38・2・18(月)  
島根県瀬摩郡仁摩町仁万小学校 六年二組(吾郷学級) 五〇  
名(五〇分)  
39 小学校六年 物語「いわおの顔」 昭和38・2・19(火)  
岡山市福島小学校 玉木学級(四五分)  
40 小学校四年 「作文の組み立て」 昭和38・4・30(火)  
鹿児島県日置郡伊集院小学校 四年二組(横山学級) 四三名  
(四五分)  
41 中学校三年 漢詩「絶句杜甫」 昭和38・9・17(火)  
山口県山陽町植生中学校 清水学級四五名(五〇分)  
42 小学校六年 「アカ」(幸田文) 昭和38・10・29(火)  
岡山県勝田郡勝間田小学校 石川学級三八名(四五分)  
43 小学校四年 「研究発表」(児童詩を中心に) 昭和38・10  
・30(水) 姫路市城巽小学校 柴田学級四二名(四五分)  
44 高等学校二年 作文「文章の発見」 昭和38・11・26(火)  
大分市舞鶴高等学校 二年一組(三浦学級) 四九名(女子九  
名)(六五分)  
45 小学校四年 「ことばのちがひ」 昭和39・2・1(土)  
長崎市勝山小学校 柳谷学級四一名(四五分)  
46 小学校六年 物語「いわおの顔」 昭和39・2・24(月)  
長崎県神代小学校  
47 小学校六年 作文「卒業文集」 昭和39・2・25(火)  
佐賀県伊万里市伊万里小学校  
48 小学校五年 物語「けんか」「井戸」(千葉省三作) 昭和  
39・6・30(火) 島根県益田市益田小学校 五年一組(寺  
田学級) 三九名(五〇分)  
49 高等学校二年・三年 「現代国語」「古文」 昭和39・8・28  
長崎県佐々町北松南高等学校 高二・高三計六〇名「現代国  
語」(八〇分)「古文」(二〇〇分)  
50 高等学校二年・三年 「現代国語」「古文」 昭和39・8・29  
長崎県松浦市松浦高等学校 高二・高三計一〇〇名「現代国  
語」(八〇分)「古文」(二〇〇分)

- 51 中学校一年「くもの糸」(芥川竜之介) 昭和39・10・31  
 (土) 大分市上野ヶ丘中学校 一年五組四七名 準備授業  
 ・実地授業(各五〇分)
- 52 小学校五年作文「ねらいをはっきりと」(おかあさん)  
 昭和40・1・26(火) 長崎県大村市竹松小学校 興野学級  
 四〇名 準備授業(三五分) 実地授業(五〇分)
- 53 小学校六年「おじいさんのランプ」(新美南吉)  
 昭和40・3・3(水) 島根県鹿足郡柿木小学校 能美学級  
 二六名(四五分)
- 54 中学校二年「狂言「しびり」」 昭和40・3・3(水)  
 島根県鹿足郡柿木村柿木中学校 二年B組(酒井学級) (五  
 〇分)
- 55 小学校六年 物語「分銅屋のえんとつ」 昭和40・9・14  
 (火) 島根県江津市郷田小学校 井上学級(四〇分)
- 56 △夢裡の授業<sup>2</sup> 昭和40・10・6(水) 小学校六年生くら  
 い。子どもたち、思うように動かず、立ち往生するような、  
 きつい、きびしい授業だった。
- 57 高等学校二年「大晦は合はぬ皮算用」(西鶴諸国ばなし)  
 昭和40・10・19(火) 島根県益田市益田高等学校 二年四  
 組五二名(六〇分)
- 58 高等学校一年「陰影の美」(谷崎潤一郎) 昭和40・11・  
 2(火) 神戸市長田高等学校 一年一組五三名(二時間  
 各五〇分)
- 59 高等学校 二年「手紙の文章」 昭和40・11・30(火)
- 60 中学校一年「おぼれかけたきょうだい」 昭和41・7・27  
 (火)・28(水) 島根県出雲市第一中学校 山崎学級四二名  
 (各五〇分)
- 61 高等学校二年・三年「現代国語」 昭和41・8・22(月)・23  
 (火) 長崎県島原市島原高等学校 二、三年生計四〇〇名  
 学習資料一〇枚 四九名編成(九〇分)
- 62 小学校四年「大阪」 昭和41・10・12(水) 佐賀県伊万里  
 市伊万里小学校 四年二組一の瀬学級(四五分)
- 63 中学校二年「かわった話」 昭和42・1・24(火)  
 島根県斐川東中学校 二年六組(担任佐々木先生)(五〇分)
- 64 中学校二年「感想を書く」 昭和42・7・24(月)・25(火)  
 島根県出雲市河南<sup>かみん</sup>中学校 二年藤原学級四四名二時間(各五  
 〇分)
- 65 高等学校三年「現代国語」 昭和42・7・26(水)・27(木)・  
 28(金) 長崎市長崎東高等学校 三年生一〇〇名(毎日各  
 一〇〇分) 「現代国語」学習の態度と方法(講義方式によ  
 る)。
- 66 小学校三年 物語「五色のしか」 昭和42・8・30(水)  
 島根県浜田市原井小学校 原田学級四〇名(四五分)
- 67 高等学校一年「日記」(高見順の「日記」など) 昭和42  
 ・12・5(火) 栃木県立小山城南高等学校 一年四組(武  
 井学級)四九名(女子学級)(五〇分)

- 68 中学校三年 「論説文」(二十世紀の不安と希望)湯川秀樹  
昭和43・7・12(金) 広島県安芸郡坂町坂中学校 三年五組  
(鈴木学級) 三九名(五〇分)
- 69 中学校三年 作文「考えを述べる」(論説文を書こう)  
昭和43・7・24(水)、25(木) 島根県出雲市河南中学校  
三年三組(西田学級)三五名(五〇分、六〇分)
- 70 小学校六年 「物語を読み、書こう」 昭和43・7・26(金)  
島根県浜田市原井小学校 六年一組(山藤学級) 三九名(五  
〇分)
- 71 小学校五年 「豊かな読書」 昭和43・11・8(金)  
長崎県多良見町立伊木力小学校 五年二五名(五〇分)
- 72 中学校一年 作文指導(共同推考)(課題作文「制服」)  
昭和43・11・26(火) 新潟県西蒲原郡吉田町吉田中学校  
一年一組四三名(五〇分)
- 73 中学校二年 「古典」「扇的」「平家物語から▽円地文字」  
昭和44・1・31(金) 山口県美祢市伊佐中学校 二年一組  
三六名(五〇分)
- 74 中学校二年 「小説」「山椒大夫」 昭和44・2・1(土)  
山口県南陽町福川中学校 二年一組三四名(五〇分)
- 75 高等学校三年 「現代国語」(文学の構築する世界、読書の  
ありかた) 昭和44・8・11(月)、12(火) 長崎市長崎  
東高等学校 三年生有志二〇〇名(講義方式による。)
- 76 中学校三年 「小説」「狼」ツルゲーネフ 昭和44・11・  
21(金) 呉市宮原中学校 末宗学級三九名(二時間、各五
- 77 高等学校三年 「現代国語」(国語学習を求めて、手<sup>3</sup>を  
中心に) 昭和45・8・1(土)、2(日)、3(月)  
長崎県諫早市諫早高等学校 三年A組九九名、B組九五名、  
C組一〇〇名(講義方式による。竹下哲校長が熱心に聴講  
された。)
- 78 ▲夢裡の授業<sup>3</sup>、小学校一年「副詞」 昭和46・8・7  
ゆめの中の授業、どうしてもことばがうまく出てこない。  
立ち往生をしてみよう。
- 79 中学校三年 「読書」(読書生活を高めよう) 昭和47・10・  
25(水) 島根県平田市平田中学校 三年一組三八名(六〇  
分)
- 80 高等学校一年 「現代国語」(「日常性の壁」安部公房)  
昭和48・11・12(月)、13(火) 姫路市立姫路高等学校  
一年三組(各、五〇分)
- 81 中学校一年 「図書利用」 昭和49・2・6(水)  
島根県津和野市津和野中学校 一年一組三四名(五五分)
- 82 中学校二年 「話すことの探究」 昭和49・11・20(水)  
福岡市立博多第二中学校 二年三組(六五分)
- 83 ▲夢裡の授業<sup>3</sup>、小学校六年(K小学校) 昭和50・12・1  
(月) 参観の先生方がぞくぞくつめかけ、教室の中に腰を  
おろして待機しておられる。座席表も子どもたちの写真(座  
席順の)もなく、子どもたちの名前をおぼえていないことに  
気づき、あわてる。授業計画もたてていない。困りはてて、

84 どのようかというところで、ゆめの中のこととわかる。その場で肚を決めてやらなければならないと覚悟はするものもの、思うように運ばず残念でしたかたがなかった……。

八夢裡の授業、<sup>6</sup> 高等学校 昭和52・10・15(土) 東京都四谷三丁目「とみた」で。高校(附属高校か)の教室。思うように授業がはかどらない。そのうち、まちがいを教えていることに気づき、ひやっとする。しかし、どうしようもない。進退谷まわっているうちに、ふっと目が覚めて、ゆめであることに気づく。

85 高等学校一年 「現代国語」(一) 「愛」谷川俊太郎

昭和53・11・18(土) 神戸市滝川高等学校 一年一〇組  
(理数科) 四五名(二時間、各五〇分)

## 追加

### II 編著目録

29 「国語教材研究シリーズ 7 説明文編」(大槻和夫氏と共編) 昭和55年3月20日 桜楓社

### IV 研究発表目録

85 国語教材論と教材研究 昭和55・6・21

日本国語教育学会奈良研究集会(奈良)

86 明治中期の作文教育 昭和55・8・8

—中等作文教科書を中心に—

全国大学国語教育学会(東京)

87 大正後期の国語教育 昭和55・11・6

—第五回中学校国語漢文科研究会(広島高師附中)—  
全国大学国語教育学会(広島)  
昭和55・11・9

88 旧制女学校の綴り方授業  
—芦田恵之助のばあい—  
中国四国教育学会(高知)